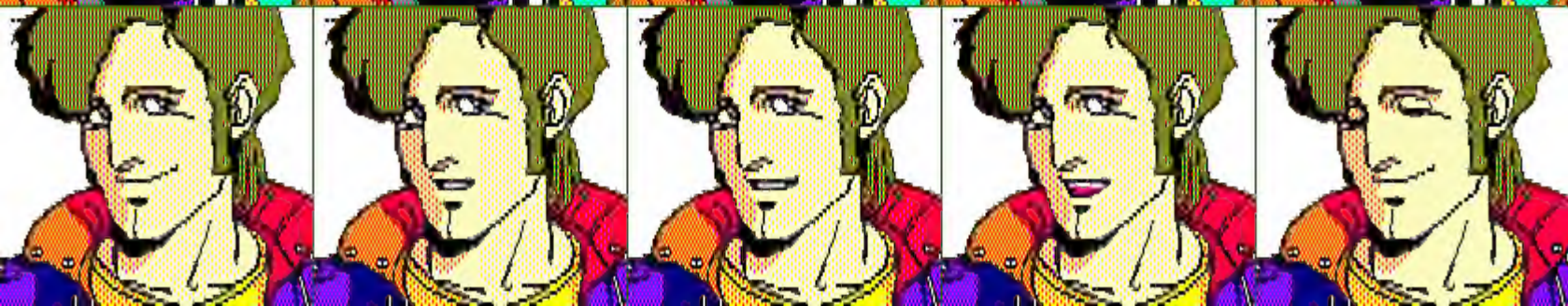
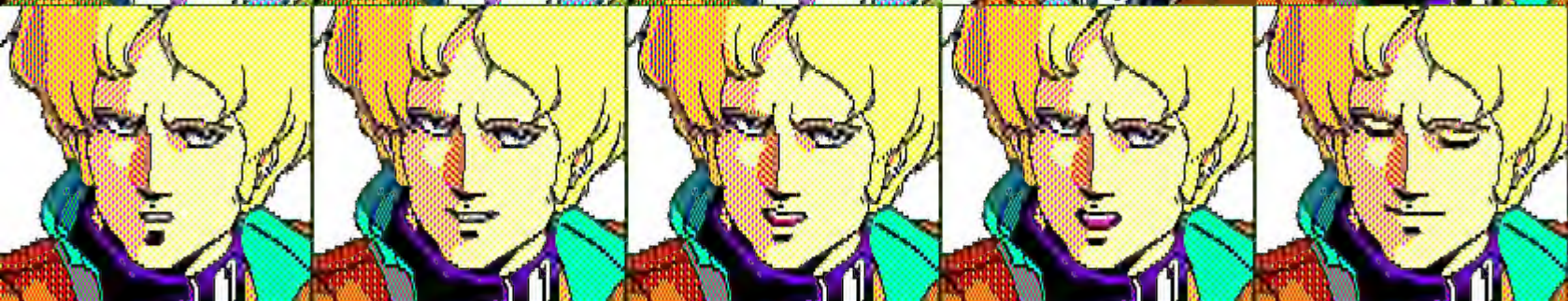


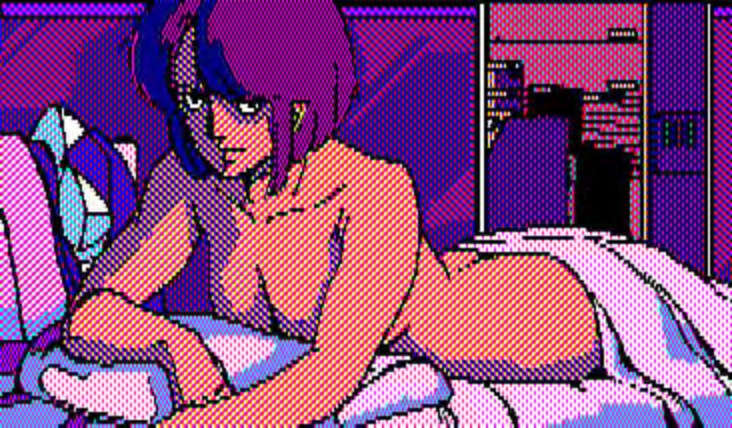
J.F.S.-U.S

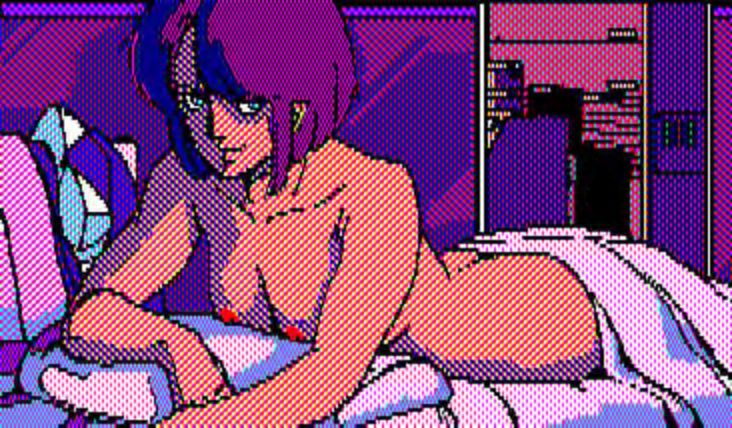




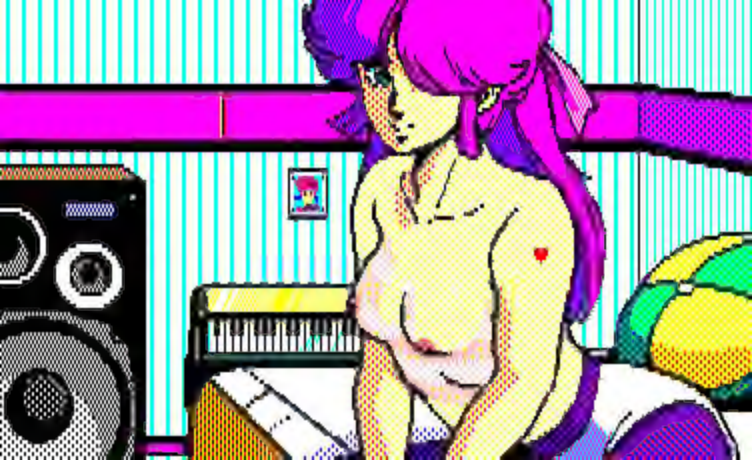


























GAME OVER

SCORE 1-48502 2-08338

速雄 「ほうら。ぼくの勝ちだろ。ぼくは、この《空身モンスター》ゲームが得意なんだ。約束通り、特大ハンバーガーを3分で食べてもらおうよ」

PUSH SPACE KEY

GAME OVER

SCORE ▶ 1-48502 2-08338

速雄 「ほうら。ぼくの勝ちだろ。ぼくは。この《空身モンスター》ゲームが得意なんだ。約束通り。特大ハンバーガーを3分で食べてもらおうよ」

PUSH SPACE KEY



パルカス」とはほ。これで5個目か。食べばいいんだろ



パルカス」とはほ、これで5個目か。食べばいいんだろう



パルカス「とほほ、これで5個目か。食えばいいんだろう。」



パルカス「とほほ、これで5個目か。食えばいいんだろう。食えば。もぐもぐ、ムシ
ヤムシヤ。ばくばく○○○○ううっ」

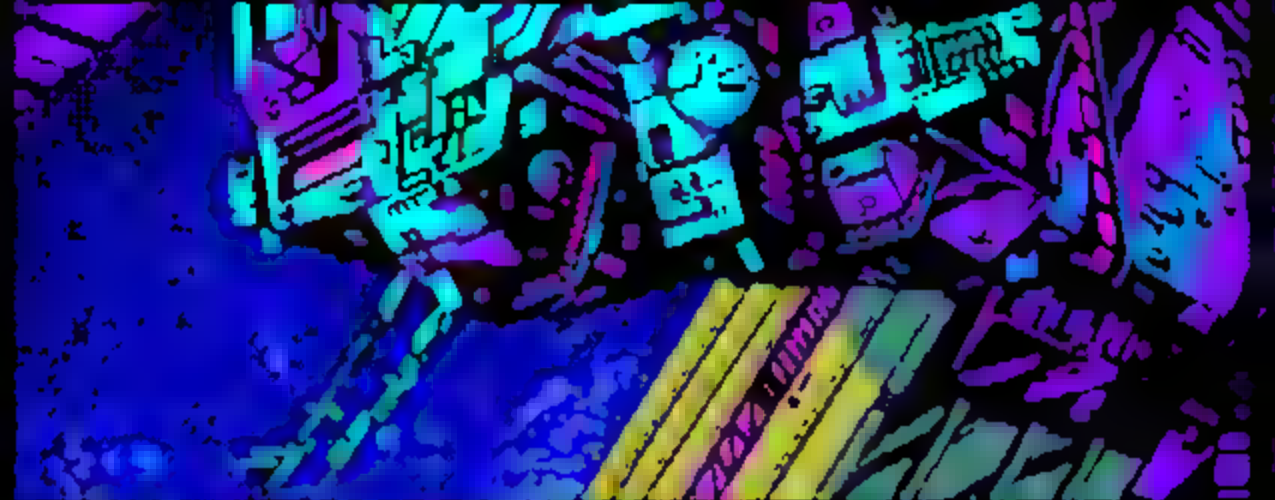
速雄「どうした？ のどにつまったのかい」

パルカス「う、う、う」

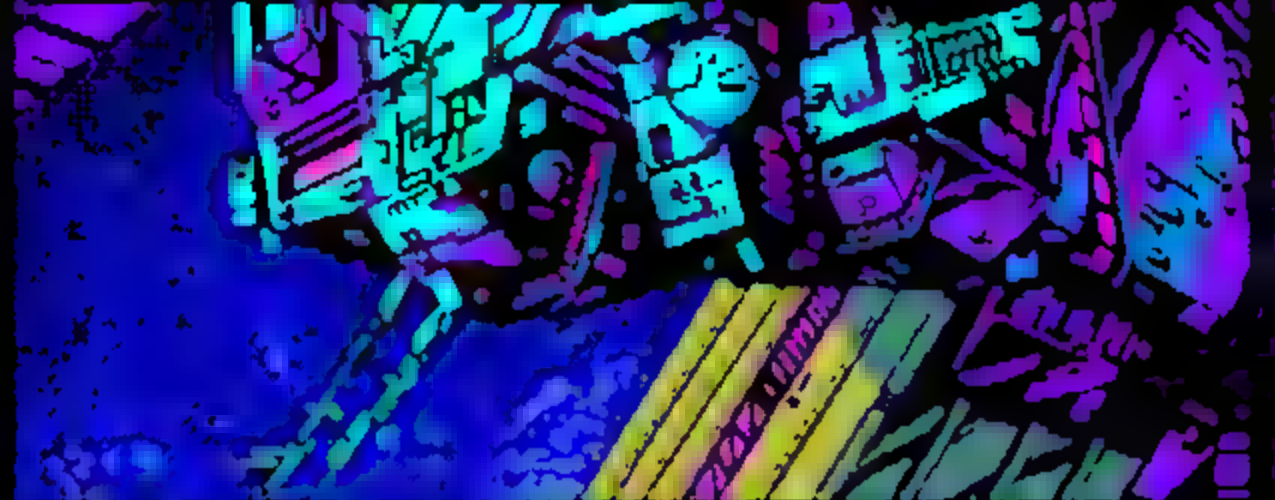
速雄「司令官に呼ばれているから。失礼するよ」



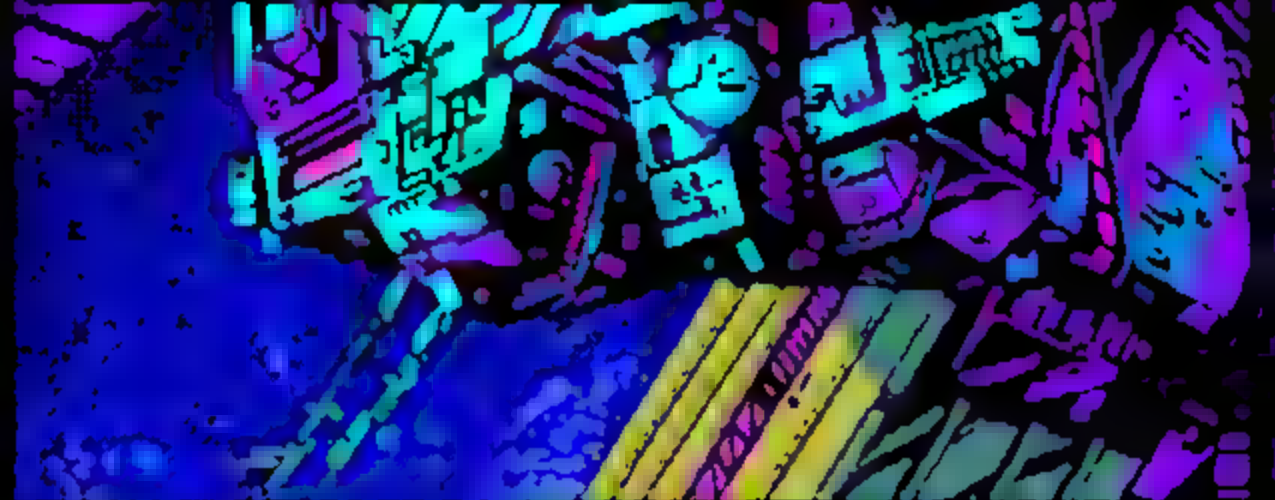
JESUS STAFF



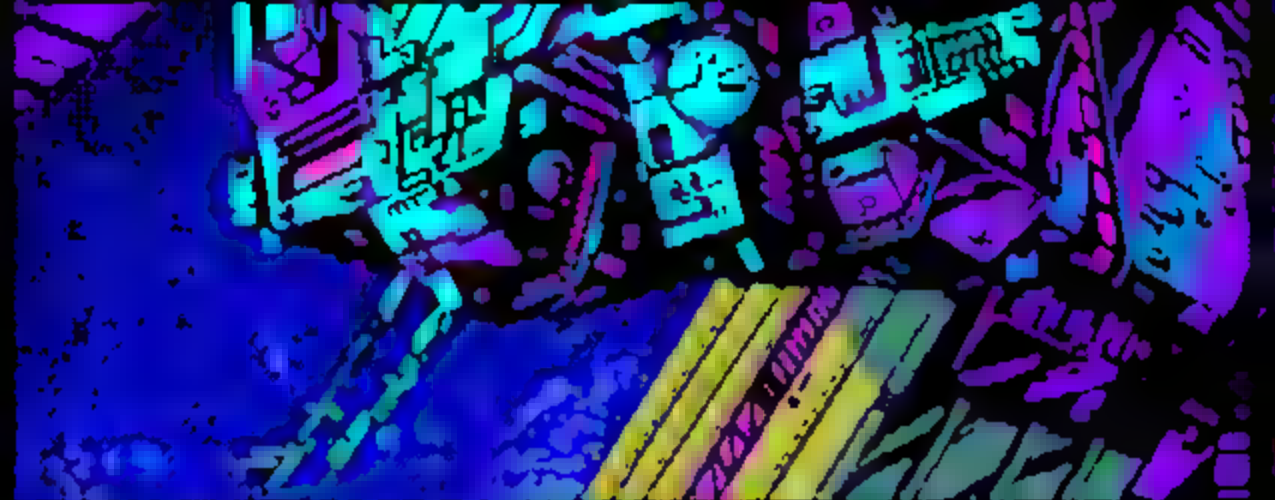
CENARIO WRITTEN BY
KOJI MIYA



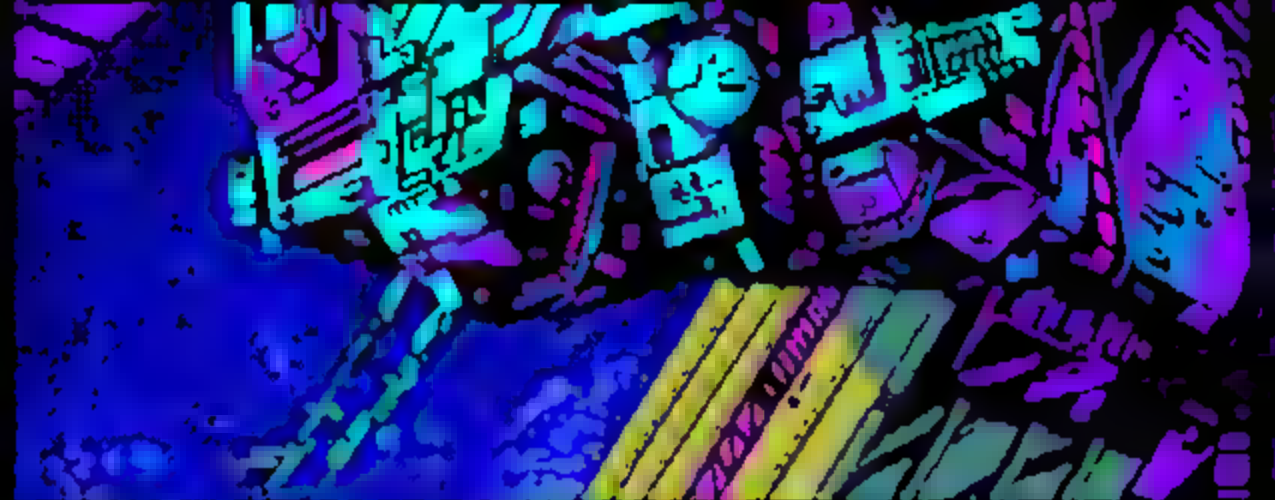
**MUSIC COMPOSED BY
KOICHI SUGIYAMA**



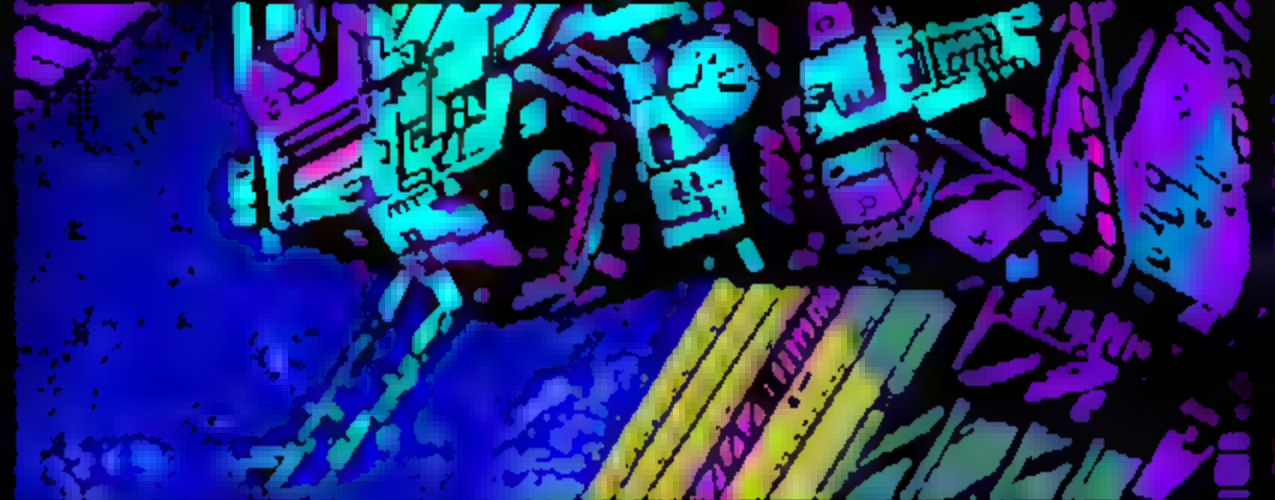
PROGRAMED BY
TAKANARI SUZUKI



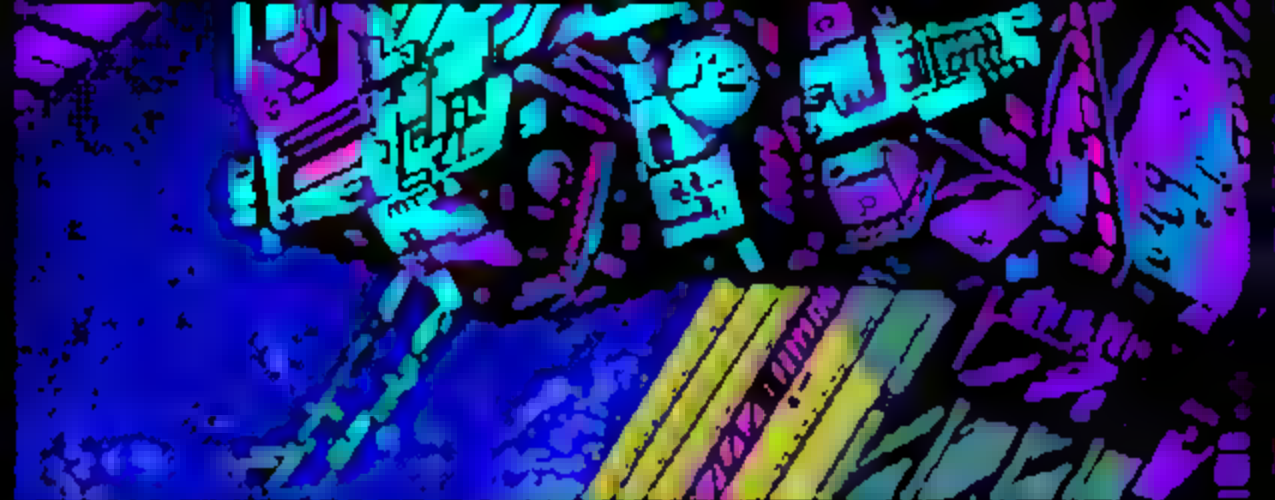
C.G. DESIGNED BY
SHINTARO MAJIMA



MUSIC ASSISTED BY
YASUHIRO TAGUCHI



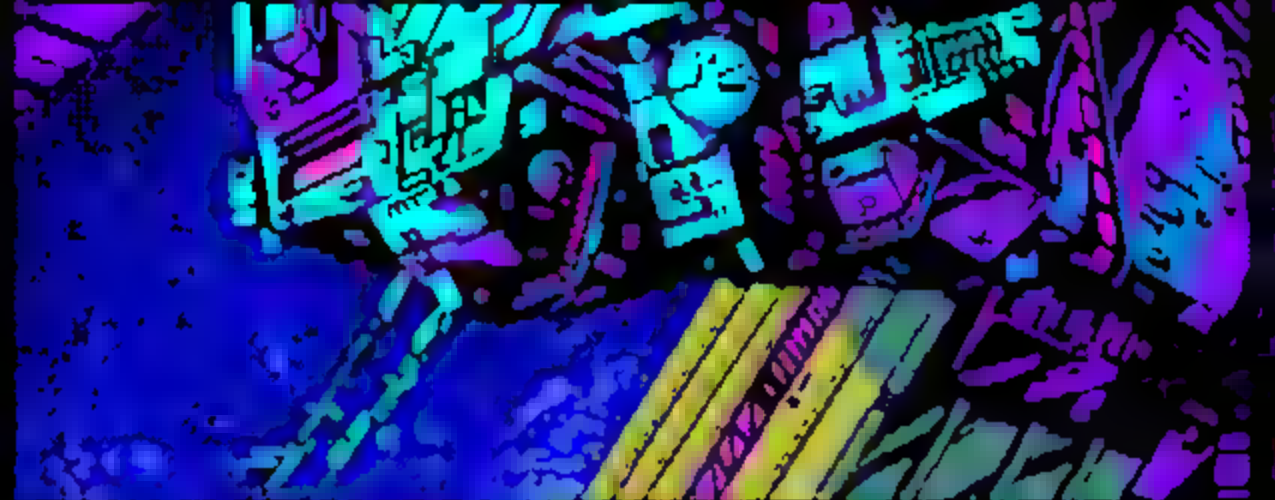
**TITLE DESIGNED BY
SHINTARO MAJIMA**



AUDIO CREATED BY
YASUHIRO TAGUCHI



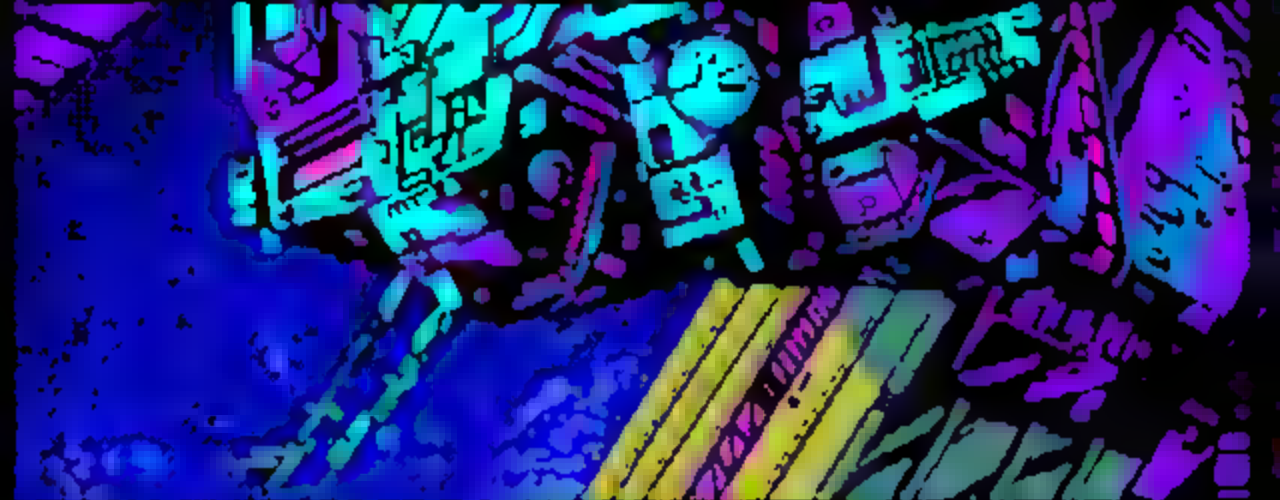
MANUAL ILLUSTRATED BY
SHINTARO MAJIMA



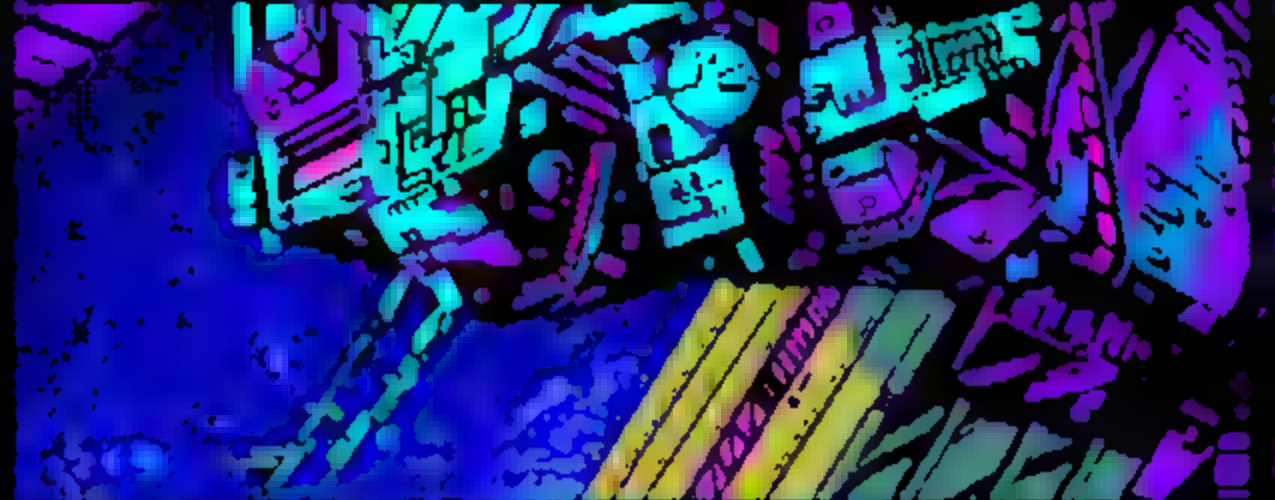
SPECIAL THANKS TO
KEIZO MOCHIZUKI
TORU HIDAKA



DIRECTED BY
TAKANARI SUZUKI



PRODUCED BY
YUTAKA TAKANO

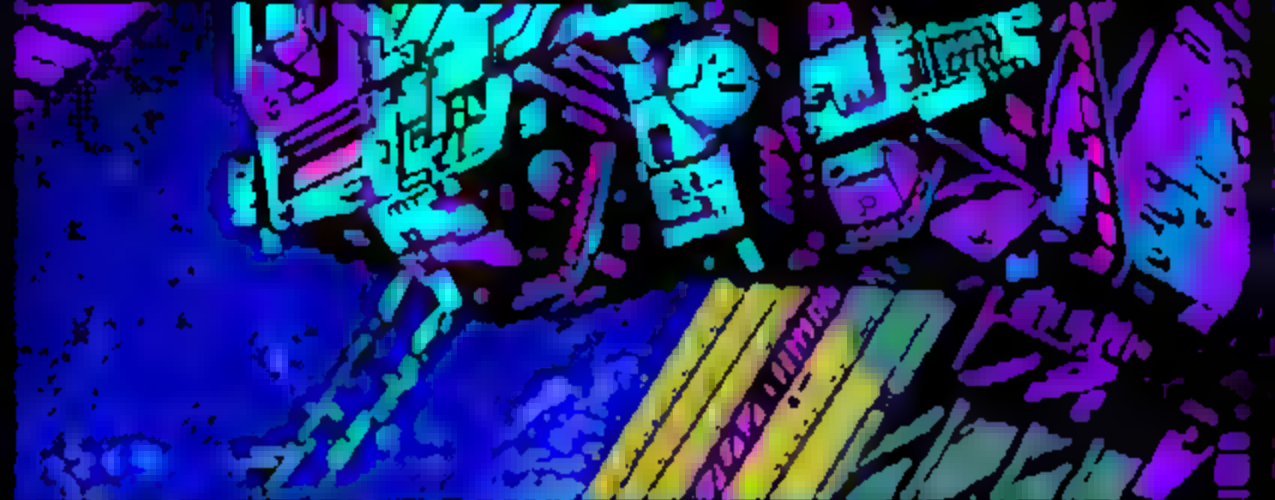


COPYRIGHT

TAKANARI SUZUKI © 1987

KOJI MIYA © 1987

SHINTARO MAJIMA © 1987



COPYRIGHT

KOICHI SUGIYAMA

© 1987

YASUHIRO TAGUCHI

© 1987

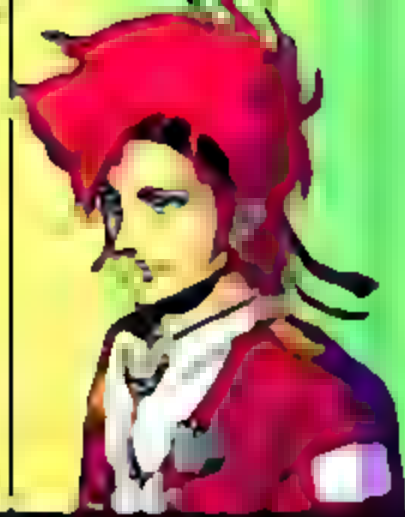
ENIX

© 1987

JESUS



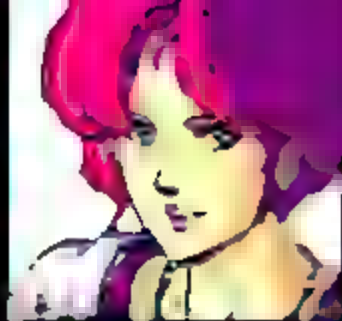
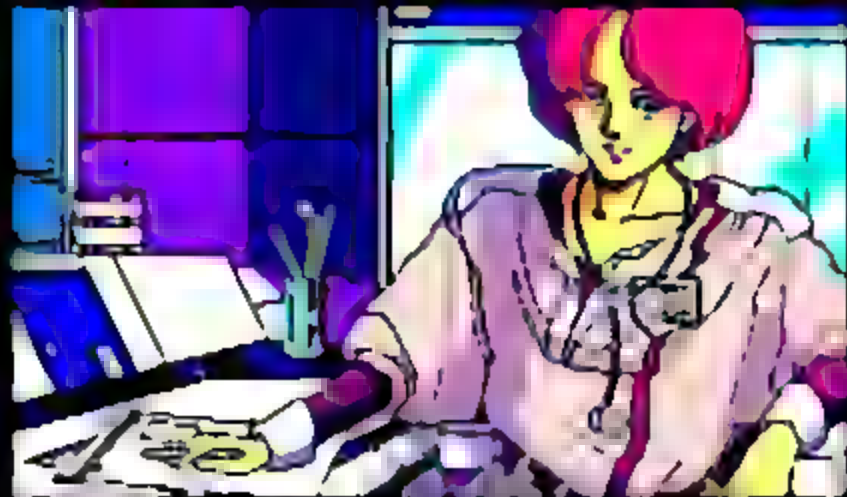
以上を以て、本誌に於けるスカープイザ



地上2万km。宇



地上之万は、事実に非かスルイラブ「サーズ」内
文庫出版（ひそか・ゆかり）すなわち、ききである。――
ハレーすい最便宜2号の出版員・家宅、龍平社士員成成電
子中、出版されて居る。コンピュータゲーム少年でもあり



1. 置きかけ
2. 見る
3. とも
4. 移動

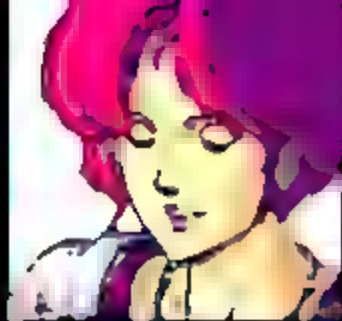
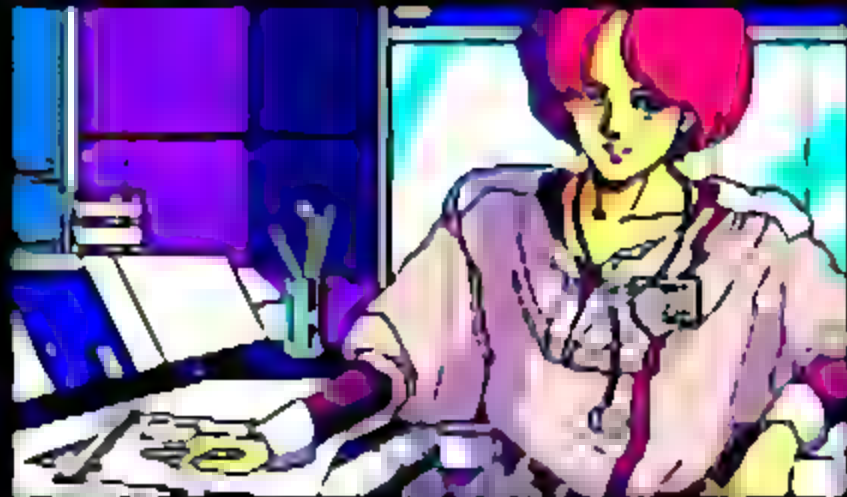
佐野電/彼女2年級サブキャプテン・中島景・教師

佐野電「あら、蓮道くん、何か用？」

蓮 道「町会費から！Cカードを買ってきてました」

佐野電「どうもありがとう」

COMMAND

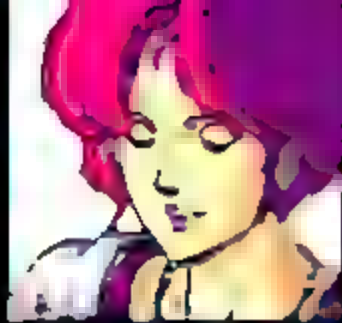
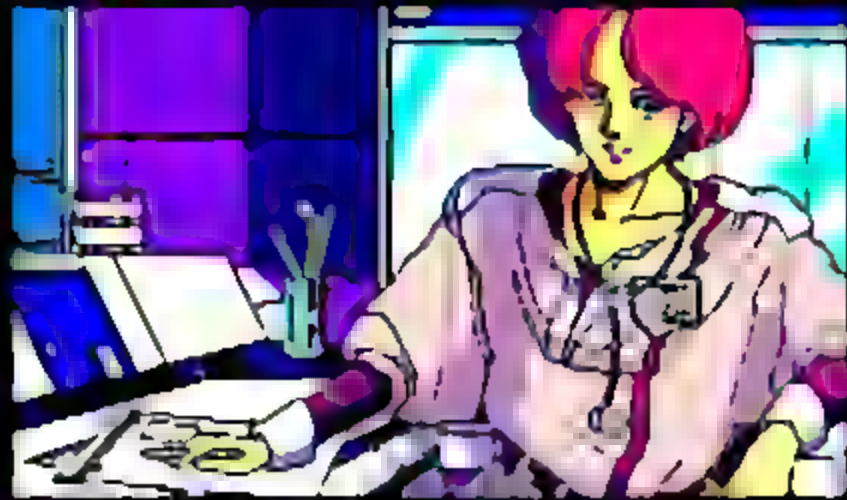


1. 外装の装
2. 自分の服
3. 肩

佐方電 「せっかもは。手道というものがあつてしょ」

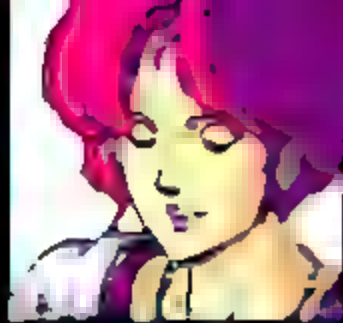
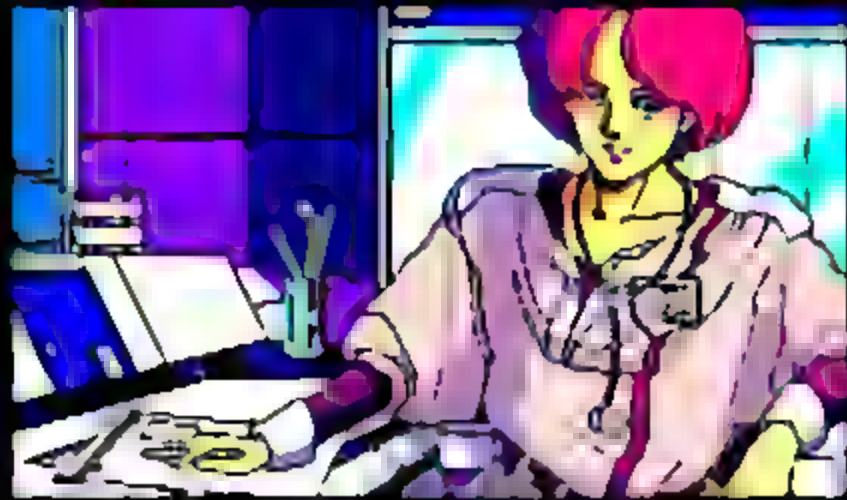
佐方電 「せっかもは。手道というものがあつてしょ」

佐方電 「せっかもは。手道というものがあつてしょ」



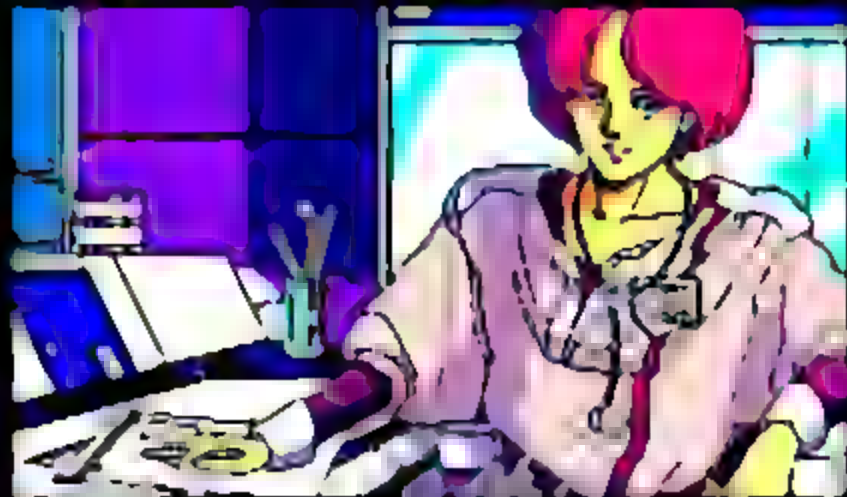
1. 片足の端
2. 片足の側
3. 机の上

朱莉花 「ん？ 何かついてる？」



1. 开始时间
2. 开始日期
3. 开始上

【声優】「あーん、お付き合ひありがとうございます」



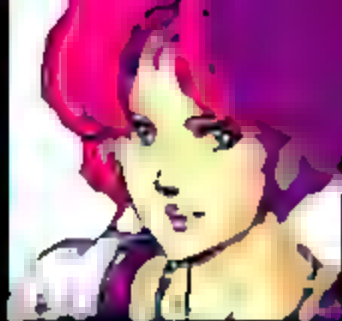
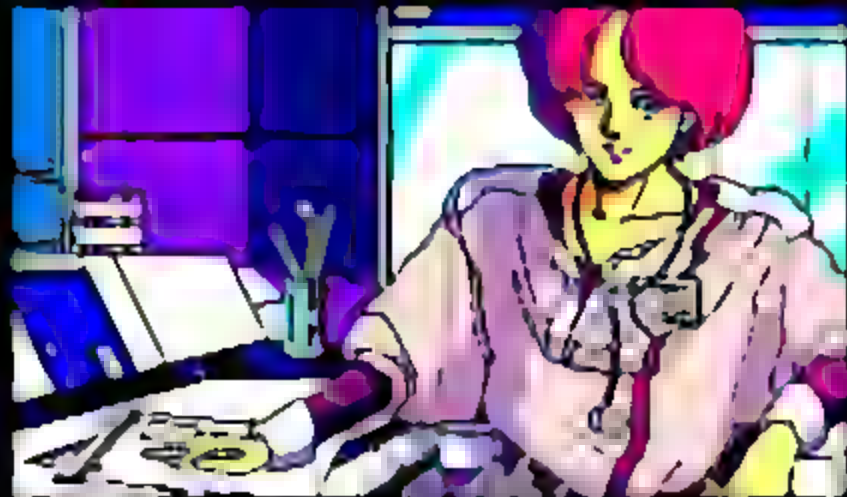
1. 読める
2. 見る
3. とも
4. 移動

速 雄
朱芳花

「芳花さん、いつもきれいですね」
「あら、まだ子供だと思ってたのに、お世話を言うようになっちゃったのね」

速 雄
朱芳花

「いや、お世話はなくて大変です」
「それだけお世の掛りがいと、ニリーアともかか



1. 選ぶ
2. 説明してもらう

佐野 「それだけ世界の面白がるいいと、エリーヌともかき
り込んでいますんでしょ？」

エリーヌ 「は？ ええ、当然——」

佐野 「いさ手があるいいかも、なんでも其の状況にして
あげるとよ」

COMMAND



建 直 「では、ベッドマナーを教えてください」

佐方建 「いいわよ。さっきへきて」

建 直 「さっきへきて」



波 瀬 「では、ベットのマナーを教えてください」

佐方花 「いいわよ。こっちへきて」

佐方花 「ちょっと待って……はい、こちらに座ってください」

波 瀬 「？……」



1. 医務室
2. 読書室
3. ロビー
4. コンピュータ室
5. エリーヌ借室
6. 司令官室

朱芳花 「ちょっと待って……はい、こちら医務室……えっ……
……わかりました」

遠 雄 「？」

朱芳花 「いいところだったのに、急病人よ。また、こんどね」

遠 雄 「では、次はどこへ行こうか」

COMMAND



1. 医務室
2. 読書室
3. ロビー
4. コンピュータ室
5. エリーヌの部屋
6. 司令官室

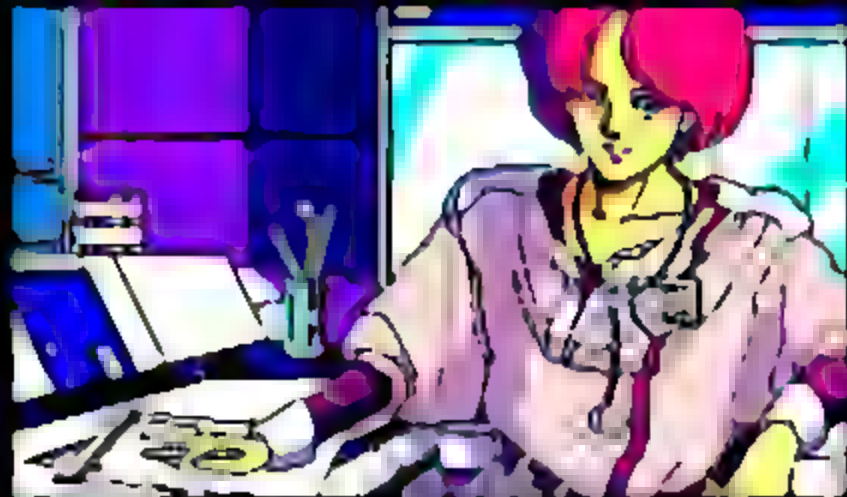
朱芳花 「ちょっと待って……はい、こちら医務室……えっ……
……わかりました」

遠 雄 「？」

朱芳花 「いいところだったのに、急病人よ。また、こんどね」

遠 雄 「では、次はどこへ行こうか」

COMMAND



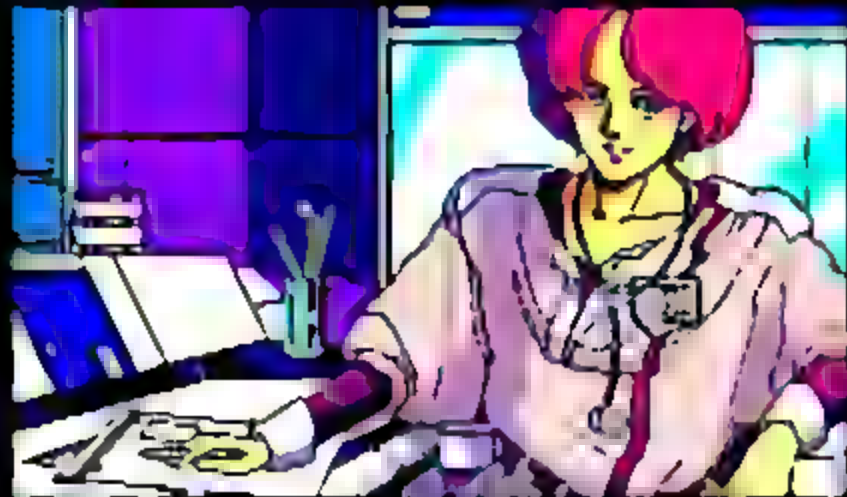
1. 誰しかけも
2. 星も
3. とも
4. 物産

佐野 隆 「こんな仕事に？ いまは流行りだぞ」

星 真 「いや、なんでもないです」

COMMAND

100%



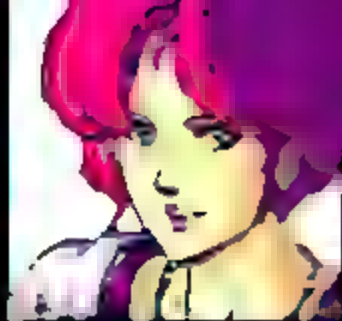
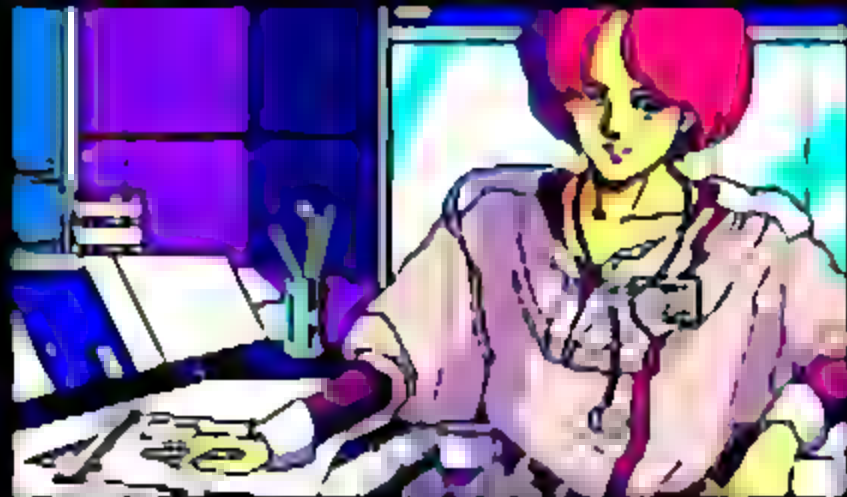
1. 驚かせる
2. 見る
3. とる
4. 物に

建 蔵 「あのうー」

佐野 龍 「建蔵中だ。て言。たでしょ」

COMMAND

8-10



1. 進めさせる
2. 見る
3. とも
4. 移動力

「いまいそがしいんだから、そのへんいじらないで
ようせい」

COMMAND

100



ガルシア・バルカス／探査1号機乗組員・ブラジル系・星間物質学専攻

バルカス「いま《変身モンスター》を特訓中だ。こんどこそ勝つぞ。」

PUSH SPACE KEY



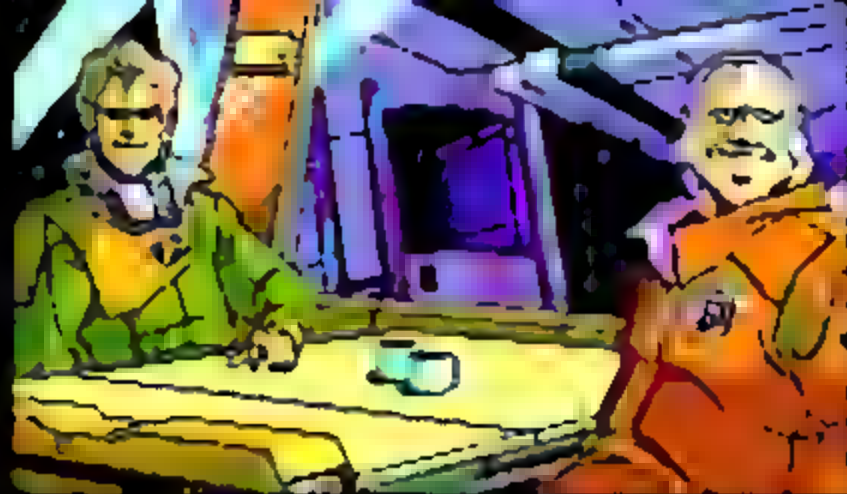
1. 話しかける
2. 見る
3. とる
4. 移動

バルカス「いま《空身モンスター》を特訓中だ。こんどこそ勝つぞ」

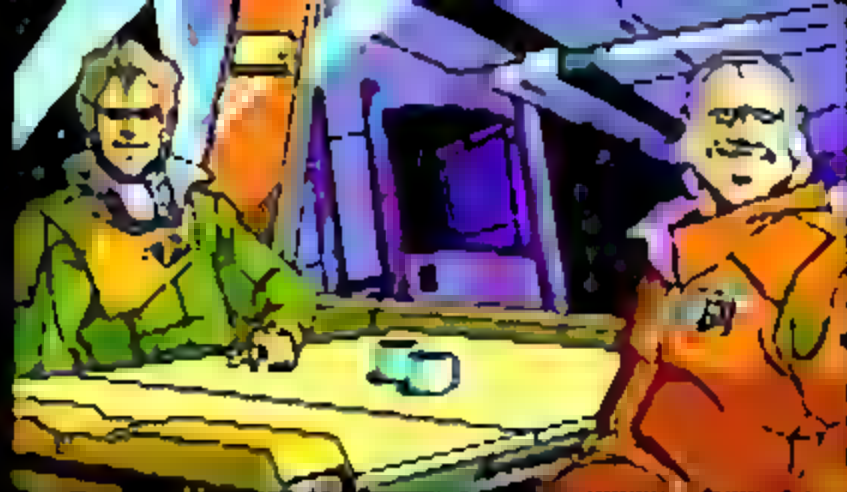
速 雄「司令官からICカードを預かってきたよ」

バルカス「サンキュー」

COMMAND



ウィルヘルム・ハイター/戦犯1号艦長・ドイツ兵・
英機が撃墜
イワン・ミラコフ/戦犯2号艦長・ソビエト兵・もと
艦長士



1. 話しかける
2. 見る
3. とる
4. 移動

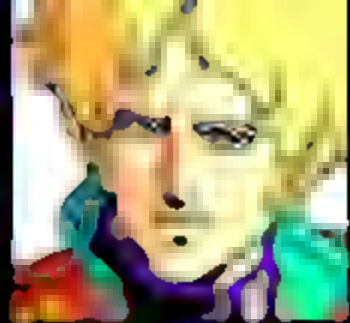
天城カネ子

イワン・ミラコフ / 彼女2号艦キャプテン・ソビエト兵・もと
銀河騎士

ミラコフ「司令官から！Cカードを預かってきました」

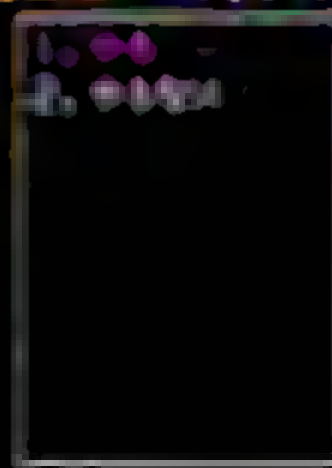
イワン「さくさくさん」

COMMAND



2006-07-26 10:00:00

1. **Introduction**
 2. **Background**
 3. **Methodology**
 4. **Results**
 5. **Conclusion**
 6. **References**



★★★ SPACE MONSTER ★★★

◇◇ SCORE ADVANCE TABLE ◇◇

POWER FEED:*****500PTS
SUPER FEED:*****1000PTS
STEP UP:*****50PTS
BONUS:*****OXYGENX30PTS
MONSTER:*****200PTS

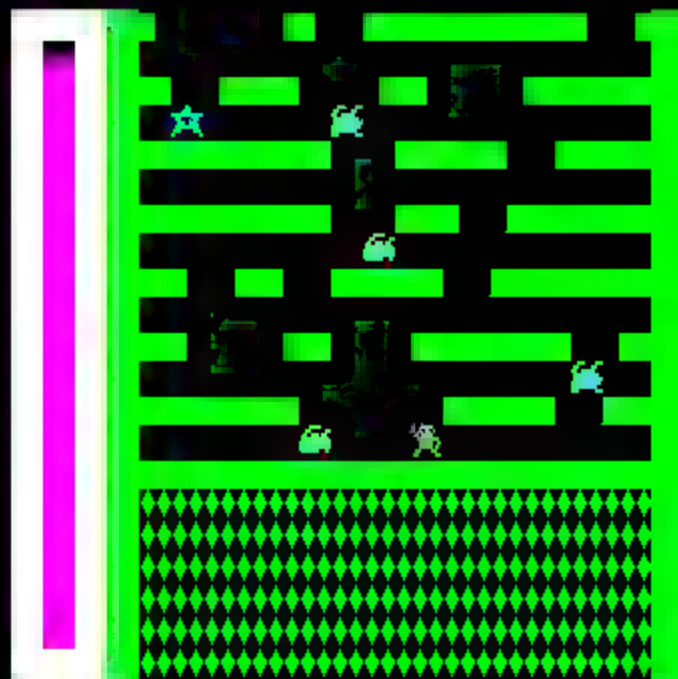
◇◇ KEY FUNCTION◇◇

UP *****6 KEY

LEFT *****4 KEY

RIGHT*****6 KEY

20000点で人間一人増えます



SCORE

500

HIGH

8

001

MAN

MAN

SCORE

HIGH

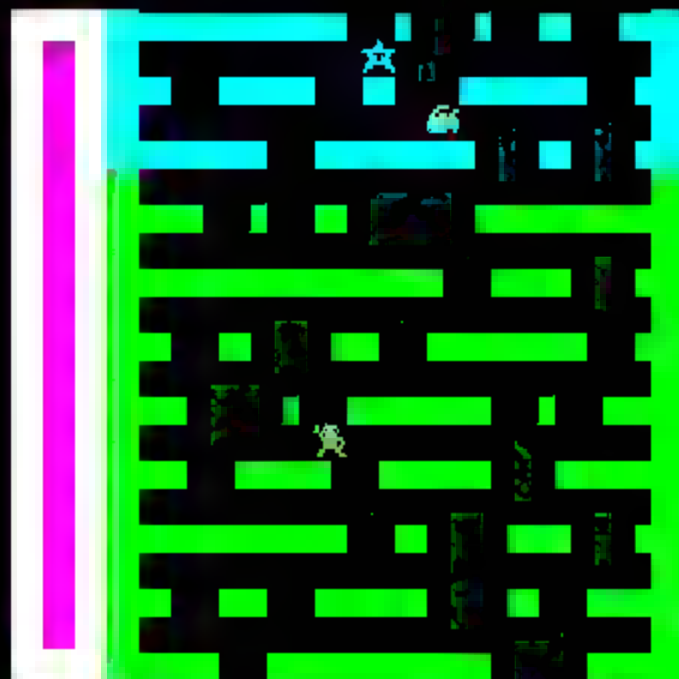


001

MAN

MAN

MAN



SCORE

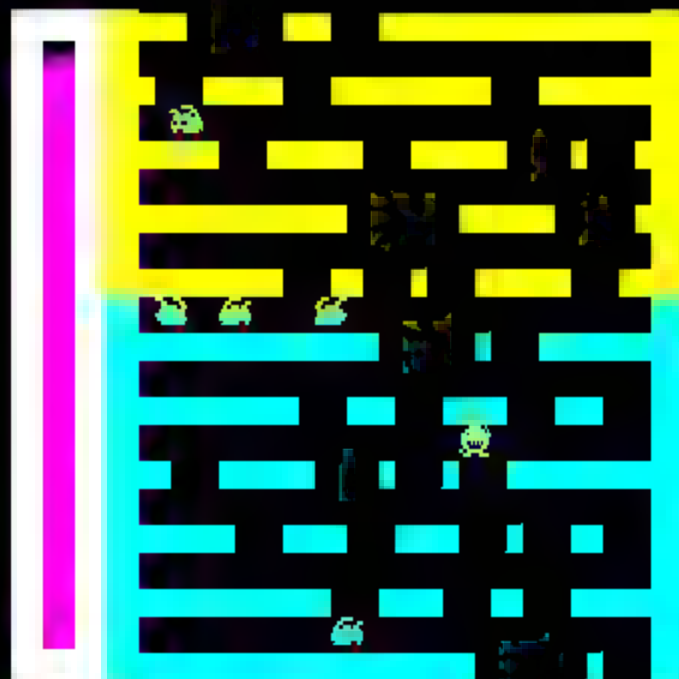
3750

HIGH

3400

096

MAN



SCORE

51670

HIGH

3400

148

MAN

MAN



SCORE

34560

HIGH

3400

163

MAN



SCORE

34610

HIGH

3400

164

MAN





SCORE

34610

HIGH

3400

104

MAN

MAN



SCORE

21250

HIGH

3400

196

MAN

SCORE

355738

HIGH

3400

246

MAN



SCORE

356938

HIGH

3400

250

MAN



SCORE

356938

HIGH

3400

250

MAN





GAME OVER
TRY AGAIN?(YorN)

SCORE

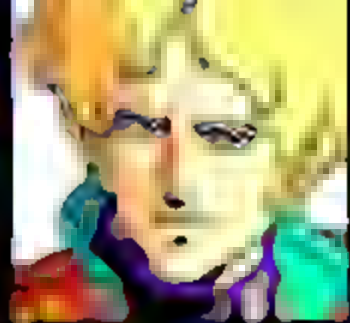
365090

HIGH

365090

001

MAN



2. 見る

4. 移動

COMMAND



1. 移動
2. 何か話す

エリーヌ・シュレマン／探査1号機乗組員・フランス系・天才少女数学者。キーボード演奏もプロ級

雄 「ほら！Ｃカードを持ってきたよ」

エリーヌ 「ありがとう」

COMMAND



1. 移動
2. 何か話す
3. 抱きよせる

速雄 「きっきの力セットをもう一度聞かせて」

エリス 「うわあ、うわあ」

速雄 「おっと、そろそろ行かなきゃ」



エリーヌ「うふん……ずっとうしていいわ」
道 道 「ぼくも……だけど、任務があるんだ。そろそろ行か
なきゃ」

PUSH SPACE KEY



エリーヌ「うふん……ずっとうしていいわ」
達 達 「ぼくも……だけど、任務があるんだ。そろそろ行か
なきゃ」

PUSH SPACE KEY

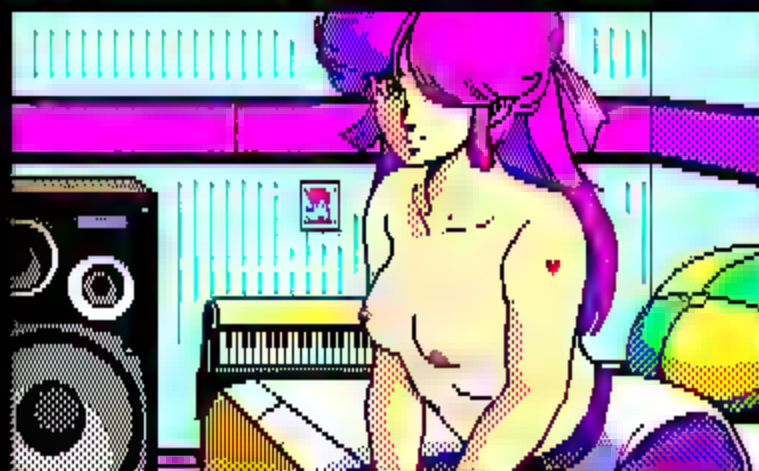


1. 医務室
2. 娯楽室
3. ロビー
4. コンピュータ室
5. エリーヌ個室
6. 司令官室

エリーヌ「今度はなあに」

速雄「いや、ちょっと顔が見たかったんだ任務の途中だからまたあとでね」

COMMAND



1. 移動
2. 何か話す
3. 抱きよせる

速雄「性指導してもらえ」

エリー「V404わよ」

COMMAND



1. 話しかける
2. 見る
3. とる
4. 移動

ロジャー・カーゾン／探査2号機乗組員・アメリカ系・宇宙生物学専攻

速 雄 「司令官からカードを預かってきました」

カーゾン「どうも、どうも」

COMMAND

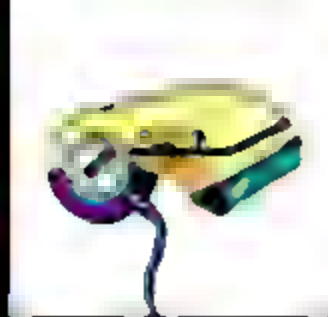


1. 話しかける
2. 見る
3. とる
4. 移動

速 雄 「カーゾンさんは、ハレー探査機にのるのを強く希望したんですってね。どうしてですか」

カーゾン 「地球の生命は、すい星がはこんできた……という説を確かめたいんだ。すい星の星のガスをとれば、生命のもとがみつかるかもしれない」

COMMAND



11 11 1100-11000000
1100 110000 00 110000 000000000000
11 11 11000000
1100 11000000

PUSH SPACE KEY

[illegible]

715.0006.80VW.0001

1800 1801 1802 1803 1804 1805 1806 1807 1808 1809 1810 1811 1812 1813 1814 1815 1816 1817 1818 1819 1820 1821 1822 1823 1824 1825 1826 1827 1828 1829 1830 1831 1832 1833 1834 1835 1836 1837 1838 1839 1840 1841 1842 1843 1844 1845 1846 1847 1848 1849 1850 1851 1852 1853 1854 1855 1856 1857 1858 1859 1860 1861 1862 1863 1864 1865 1866 1867 1868 1869 1870 1871 1872 1873 1874 1875 1876 1877 1878 1879 1880 1881 1882 1883 1884 1885 1886 1887 1888 1889 1890 1891 1892 1893 1894 1895 1896 1897 1898 1899 1900 1901 1902 1903 1904 1905 1906 1907 1908 1909 1910 1911 1912 1913 1914 1915 1916 1917 1918 1919 1920 1921 1922 1923 1924 1925 1926 1927 1928 1929 1930 1931 1932 1933 1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940 1941 1942 1943 1944 1945 1946 1947 1948 1949 1950 1951 1952 1953 1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960 1961 1962 1963 1964 1965 1966 1967 1968 1969 1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050 2051 2052 2053 2054 2055 2056 2057 2058 2059 2060 2061 2062 2063 2064 2065 2066 2067 2068 2069 2070 2071 2072 2073 2074 2075 2076 2077 2078 2079 2080 2081 2082 2083 2084 2085 2086 2087 2088 2089 2090 2091 2092 2093 2094 2095 2096 2097 2098 2099 2100 2101 2102 2103 2104 2105 2106 2107 2108 2109 2110 2111 2112 2113 2114 2115 2116 2117 2118 2119 2120 2121 2122 2123 2124 2125 2126 2127 2128 2129 2130 2131 2132 2133 2134 2135 2136 2137 2138 2139 2140 2141 2142 2143 2144 2145 2146 2147 2148 2149 2150 2151 2152 2153 2154 2155 2156 2157 2158 2159 2160 2161 2162 2163 2164 2165 2166 2167 2168 2169 2170 2171 2172 2173 2174 2175 2176 2177 2178 2179 2180 2181 2182 2183 2184 2185 2186 2187 2188 2189 2190 2191 2192 2193 2194 2195 2196 2197 2198 2199 2200 2201 2202 2203 2204 2205 2206 2207 2208 2209 2210 2211 2212 2213 2214 2215 2216 2217 2218 2219 2220 2221 2222 2223 2224 2225 2226 2227 2228 2229 2230 2231 2232 2233 2234 2235 2236 2237 2238 2239 2240 2241 2242 2243 2244 2245 2246 2247 2248 2249 2250 2251 2252 2253 2254 2255 2256 2257 2258 2259 2260 2261 2262 2263 2264 2265 2266 2267 2268 2269 2270 2271 2272 2273 2274 2275 2276 2277 2278 2279 2280 2281 2282 2283 2284 2285 2286 2287 2288 2289 2290 2291 2292 2293 2294 2295 2296 2297 2298 2299 2300 2301 2302 2303 2304 2305 2306 2307 2308 2309 2310 2311 2312 2313 2314 2315 2316 2317 2318 2319 2320 2321 2322 2323 2324 2325 2326 2327 2328 2329 2330 2331 2332 2333 2334 2335 2336 2337 2338 2339 2340 2341 2342 2343 2344 2345 2346 2347 2348 2349 2350 2351 2352 2353 2354 2355 2356 2357 2358 2359 2360 2361 2362 2363 2364 2365 2366 2367 2368 2369 2370 2371 2372 2373 2374 2375 2376 2377 2378 2379 2380 2381 2382 2383 2384 2385 2386 2387 2388 2389 2390 2391 2392 2393 2394 2395 2396 2397 2398 2399 2400 2401 2402 2403 2404 2405 2406 2407 2408 2409 2410 2411 2412 2413 2414 2415 2416 2417 2418 2419 2420 2421 2422 2423 2424 2425 2426 2427 2428 2429 2430 2431 2432 2433 2434 2435 2436 2437 2438 2439 2440 2441 2442 2443 2444 2445 2446 2447 2448 2449 2450 2451 2452 2453 2454 2455 2456 2457 2458 2459 2460 2461 2462 2463 2464 2465 2466 2467 2468 2469 2470 2471 2472 2473 2474 2475 2476 2477 2478 2479 2480 2481 2482 2483 2484 2485 2486 2487 2488 2489 2490 2491 2492 2493 2494 2495 2496 2497 2498 2499 2500 2501 2502 2503 2504 2505 2506 2507 2508 2509 2510 2511 2512 2513 2514 2515 2516 2517 2518 2519 2520 2521 2522 2523 2524 2525 2526 2527 2528 2529 2530 2531 2532 2533 2534 2535 2536 2537 2538 2539 2540 2541 2542 2543 2544 2545 2546 2547 2548 2549 2550 2551 2552 2553 2554 2555 2556 2557 2558 2559 2560 2561 2562 2563 2564 2565 2566 2567 2568 2569 2570 2571 2572 2573 2574 2575 2576 2577 2578 2579 2580 2581 2582 2583 2584 2585 2586 2587 2588 2589 2590 2591 2592 2593 2594 2595 2596 2597 2598 2599 2600 2601 2602 2603 2604 2605 2606 2607 2608 2609 2610 2611 2612 2613 2614 2615 2616 2617 2618



西暦2061年、ハレーすい星が太陽系に近づきつつあった。

その前年から、世界的豪雪・フィリピン大地震・セントヘレナ大噴火・日本海溝陥没など、異常な気象・自然現象が全地球規模で次々と起こっていた。

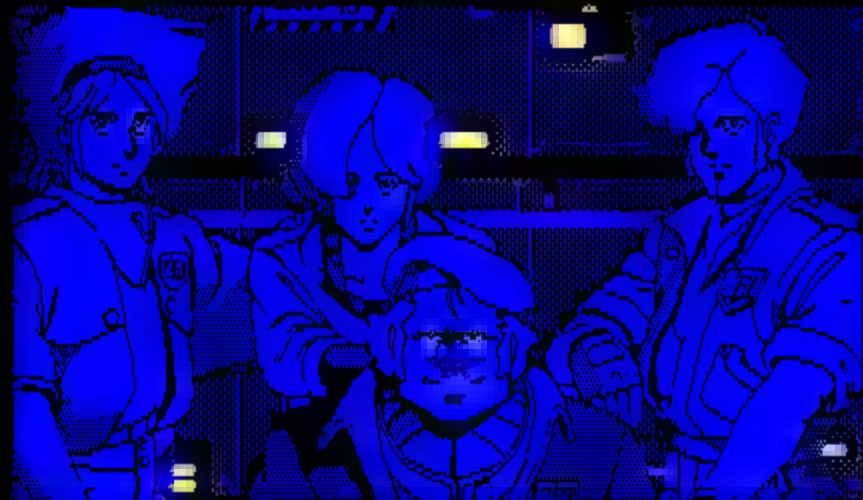
『ノストラダムスの再来』と自称する予言者が現われ、『ハレーすい星と共にきたる悪魔によって、人類は滅ぼされる。異常現象はその前兆だ』と告げ、



にきたる悪魔によって、人類は滅ぼされる。異常現象はその前兆だ』と告げ、信者を急速に増やしつつあった。そんな社会不安の中、人類は2機の探査機でハレーすい星を迎えようとしていた。75年前――1986年――の接近では5機の無人探査機を打ち上げたが、今回は有人探査機である。



まず1号機【コメット】が、2週間後に2号機【コロナ】が
出発した。

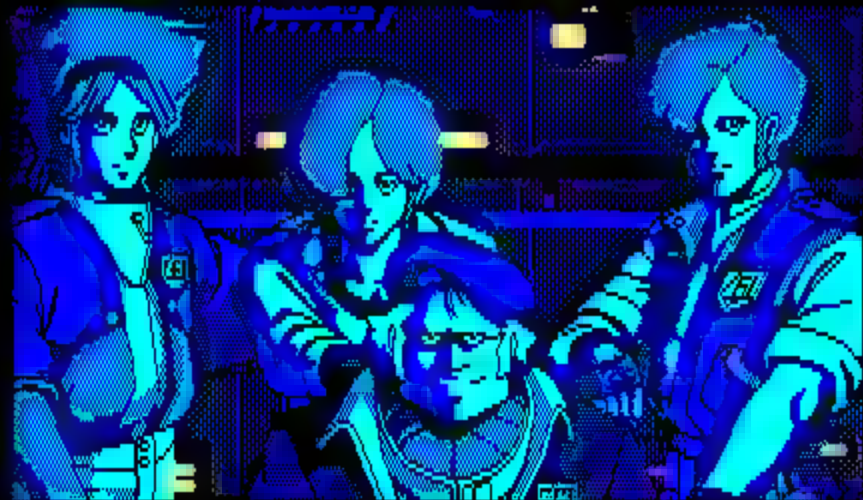


ミラコバ「速雄、【コメット】から何か変わった知らせはないか」

速雄「順調に飛んでいるようです。自動送信されたデータがどんどん入ってきています」

カーザン「【コメット】は、ハレーの尾のガスをもう採取したんだっけ」

速雄「ええ。きのうその連絡が入りました」



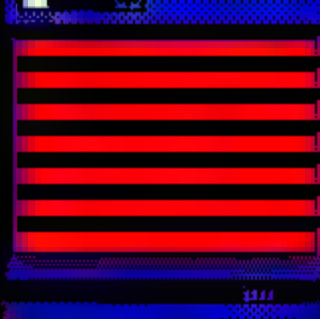
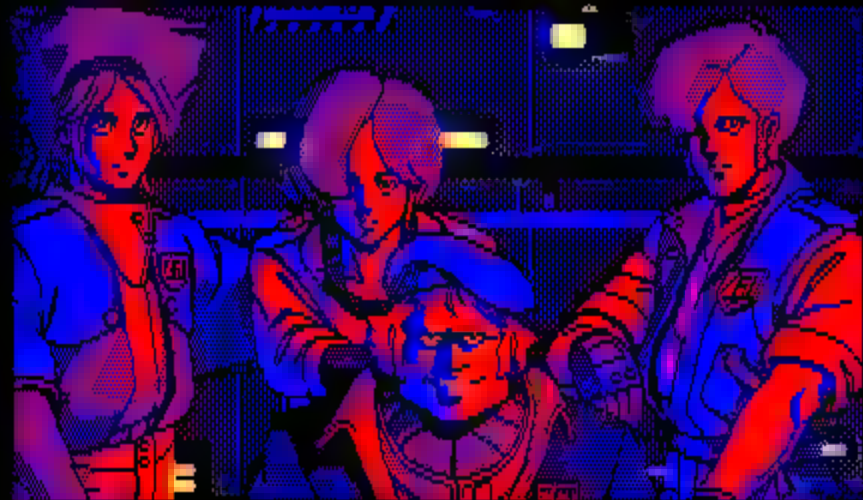
速 雄「順調に飛んでいるようです。自動送信されたデータがどんどん入ってきて

います」

カーゾン「【コメット】は、ハレーの尾のガスをもう採取したんだっけ」

速 雄「ええ、きのうその連絡が入りました」

カーゾン「それなら、もういいかな」

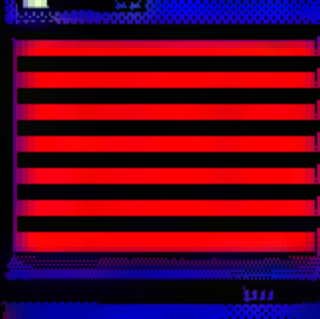
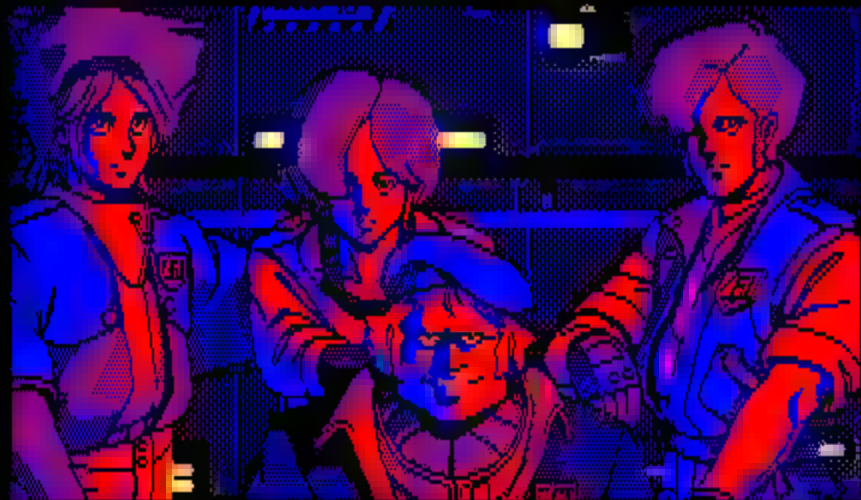


カーゾン「ぼくも早く見たいな。地球の生命はすい星が運んできたのかどうか、
ガスの中に手掛かりがあるにちがいない」

速雄「キャプテン、空です。【コメット】からの通信がとどきました」

ミラコバ「緊急呼び出しをかける」

速雄「応答ありません」



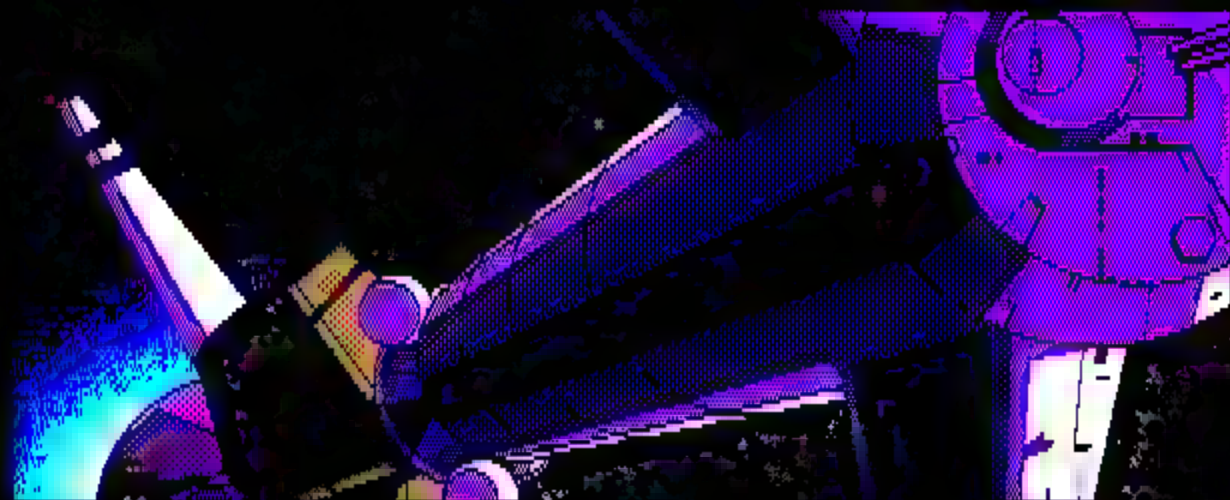
カーゾン「緊急事態かもしれない。救助に向かいましょう」

朱芳花「ハレーに急接近したので、人体に思わぬ影響が出たんでしょうか。」

カーゾン「それなら私が……」

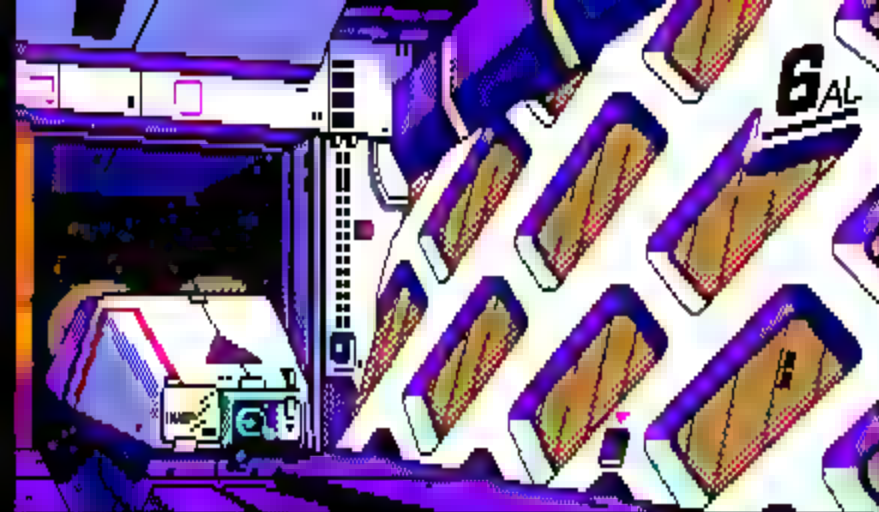
ミラコバ「いや、医師のきみがいきなり行くより、まず偵察を出そう。速雄、

快速艦【いなづま】で【コメット】に向かえ」

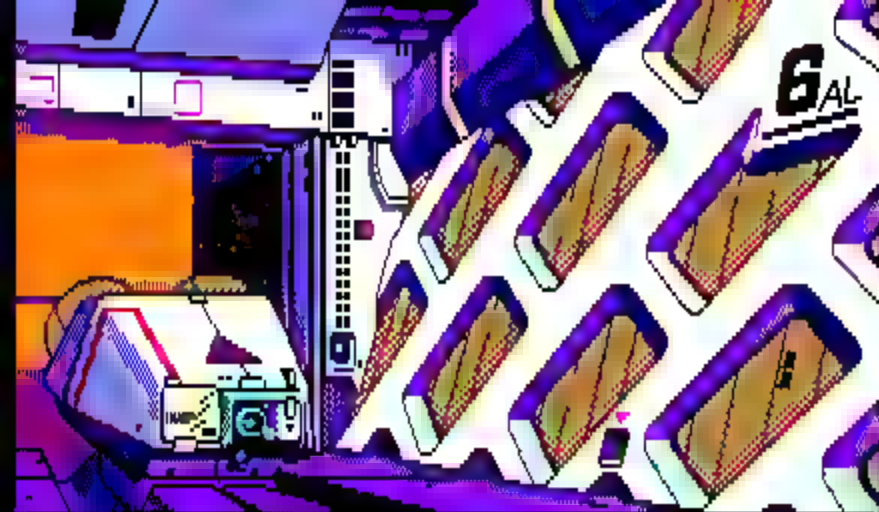


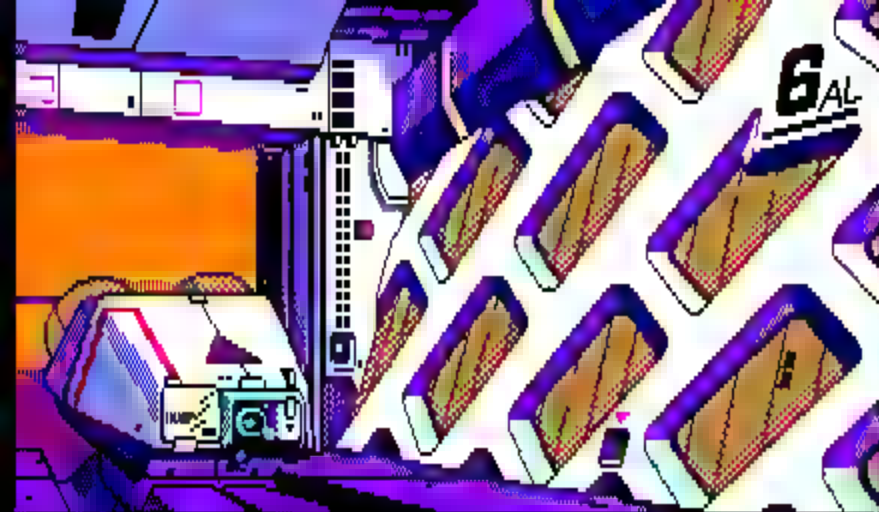
速 雄 「【コメット】が見えてきたぞ」
F.O.J.V 「エアロックのハッチをオープンしました」
速 雄 「よし、着艦するぞ」

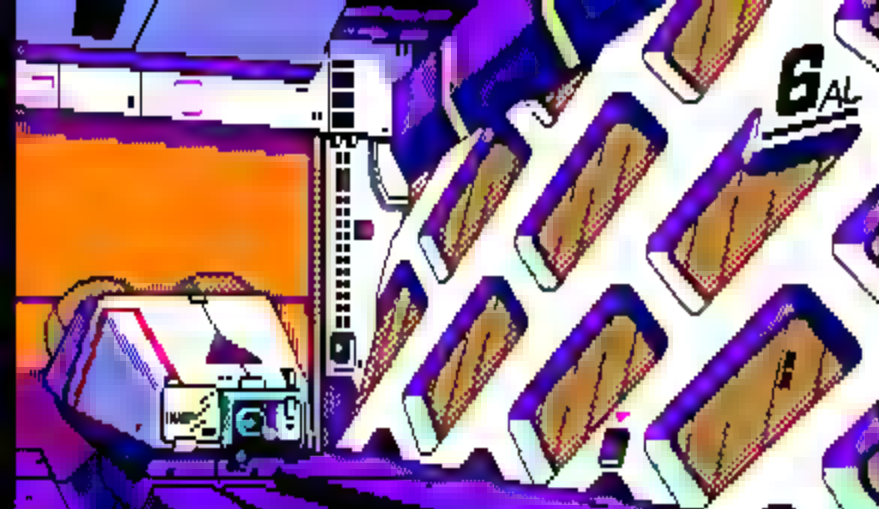
Copyright © 1997 Bandai Namco Entertainment Inc.









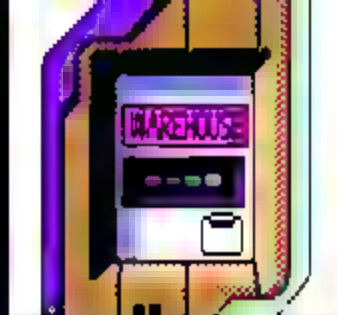


速 読 「ここはエアロックだな。FOJY、【コメット】の
構造を教えてくれ」

FOJY「私のメモリーにはインプットされていません。どこ
かにデータ回路の歪みがあるはずです。そこに接続し
てください」

COMMAND

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

速 読 「4つボタンがある。何の操作パネルかな」
 FOJY「さあ、わかりませんねー」

COMMAND

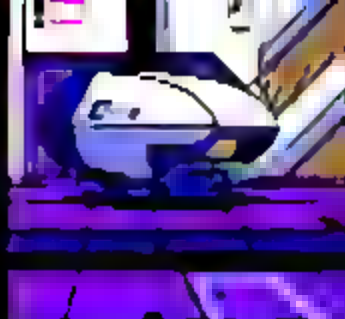


「これがデータ回路の進歩だな」



1. 他へ移動
2. この側で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMMAND



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

「【コメット】階の快速電【シリウス】がある」
 ド○JY「カタバルトが」つだから」きづつしか見道できません
 んよ」

COMMAND



FOJY「ここは5階だ」

COMMAND

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする
9. SAVE



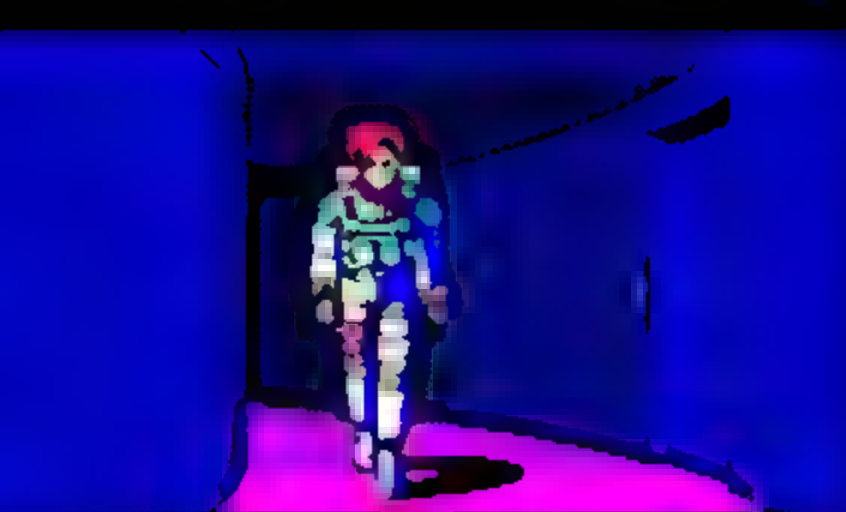
2-手前へ進む

6-部屋に入る

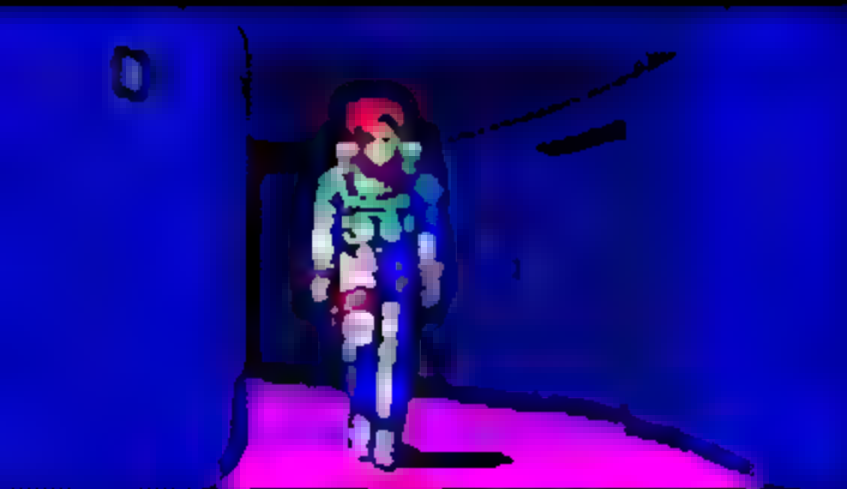
8-向こうへ進む

9-何かをする

0---SAVE---



2-手前へ進む
6-部屋に入る
8-向こうへ進む
9-何かをする
0-SAVE



2- 手前へ進む
6- 部屋に入る
8- 向こうへ進む
9- 何かをする
0- SAVE



2- 手前へ進む

6- 部屋に入る

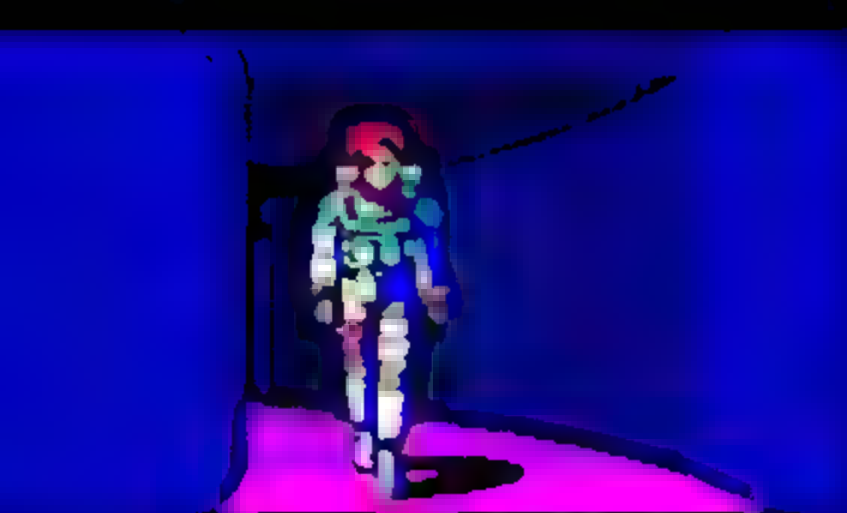
8- 向こうへ進む

9- 何かをする

0- SAVE



- 2- 手前へ進む
- 6- 部屋に入る
- 8- 向こうへ進む
- 9- 何かをする
- 0- SAVE



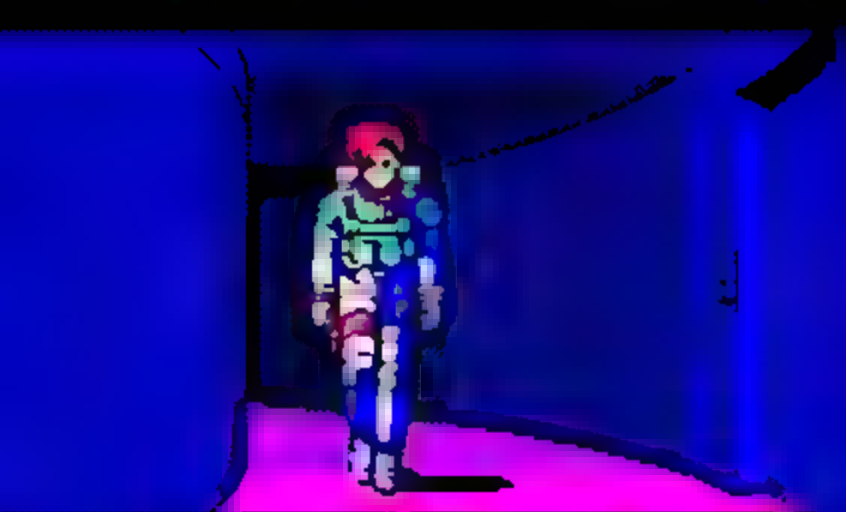
2- 手前へ進む

6- 部屋に入る

8- 向こうへ進む

9- 何かをする

0- SAVE



2- 手前へ進む
6- 部屋に入る
8- 向こうへ進む
9- 何かをする
S- SAVE



2- 手前へ進む

6- 部屋に入る

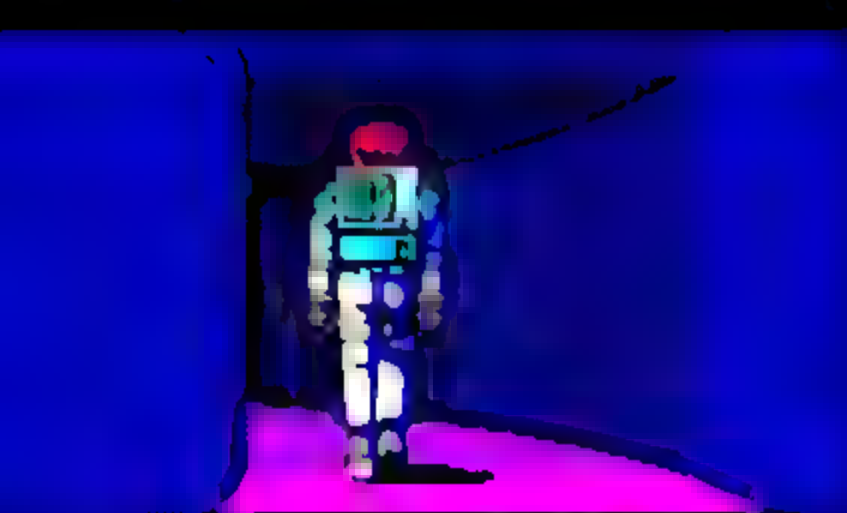
8- 向こうへ進む

9- 何かをする

8-----SAVE-----



2- 手前へ進む
6- 部屋に入る
8- 向こうへ進む
9- 何かをする
25- SAVE



- 2- 手前へ進む
- 6- 部屋に入る
- 8- 向こうへ進む
- 9- 何かをする
- 99- SAVE



2- 手前へ進む

6- 部屋に入る

8- 向こうへ進む

9- 何かをする

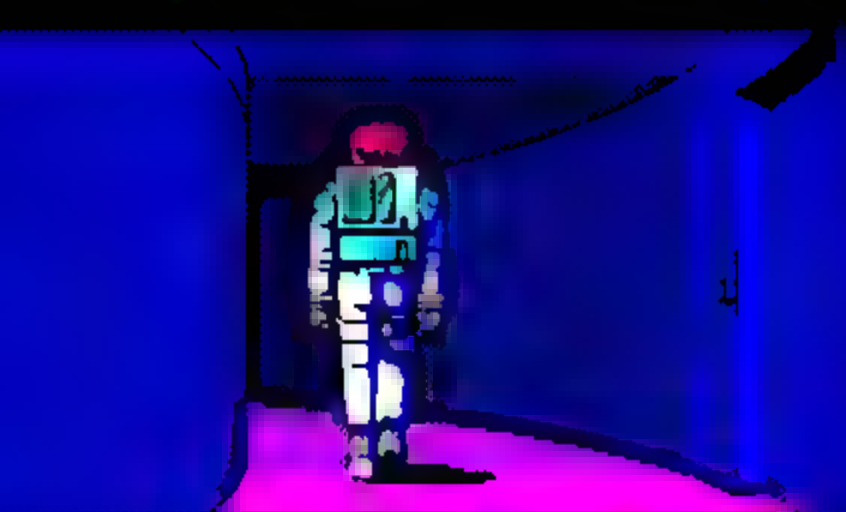
0- SAVE



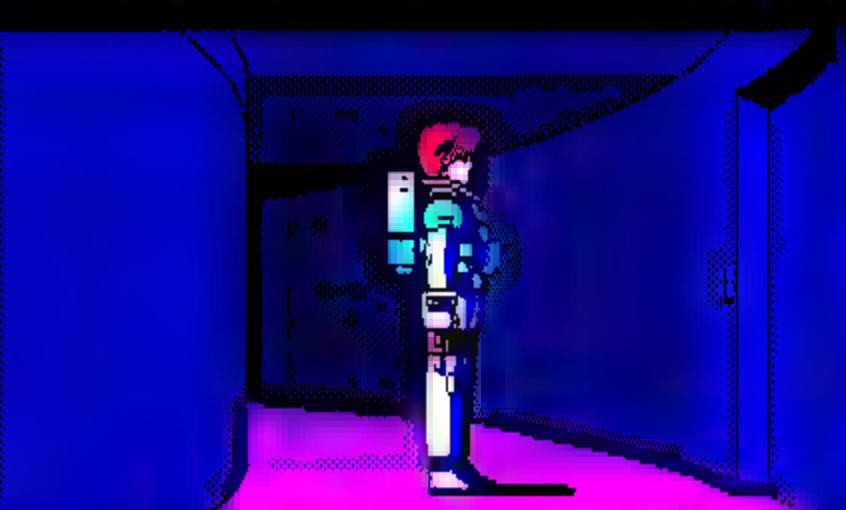
2-手帳へ進む
6-部屋に入る
8-向こうへ進む
9-何かをする
0-PAUSE
SAVE



2-手前へ進む
6-部屋に入る
8-向こうへ進む
9-何かをする
0-SAVE



2- 手前へ進む
6- 部屋に入る
8- 向こうへ進む
9- 何かをする
8-...SAVE



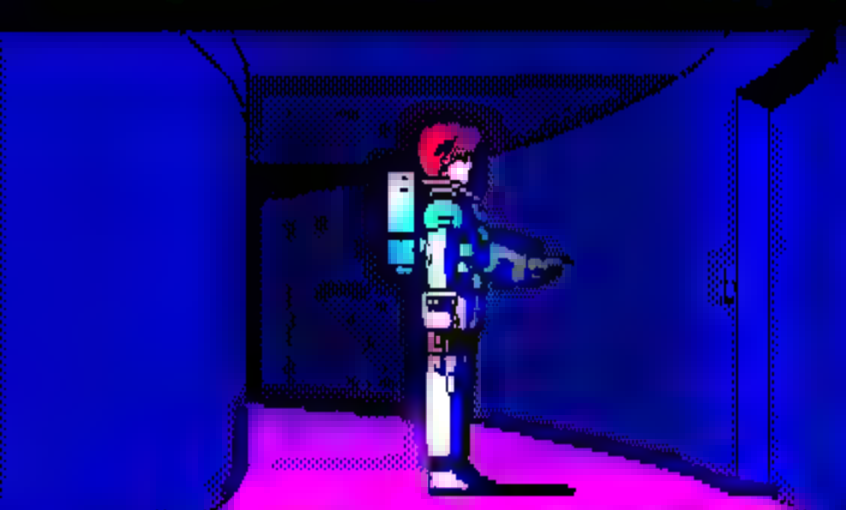
2- 手前へ進む

6- 部屋に入る

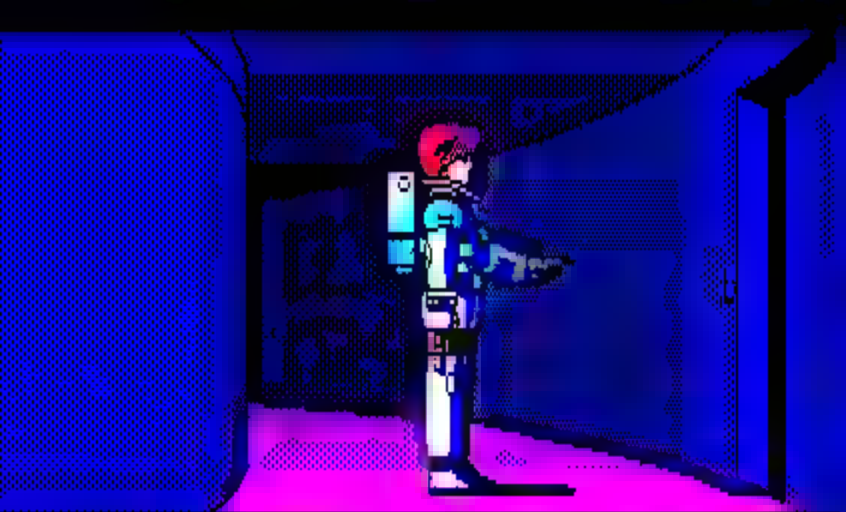
8- 向こうへ進む

9- 何かをする

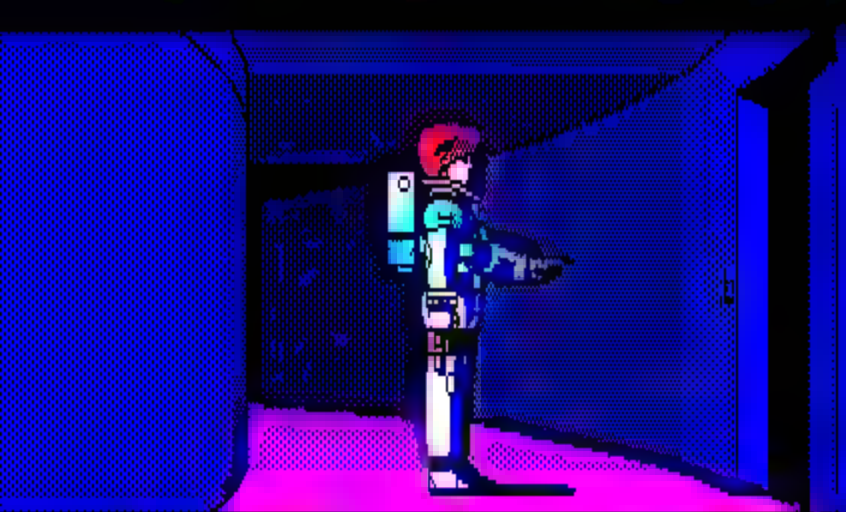
S.....SAVE



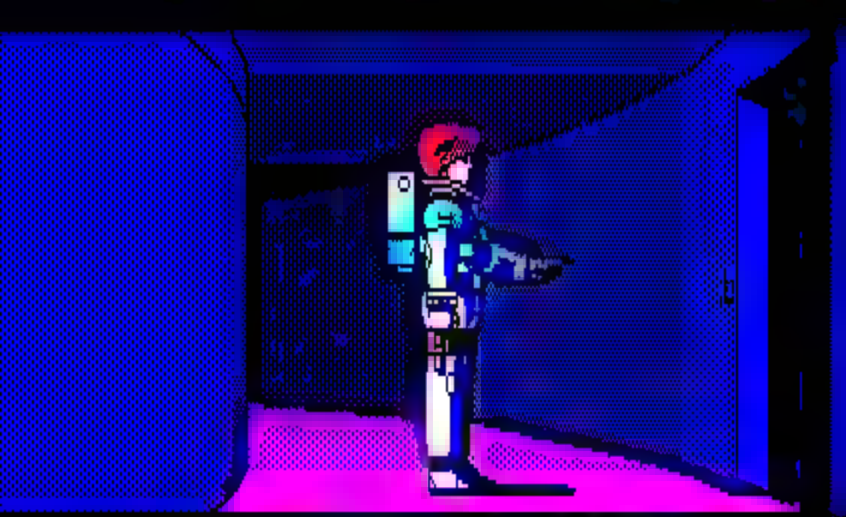
2-手前へ進む
6-部屋に入る
8-向こうへ進む
9-何かをする
S.....SAVE



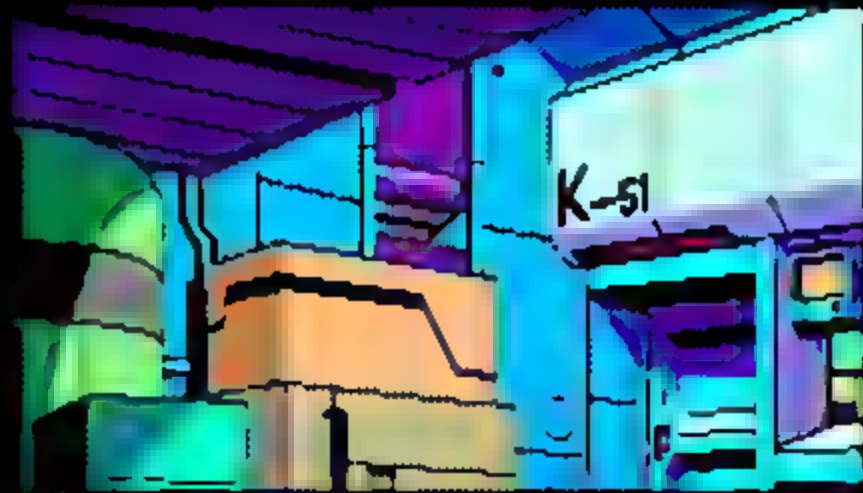
2-手前へ進む
6-部屋に入る
8-向こうへ進む
9-何かをする
S.....SAVE



2- 手前へ進む
6- 部屋に入る
8- 向こうへ進む
9- 何かをする
S.....SAVE



2- 1手前へ進む
6- 部屋に入る
8- 向こうへ進む
9- 何かをする
S.....SAVE



FOJY「ここは倉庫だよ」

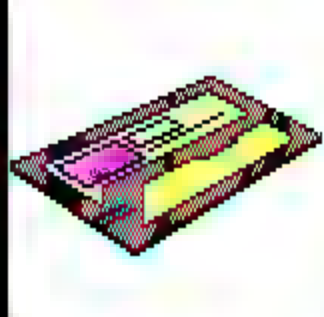
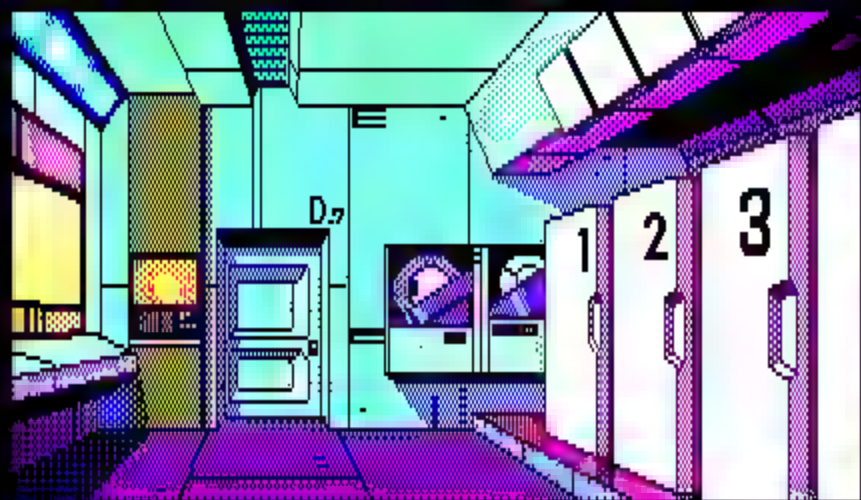
1. 他の方へ移動
2. この場で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMMAND



1. 別の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

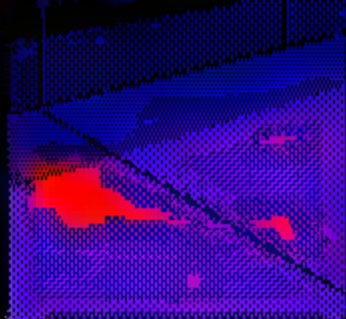
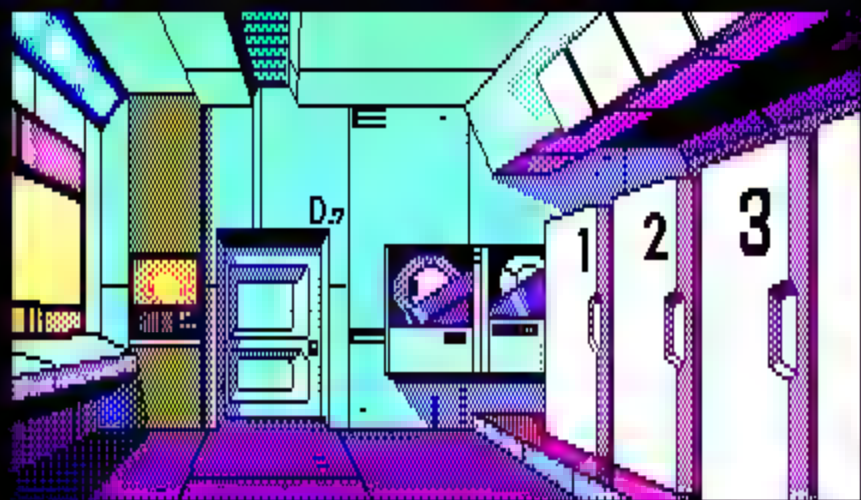
COMMAND



1. 別の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

速雄 「やはりバルカスのICカードだ」

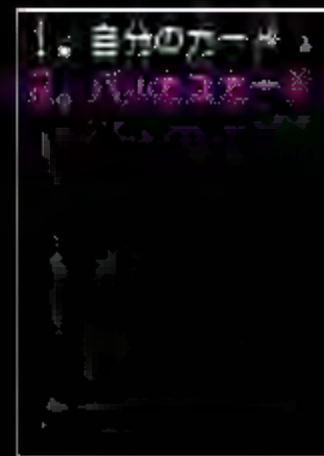
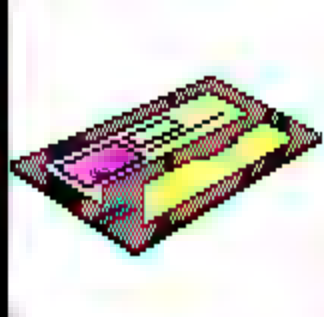
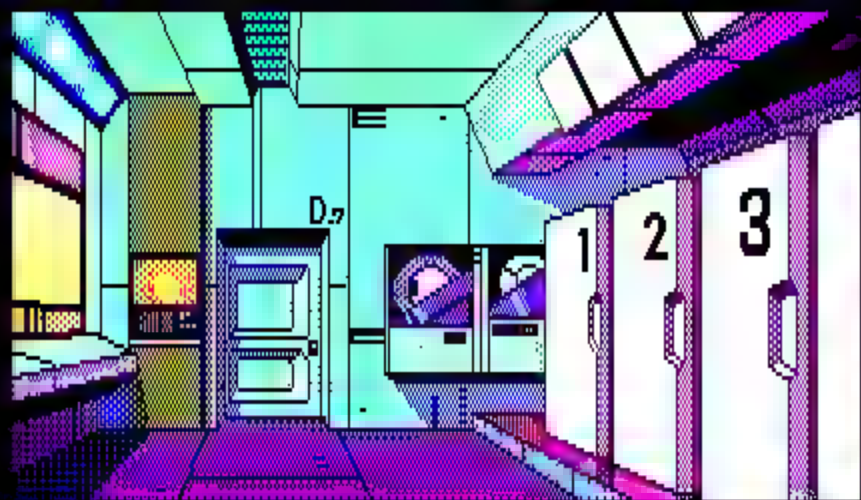
COMMAND



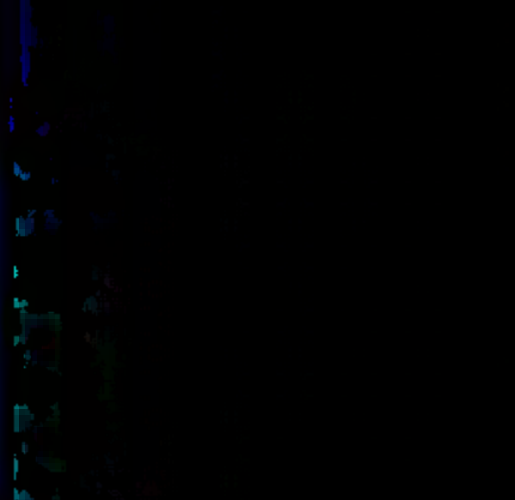
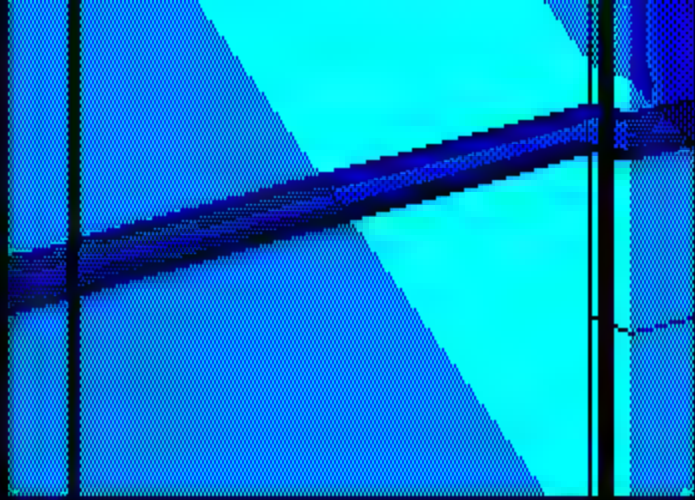
1. 別の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

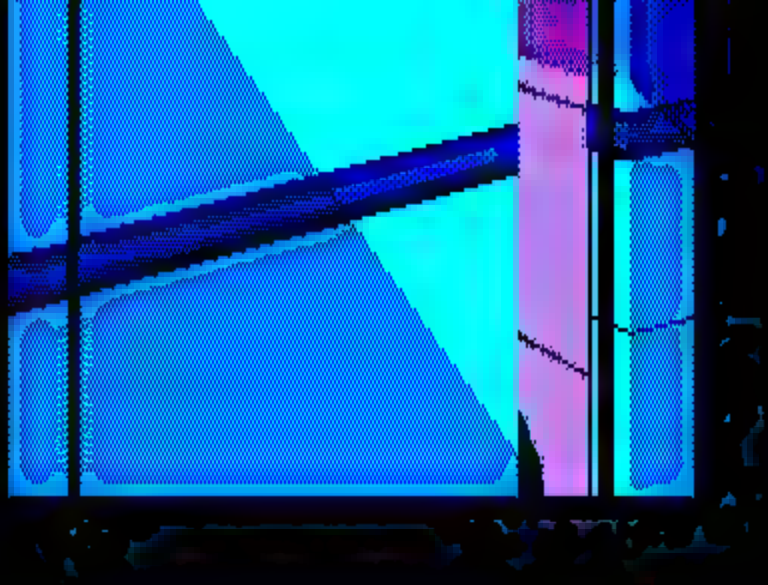
FOJY「これは人間の血液だ。B型だぞ」
 速雄「1号機の中でB型といえは……」
 FOJY「バブルカスだけだ」

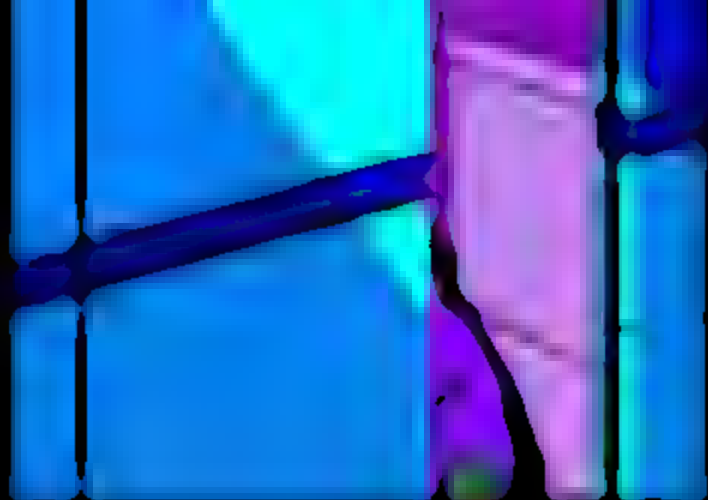
COMMAND

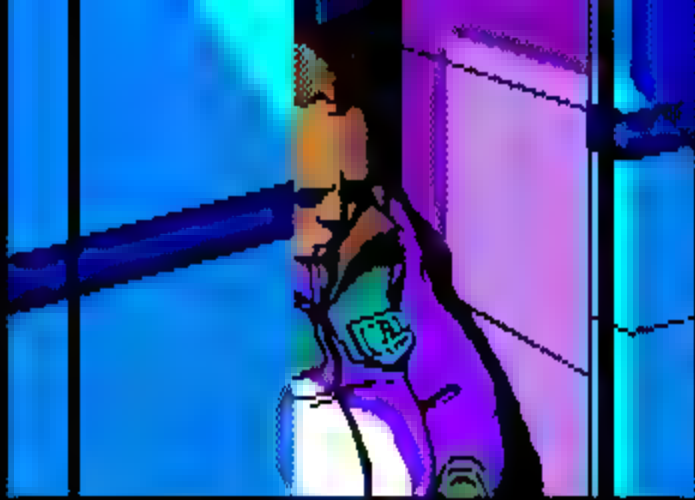


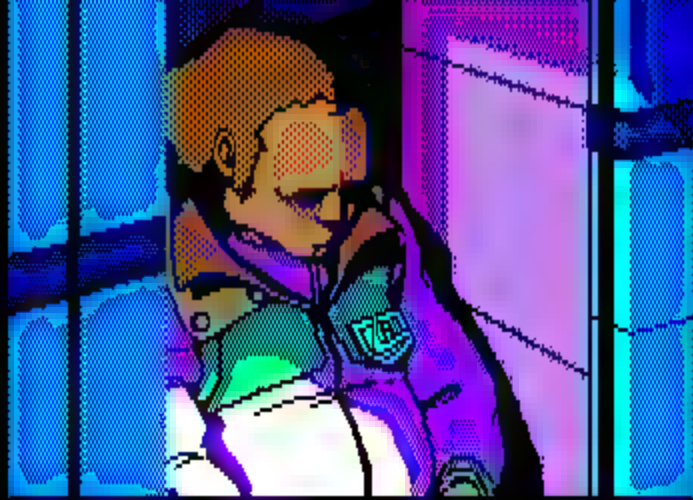
速雄「ロッカーが開き始めたぞ。ウワ——」













FOJY「どうした」

雄「バ、バ、ババカスだ」



達 達 「早くは見えくぬい。死体は苦手なんだ」
POJY「しっかしもしもよ龍河騎士の名がにくぜ。死体を買
なびや」



達 達 「見たところ傷はない……いや、首の後に小さな刺
し傷があるぞ」

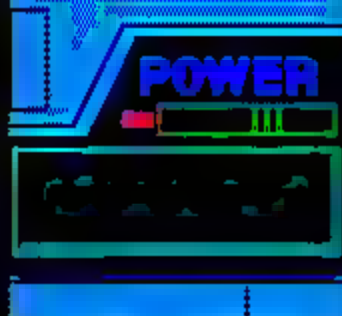
FOJY「これが致命傷とはおもえない。不思議な死に方だ」



FOJY「ここは動力室だよ」

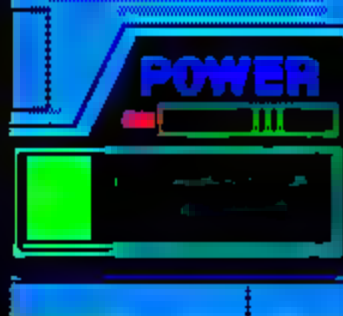
1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMMAND



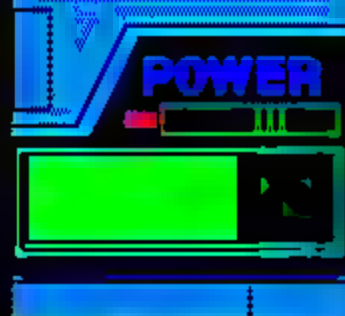
迷子 「FC」Y、充電するぞ」

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする



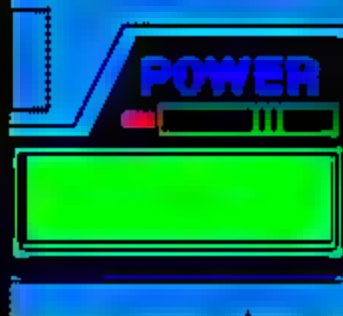
1. 他の題へ移動
2. この題で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

迷子 「FC」Y、充電するぞ」



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

迷子 「FC」Y、充電するぞ」



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

注 義 「FOJY、充電するぞ」
FOJY「OK、満タンだぞ」

COMMAND :



FOJY「ここは4階だ」

COMMAND

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする
9. SAVE



ポリメラーゼ連鎖反応

COMMAND

- 1. 他の方へ移動
- 2. 座る
- 3. 立つ
- 4. 歩く
- 5. 走る
- 6. 取る
- 7. 捨てる
- 8. 開く
- 9. 閉める



1. 100-100-100-100

COMMAND

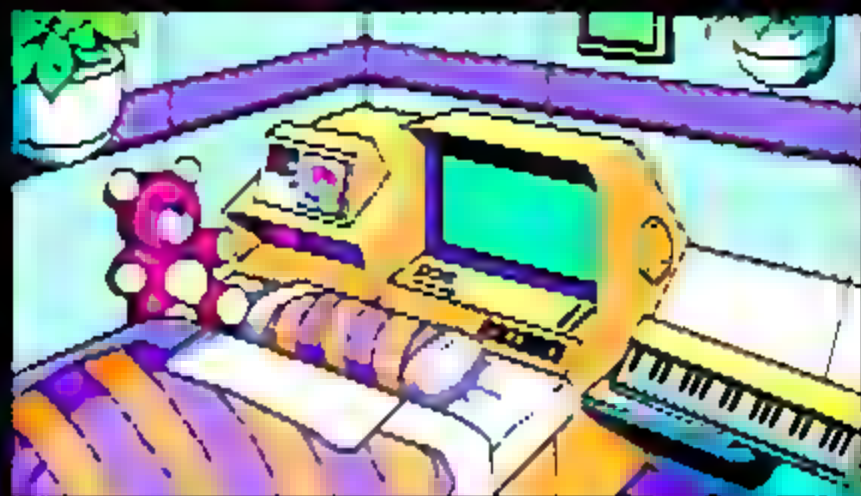




1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

注 意 「さすがにエリーヌの部屋はかわいいなー」
 FOJY「フン、たんなる少女部屋じゃ無いか」

COMMAND



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

FOJY「いくも忘人の部屋だからっていつまでも見ているな
よ」

COMMAND



「これはぼくが誕生日にエリーヌにあげたものだ」

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMMAND



1. 他の貼へ移動
2. この貼で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

FOJY「それもきみからのプレゼントかい」

蜜 菜 「そうだよ」

FOJY「アア、熱い熱い」

COMMAND



1. レーザープリンター
2. 端末

※ ※ 「これはエリーヌとJESUSで聞いた曲だ」

COMMAND



速 達 「エリーヌ……」

FOJY「ここにはいないみたいだ」

速 達 「いったいどこへ行ってしまったんだ。まさか……」

FOJY「大丈夫だよ。そんなにしょげるなよ」

COMMAND

1. 他の方へ移動
2. この場で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

TIME OVER

FOJY「ここはバルカスの階段」

COMMAND

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 開く
5. 取る
6. 操作する
7. 置しかける
8. 何かをする



FOJY「ここは3階だ」

COMMAND

1. 他の階へ移動
 2. この階で移動
 3. あたりを見る
 4. 調べる
 5. 取る
 6. 操作する
 7. 話しかける
 8. 何かをする
9. ---SAVE



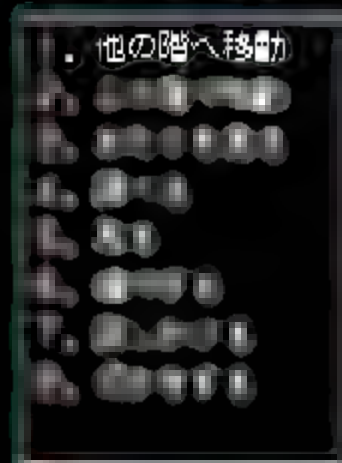
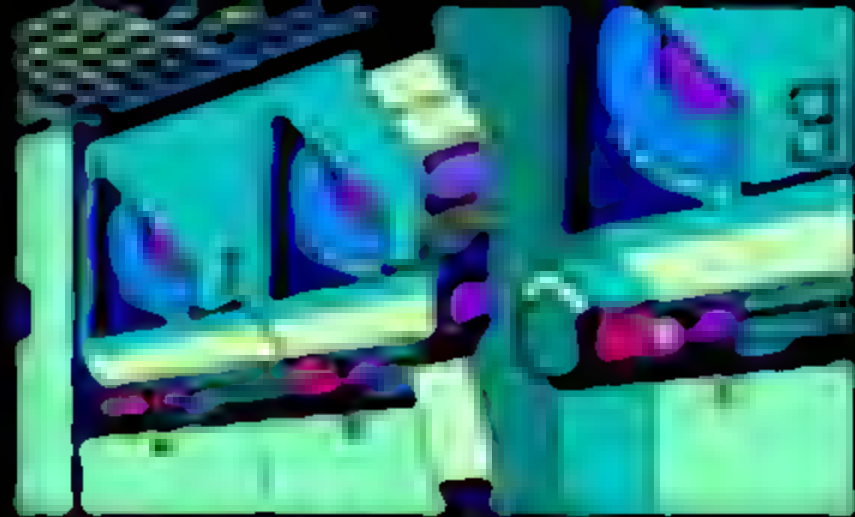
FOJY「ここはコンピュータ室だから責任者のカードがいるんだぜ」

1. 自分のカード
2. パルカスカード
3. ベリーニカード



速雄「ドアが開くぞ」

1. 自分のカード
2. パルカスカード
3. ベリーニカード



COMMAND



速雄 (アキラ) だれだ
FOJY「あれはペーニだ」



INSERT CARD

速 雄 「このスロットにカードを入れれば動くはずだ」

「今このメッセージを見ているきみはだれかな。どちらにしろ私は生きていないだろう。」
「昨日我々はハレーの尾のガスを採取した。バルカスはその一部をフラスコに入れ資料室で調査をしていた。私が今日資料室の記録レコーダーを調べていると、バルカスが小さな生物におそわれるところが写っていた。」



速雄「おっ、コンピューターが動き出したぞ」

やつはバルカスの首筋にとびついて変身した。コンピューターで調べてみたが、全く未知の生物ということだ。自由に形を変えられるらしい。今入口からゼリーのようなものが侵入してきた。やつだ。次第に何かの形をとってきている。一緒にいたエリ一ヌは先に逃がした。私はここにある武器で闘ってみるつもりだ。やつに気を付ける。





波 瀬 「何だこのエレベーターは3階で止まってしまうぞ」

FOJY 「2階が急降なので自動停止装置が働くんだ」

COMMAND

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする



注 意 「何だこのエレベーターは3階で止まってしまうぞ」
「FOJY」私のセンサーでは、2階に有毒ガスが充満している
。6階にある換気バルブを開けなくてはならないぞ」

COMMAND

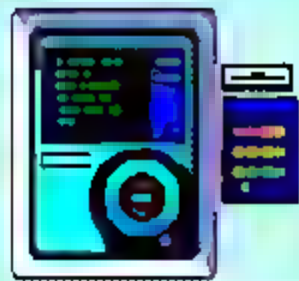
1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする



FOJY「ここは6階だ」

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMVLAND



1. 他の站へ移動
2. この站で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

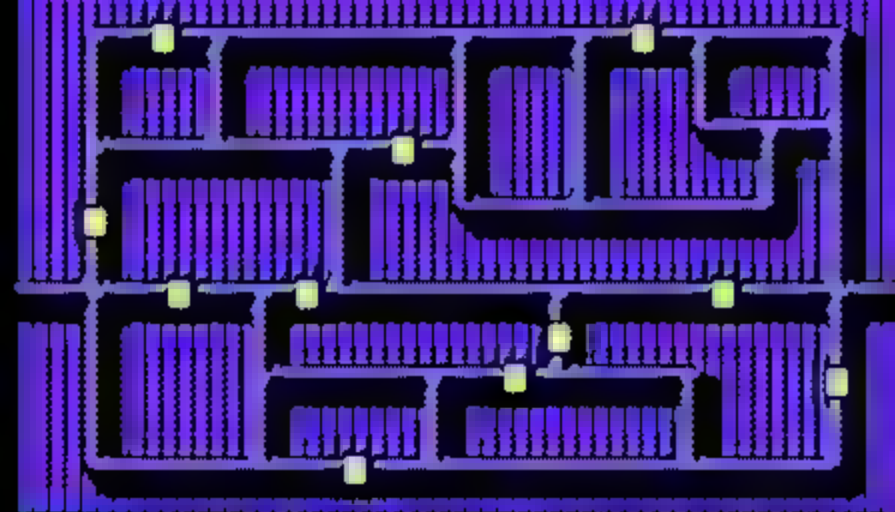
逆 逆 「FOJY、データ回収につなぐぞ」
 FOJY「OK、データを取りこんだ。何でも聞いてくれ」

COMMAND



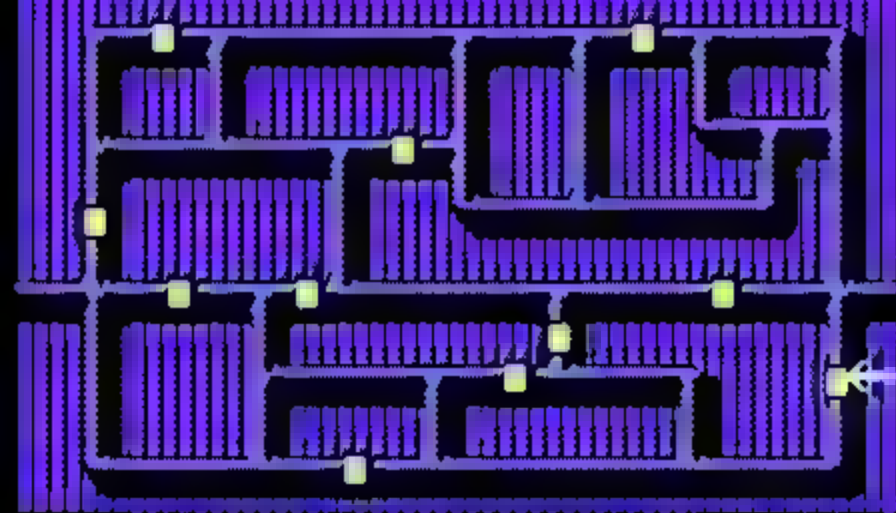
1. 操作パネル
2. データ端末
3. バルブ操作盤

COMMAND

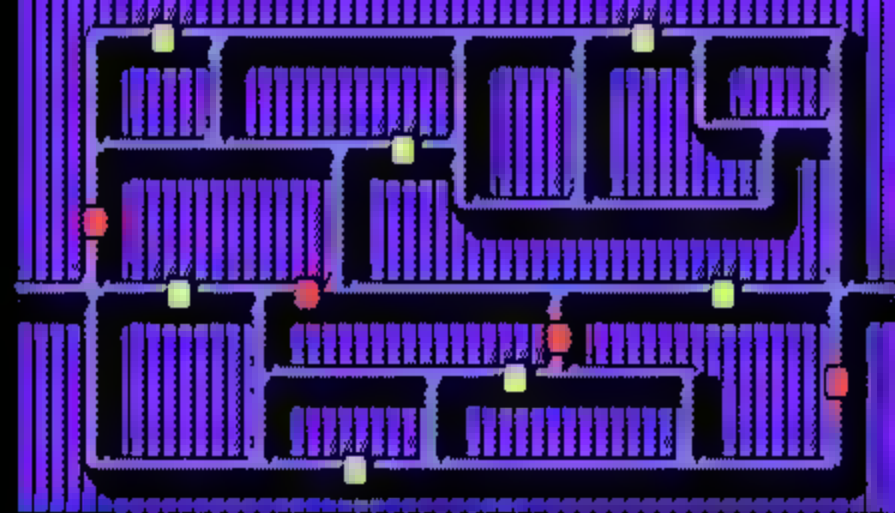


FOJY「2階へのガスはこの配管の左から右へ流れている。
バルブをしめれば止まるはずだ」

PUSH SPACE KEY

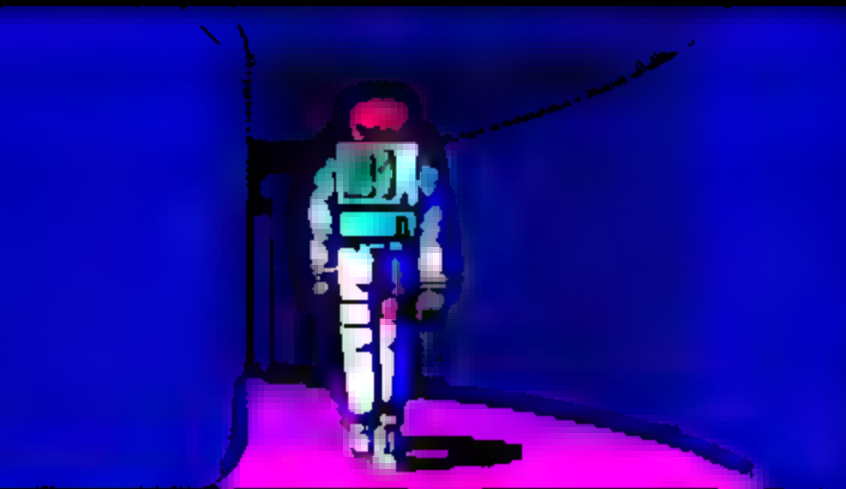


操作盤上のカーソルは2、4、6、8、のキーで移動できる。
バルブの位置で、5キーを押すとしまる。



迷 路 「よし、ガスは止まったぞ」

迷 路 「よし、ガスは止まったぞ」



FOJY「ここは2階だ」

COMMAND

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする
9. SAVE



FOJY「ここはキッチンだよ」

COMMAND

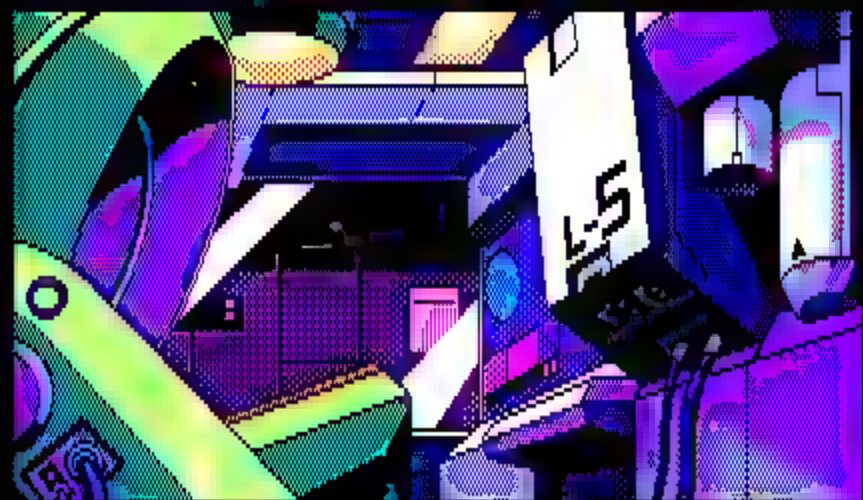
1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 置しかける
8. 何かをする



POJY「ここは跳台だよ」

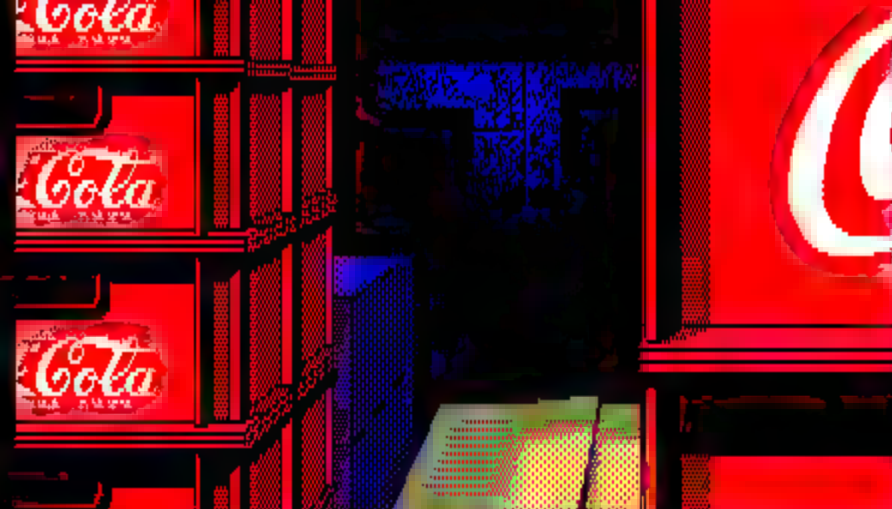
1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMMAND



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

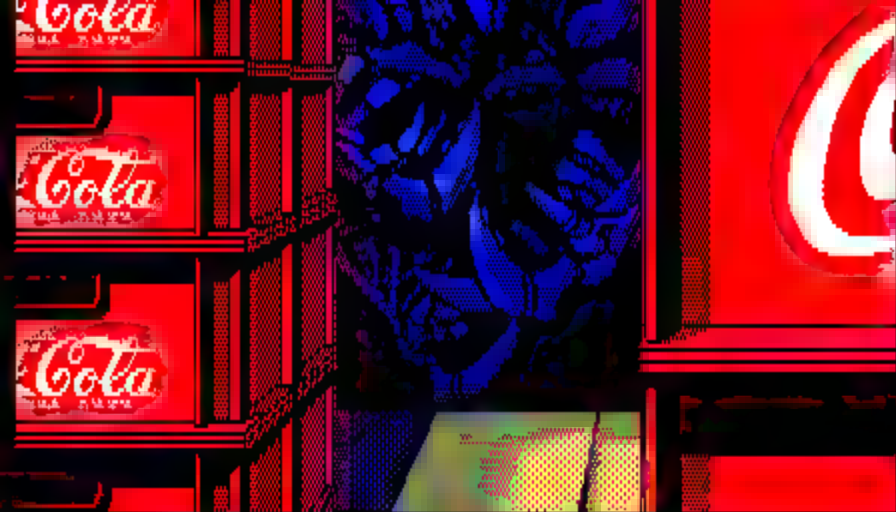
FOJY「ここは医務室だぜ」



1. 別の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

「移動」は「移動」キーで操作

COMMAND



速雄 「天井にも異常は……」

FOV 「何かいるぞ」

速雄 「降りてきた」



速雄 「天井にも異常は……」

FOXY 「何かいるぞ」

速雄 「降りてきた」



1. 話しかける
2. 調べる
3. 戦う
4. 逃げる

速 雄 「何だこれは……」
FOJY「こいつがバルカスやペリーニを殺したやつじゃ
ないか」

速 雄 「バルカスをおそったやつとは形がちがうみたい
だが……」

COMMAND



1. 話しかける
2. 調べる
3. 戦う
4. 逃げる

速 雄 「おまえは何者だ」
FOJY 「ことばは通じないみたいだ」

COMMAND



1. 話しかける
2. 調べる
3. 戦う
4. 逃げる

速 雄 「ビデオで見たのよりデカイなー。もっとよく調べて
みよう」

FOJY 「近づくとは険だぞ。狂暴そうだ」

COMMAND



1. ナイフ
2. ピストル

FOJY「何を使う？」

COMMAND



1. 話しかける
2. 調べる
3. 戦う
4. 逃げる

速 雄 「くそ、やつはまったく平気だ」
FOJY 「おそってくるぞ、早く逃げよう」

COMMAND



GAME OVER!

FOJY「おそって来たぞ」
速雄「ウワー~~~~~」

今、速雄はその16年の短い生涯を閉じた。
異生命体は生き残ったエリーヌを探すために消え
た。
まもなくハレーの星は地球を横切り……そして
地球は滅亡の時を迎えるだろう。



FOJY「ここは1階だ」

COMMAND

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする
9. SAVE



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. 敵を倒す
4. 開く
5. 取る
6. 捨てる
7. 隠れる
8. 倒す

COMMAND



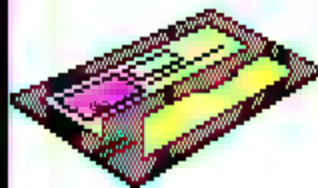
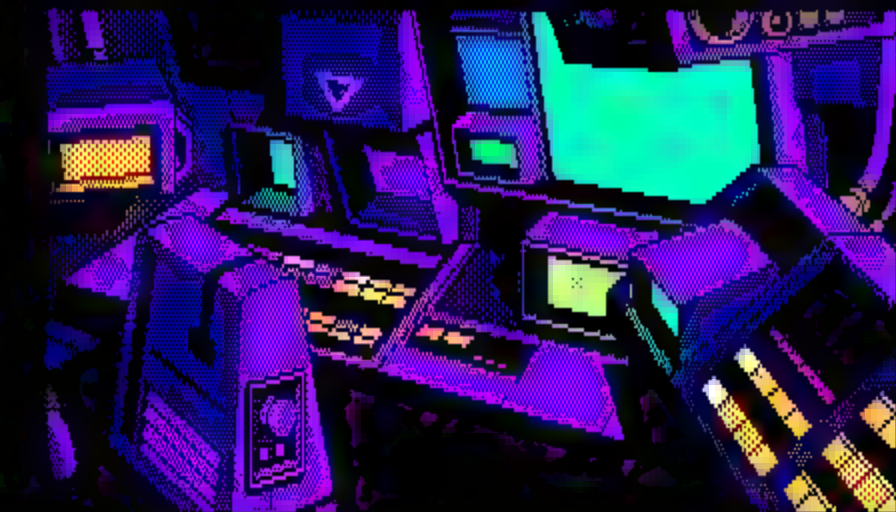
FOX「ここはコックピットだぜ」

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMMAND



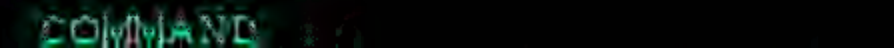
POY (POLYESTER)



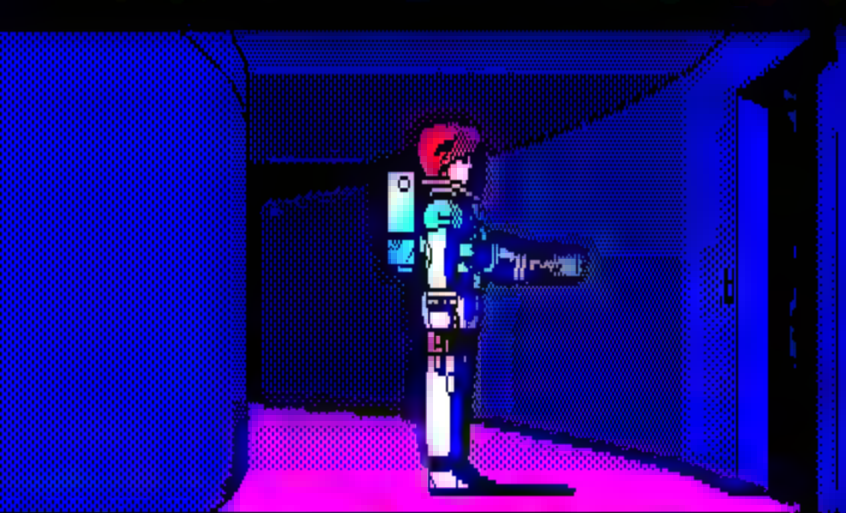
速雄 「ハイラーのカードだ。これで重要な部屋にも入れる
ぞ。」

1. 別の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMMAND



1. 別の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする



速雄「ドアが開くぞ」

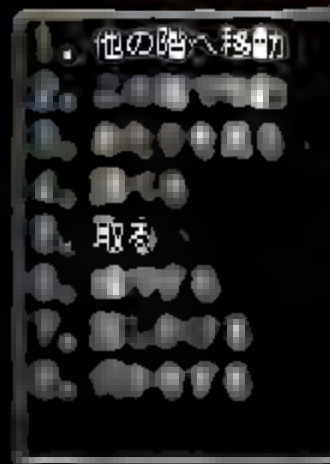
1. 自分のカード
2. パルカスカード
3. **ハイラーカード**
4. ベリーニカード



他の階へ移動

この階で移動

取る





1 1 (24790A)CAJ
 POLY(10-20-40-4)
 1 1 P-629-20 80EAL—
 POLY(10-15-15, 20-10-10-10-4)



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. 階段を降りて移動
4. 階段を降りて移動
5. 取る
6. 階段を上って移動
7. 階段を上って移動
8. 階段を上って移動



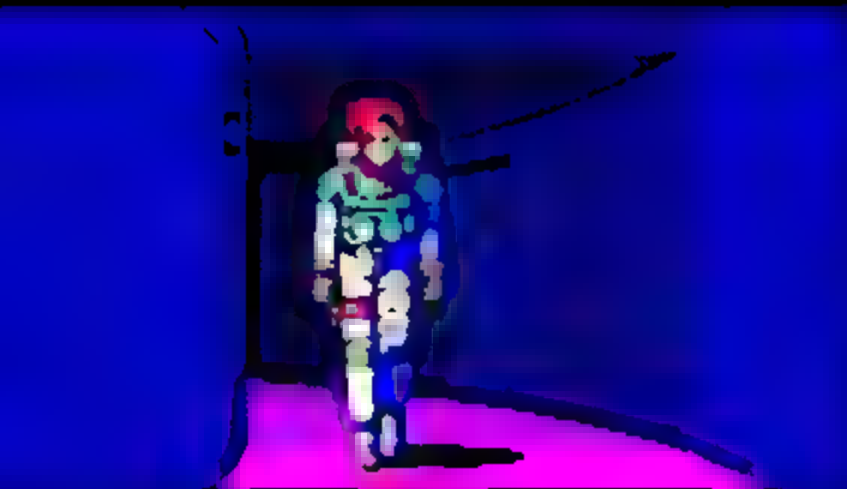
「発信機は？」



1. 別の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

FOJY「ここは実験室だよ」

COMMAND



1. 壁
2. ドア
3. スイッチ

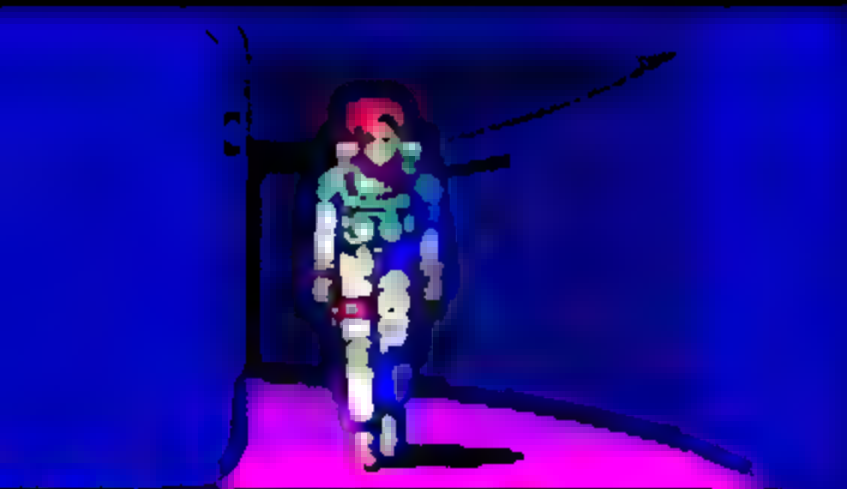
COMMAND



FOJY「これは生体センサー用のスイッチだ」

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする
9. ~~……~~SAVE

COMMAND



連 続 「壁にスイッチがあるぞ」
FOJY「OFFになっている」

COMMAND

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする
9. SAVE



速報 「よし、スイッチをONにしたぞ」

COMMAND

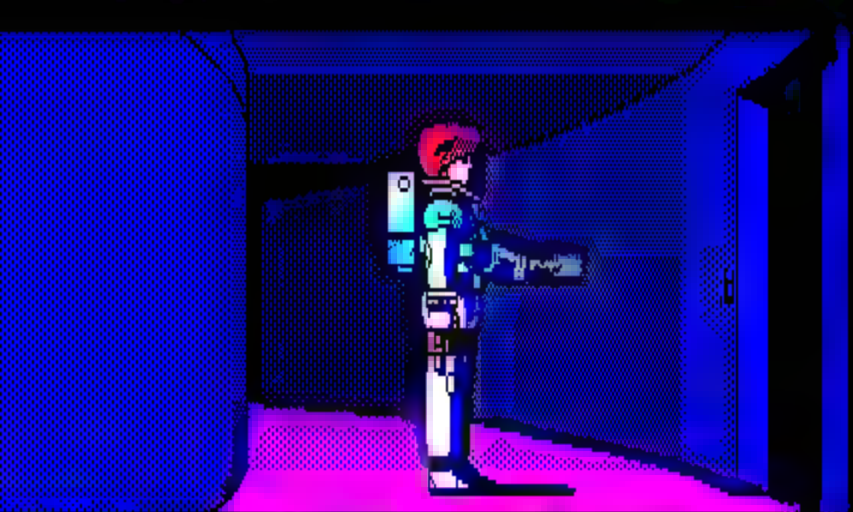
1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする
9. SAVE



FOJY「ここは4階だ」

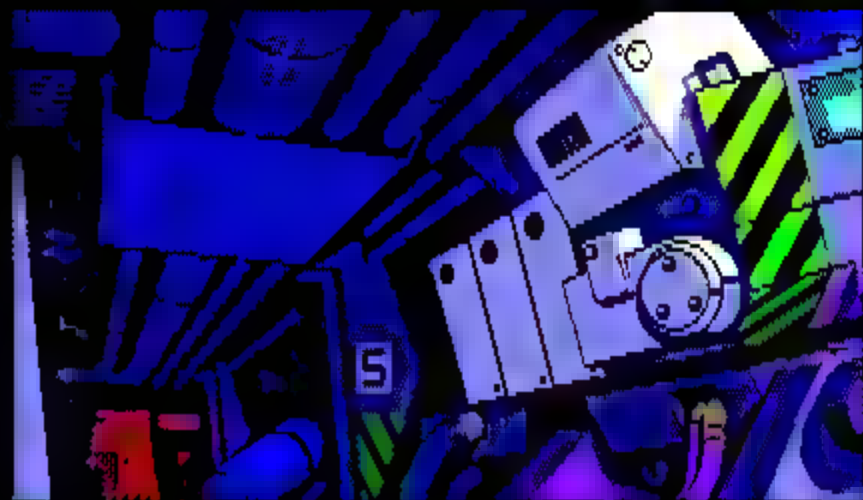
COMMAND

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする
9. SAVE



速雄「ドアが開くぞ」

1. 自分のカード
2. バルカスカード
3. ~~マイラーカード~~
4. ベリーニカード



FOJY「ここは武器室だよ」

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMMAND

【附】

9 8 7 6 5 4 3 2 1

Polymerization



2. レーザー銃



1. レーザー銃の構成

2. レーザー銃の原理

3. レーザー銃の応用

4. レーザー銃の安全

5. レーザー銃の将来

學
子
之
聲

學子之聲

學子之聲

學子之聲

學子之聲

寺田屋

レーザー銃

學問之要
在於博學
而後能
通之

1	學問之要
2	在於博學
3	而後能
4	通之
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	



- 1. 100%
- 2. 100%
- 3. 100%
- 4. 100%
- 5. 100%

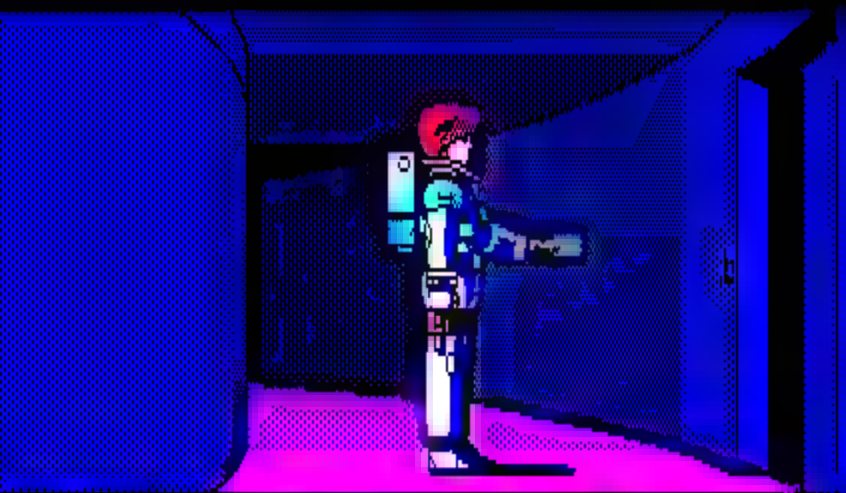
COMMAND



FOJY「ここは3階だ」

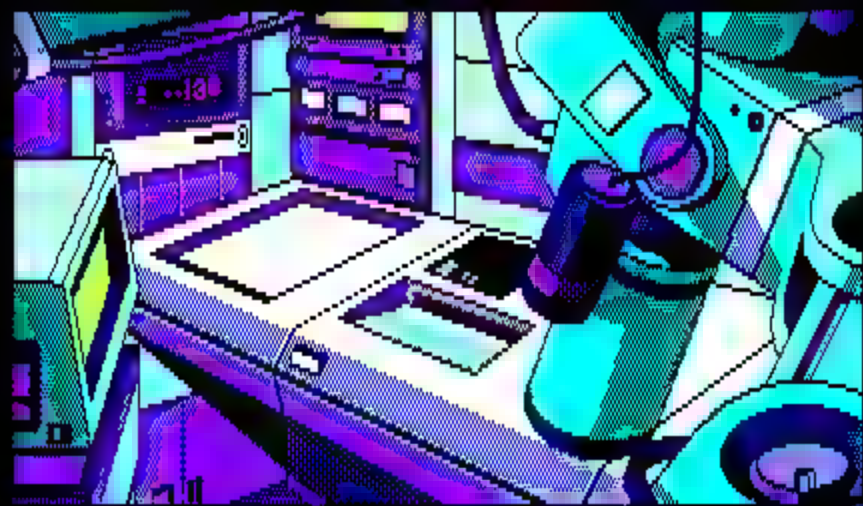
COMMAND

1. 他の階へ移動
 2. この階で移動
 3. あたりを見る
 4. 調べる
 5. 取る
 6. 操作する
 7. 話しかける
 8. 何かをする
9. ---SAVE



速雄「ドアが開くぞ」

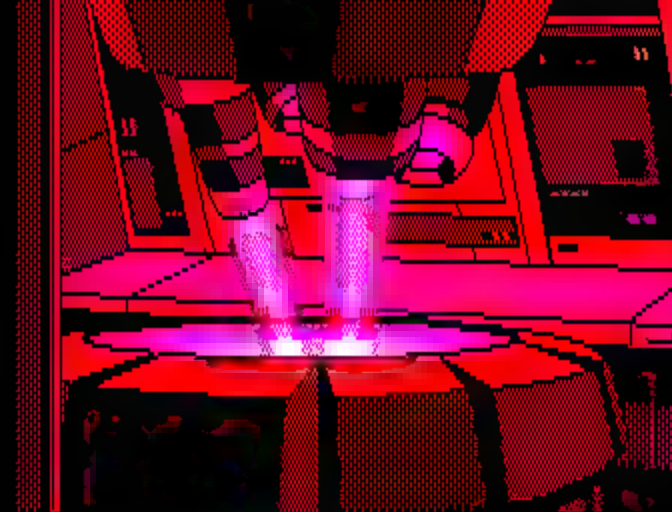
1. 自分のカード
2. パルカスカード
3. ハイラーカード
4. ベリーニカード



FOJY「ここは分析室だよ」

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

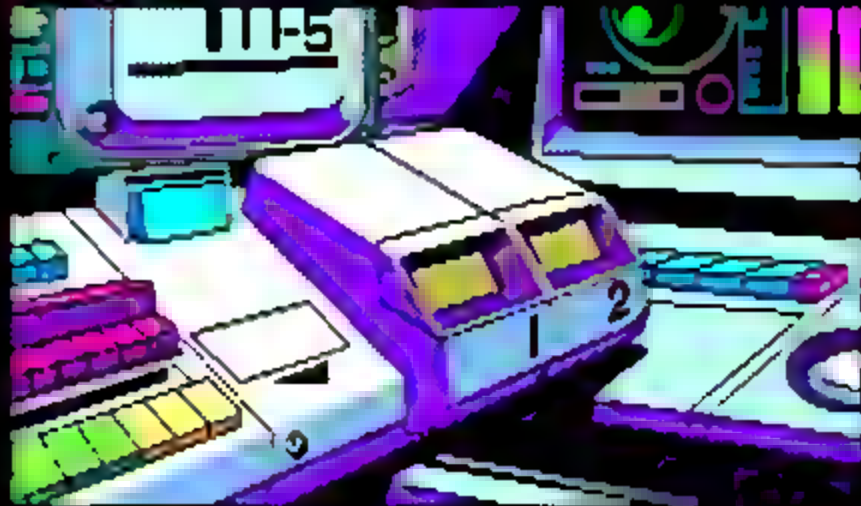
COMMAND



FOJY「ここは研究室だよ」

1. 別の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMMAND



達 達 「ディスプレイのそばにあるボックスはなんだ」
FOJY「それはクーラーボックスだよ」



道 道 「よし、クーラーボシットを取っておこう」
F.O.J.Y 「それは腰の所につけられるタイプだ」



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

FOJY「ここは器材室だよ」

COMMAND



速雄「だれかいるかい」

1. 他へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする



エリーヌ「その声は……速達ね」

速 達 「通信がとだえたので、救助に来たんだ。何が起こったの」

エリーヌ「未知の生物がおそっ



エリーヌ「その声は……速達ね」

速 達 「通信がとだえたので、救助に来たんだ。何が起こったの」

エリーヌ「未知の生物がおそって来たの。私とベリーニがコンピュータ室



エリーヌ「その声は……速達ね」

速達「通信がとだえたので、救助に来たんだ。何が起こったの」

エリーヌ「未知の生物がおそって来たの。私とベリーニがコンピュータ室にいるとき、ドアのすきまからゼリー状になって現われたわ。彼は私を速達そうとして、殺されてし



速 達 「通信がとれたので、救助に来たんだ。何が起こったの」

エリーヌ 「未知の生物がおそって来たの。私とベリーニがコンピュータ室にいるとき、ドアのすきまからゼリー状になって現われたわ。彼は私を遠がそうとして、載されてしまったわ。私こわくて必死にここまで逃げきて、気を失っていたの」







速 達 「ぼくもさっき食料庫で出会ったよ。運よく逃げられたけど、きみの言
うのとは番がちがうなー」

ド○JY「やつは体を自由自在に広えることができるみたいだ。それに人を
おそうたびに進化しているみたいだ」

正○一「こわいわ」



うのとは音がちがうなー」

「F.O.J.Y「やつは体を自由自在に宣えることができるみたいだ。それに人を
おそうたびに進化しているみたいだ」

エリー「又「こわいわ」

速達「大丈夫。ぼくがついているからもう安心だよ」



「この部屋で何かあるか、と聞いてみた。すると、

「この部屋で何かあるか、と聞いてみた。すると、

「この部屋で何かあるか、と聞いてみた。すると、

「この部屋で何かあるか、と聞いてみた。すると、

1. 他へ移動

2. 他へ移動

3. 他へ移動

4. 他へ移動

5. 他へ移動

6. 他へ移動

7. 他へ移動

8. 他へ移動

9. 他へ移動

10. 他へ移動

FOUY「たふね」

COMMAND



1. 器材室の中
2. エリ＝ヌの顔
3. FOJY
4. 床

COMMAND



緑 緑 「ふんふんふんふんふん」
 赤 赤 「ふんふんふんふんふん、ふんふんふんふんふん」
 思うわ」

COMMAND

- 1. 他階へ移動
- 2. この階で移動
- 3. 移動する
- 4. 移動する
- 5. 移動する
- 6. 移動する



- 1. 他の階へ移動
- 2. この階で移動
- 3. 移動する部屋
- 4. 移動する部屋
- 5. 移動する部屋

1. 移動する部屋 (移動する部屋)

2. 移動する部屋 (移動する部屋)

3. 移動する部屋 (移動する部屋)

4. 移動する部屋 (移動する部屋)

5. 移動する部屋 (移動する部屋)

COMMAND



3929 12-07-2015-10-1017

FOJY「レディファーストだぜ」

COMMAND

他の階へ移動

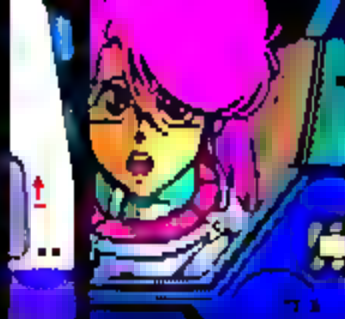
1. 2000

1000

100



速 達 「さあ、エリーヌ早く乗って」
エリーヌ「あとからすぐきてね」
速 達 「うん」
F.O.J.Y「【シリウス】準備OK、エンジン点火」



速 達 「さあ、エリーヌ早く乗って」
エリーヌ「あとからすぐきてね」
速 達 「うん」
FOJY「【シリウス】準備OK、エンジン点火」



速 達 「さあ、エリーヌ早く乗って」

エリーヌ 「あとからすぐきてね」

速 達 「うん」

FOJY 【【シリウス】準備OK、エンジン点火】



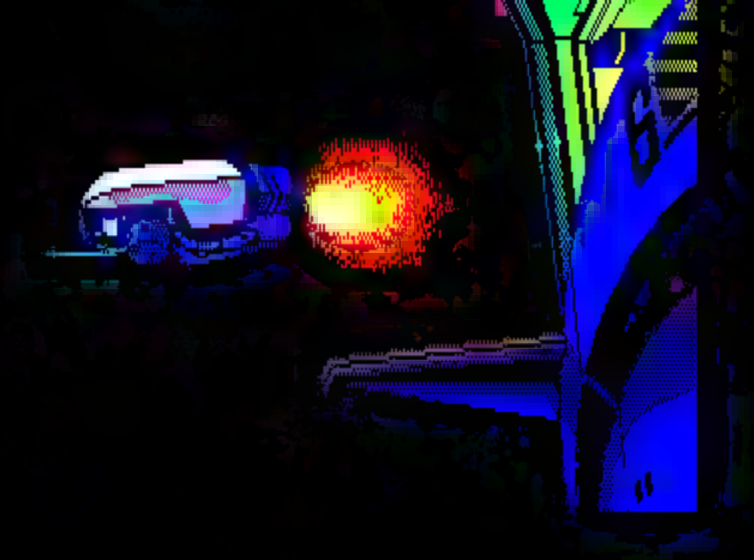
速 達 「さあ、エリーヌ早く乗って」
エリーヌ 「あとからすぐきてね」
速 達 「うん」
FOJY 「【シリウス】準備OK、エンジン点火」

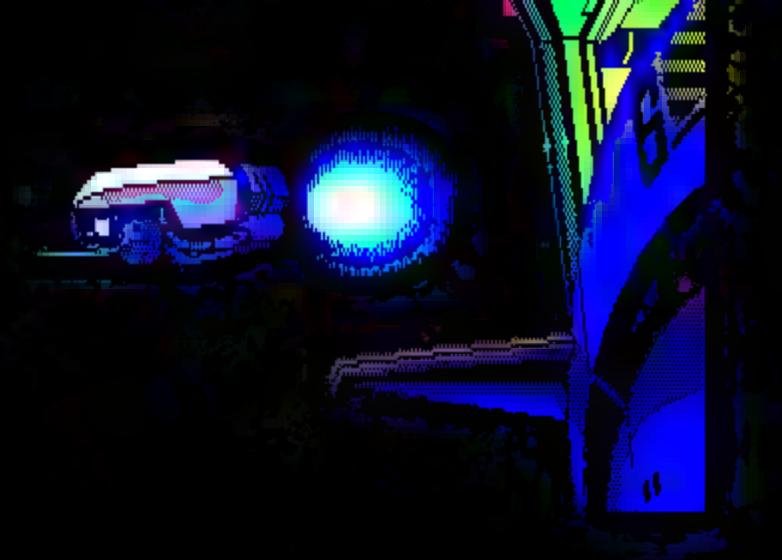


速 達 「さあ、エリーヌ早く乗って」
エリーヌ 「あとからすぐきてね」
速 達 「うん」
FOJY 「【シリウス】準備OK、エンジン点火」

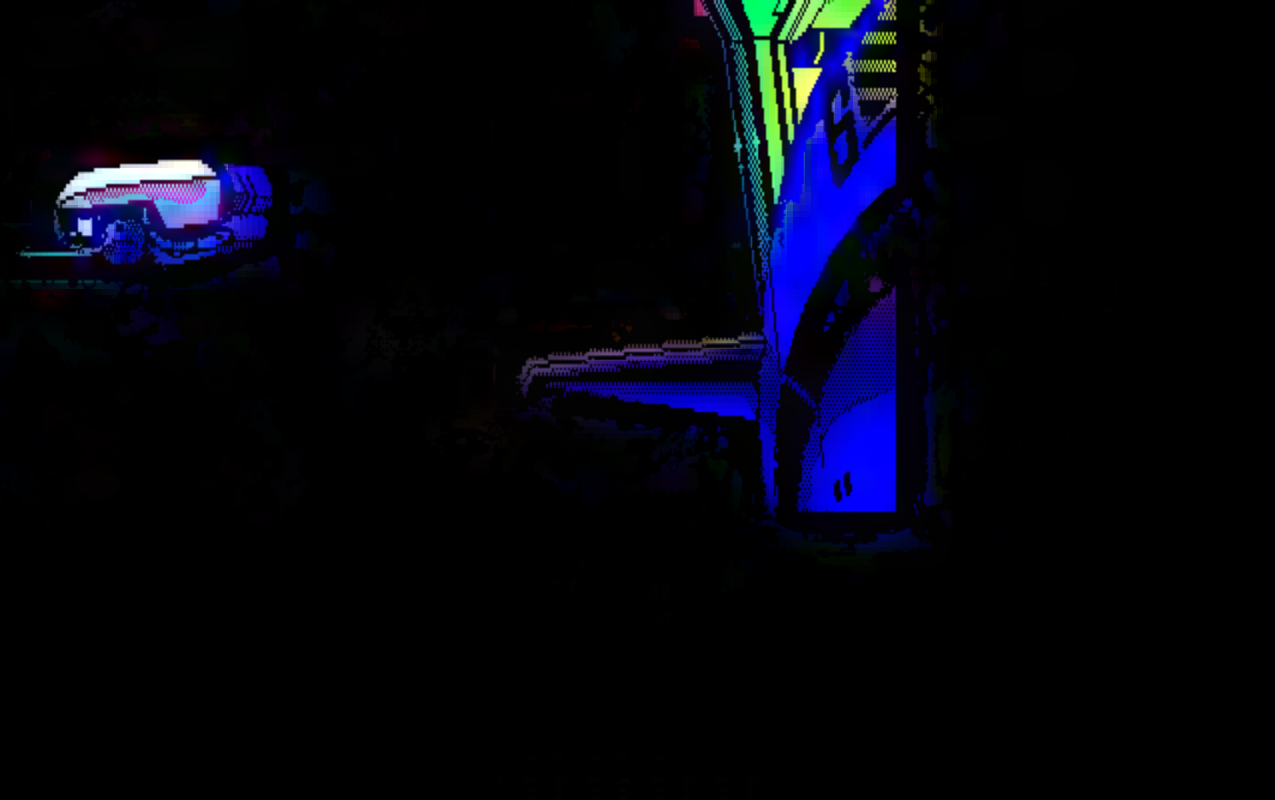


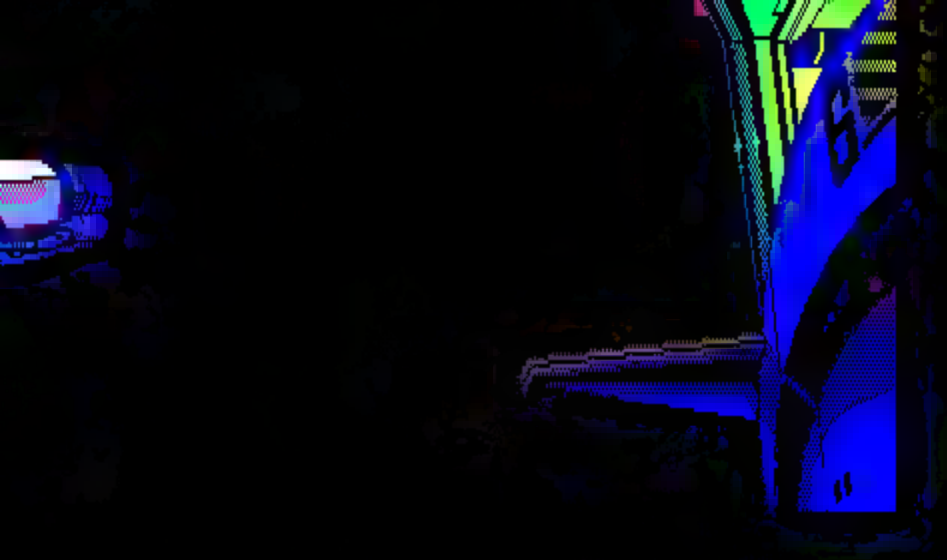


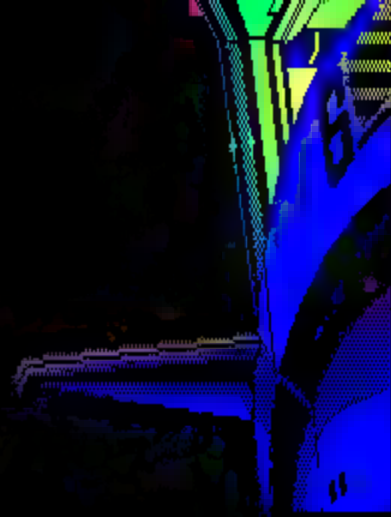














速 読 「エリーヌが最後に何か言っていたんだな。おまえにはわかったか」

ド○JY「口の動きからみると、『レ……も持ってきて』と言っていたけど、……の部分かわからない」

速 読 「レのつくものって何があったっけ」



FOJY「レーザー銃、冷蔵庫、レーザーロン、レーザー
プリンタ、レコード、レンジ、冷蔵庫、レモン……
いろいろあるぞ」

速 達「その中のどれを持ってきてとittaのかな」

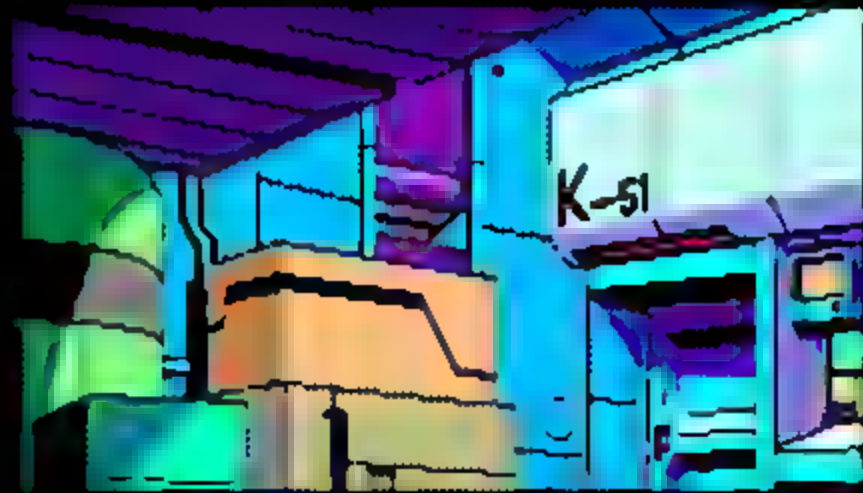
FOJY「まあ案内をもうひとまわりしてみようぜ」



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

FOJY「まあ機内をもうひとまわりしてみようぜ」
FOJY「生体活動センサーに反応だ」
流 龍「モンスターが動きはじめたのか」
FOJY「きっとそうだ。やつはいま5階の倉庫にいる」
流 龍「たしか、あの倉庫は切り離しができるぞ」

COMMAND



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

FOJY「生体センサーの反応では、やつはまだこの部屋にいますぞ」

波 留 「かくれているんだろうか。それにしても、うんと狭いすきましかない。空気や水じゃあるまいし……」

FOJY「いや、地球生物の常識で考えないほうがいい」

COMMAND



「レンズやカメラは重くて持つのは大変だ。エリーは
のいっていただくとはちがうようだ」

1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. おたまりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 捨てる
7. 置きかえる
8. 何かをする



1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 調べる
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

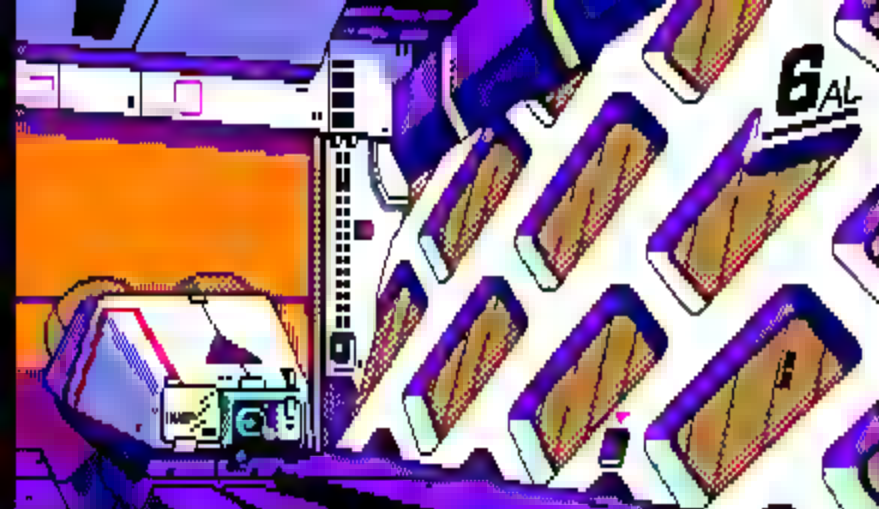
FOJY「きみはエリーヌの下着がほしいのかい」

COMMAND



1. 人形
2. 週末
3. 衣類
4. レーザーロン
5. はちうえ

迷 迷 「エリーヌが『持ってきて』といったのは、これじゃ
ないか。ぼくのプレゼントだし……」
FOJY「そうかもしれない、一応持っていってら」



FOJY「ここは6階だ」

速 達 「やつはまだ倉庫にいるみたいだ」

FOJY「早く切り離したほうがいいぜ」

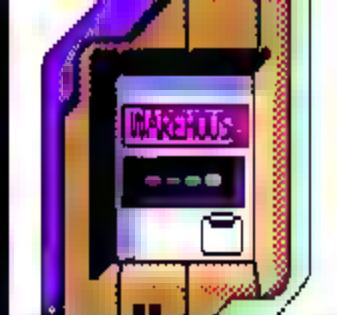
1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 決める
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

COMMAND



1. 赤ボタン
2. 青ボタン
3. 緑ボタン
4. 白ボタン

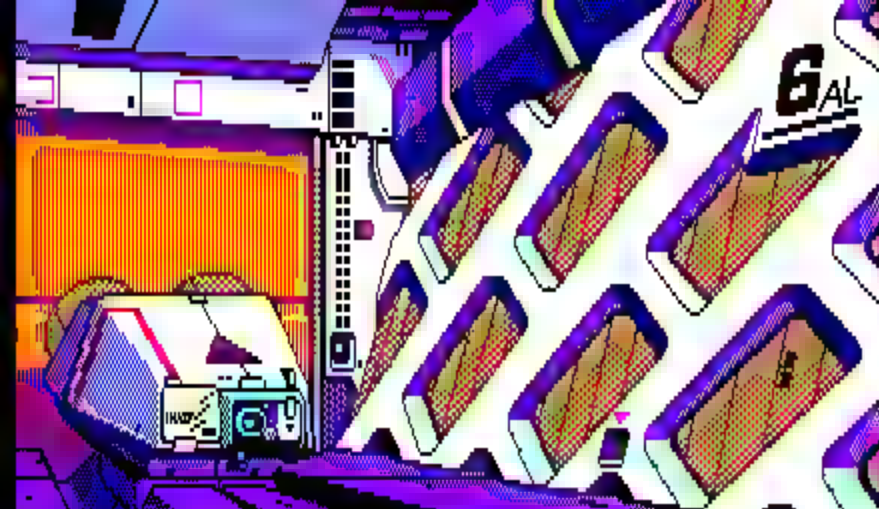
FOJY「雄雄OKだ。4つのボタンのどれを押したらいいか、私にもわからない。どれを押す？」



1. 赤ボタン
2. 青ボタン
3. 緑ボタン
4. 白ボタン

FOJY「切り離し装置は動かないぞ。次はどれにする」

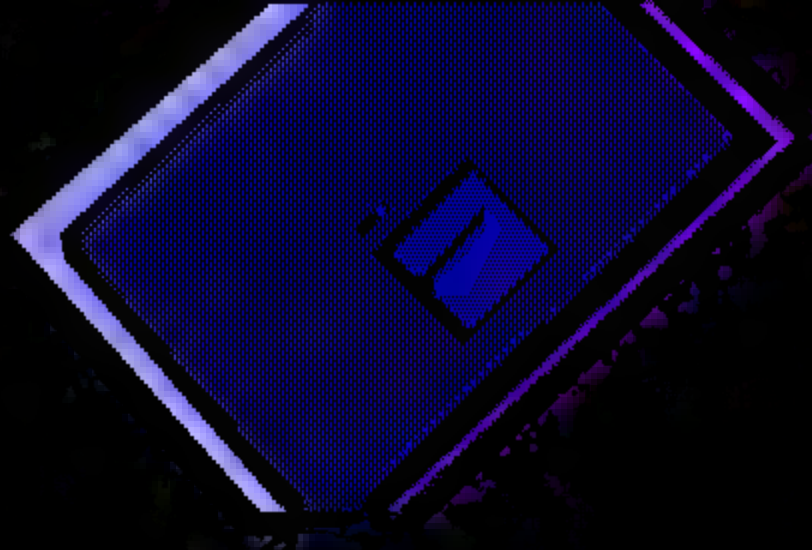
COMMAND 1



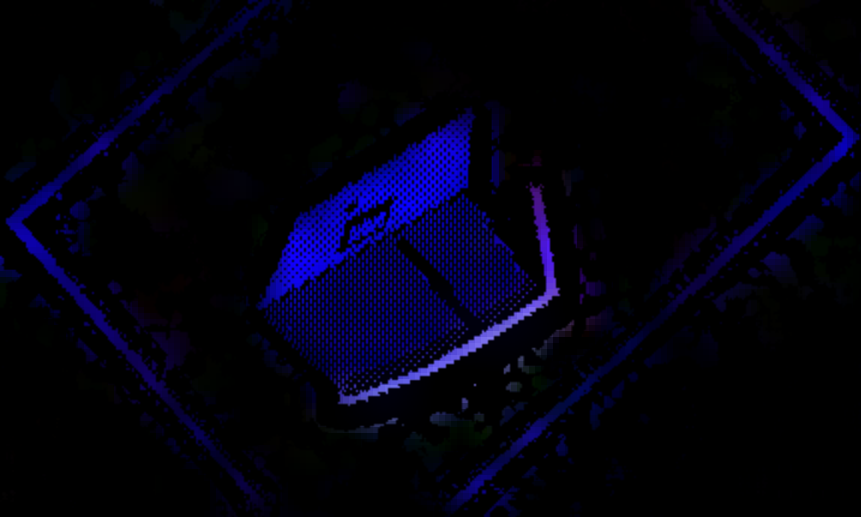
1. 赤ボタン
2. 青ボタン
3. 緑ボタン
4. 白ボタン

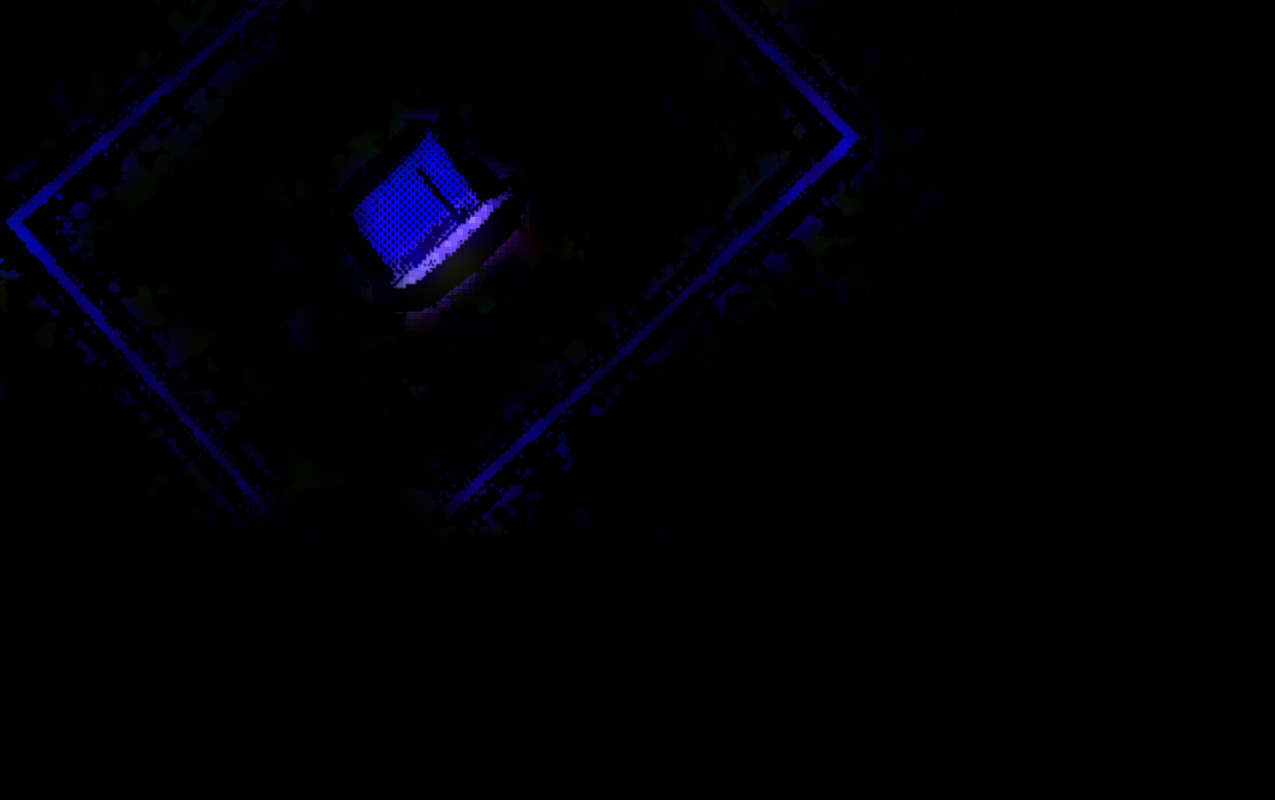
「お階で機械音がしはじめたぜ」

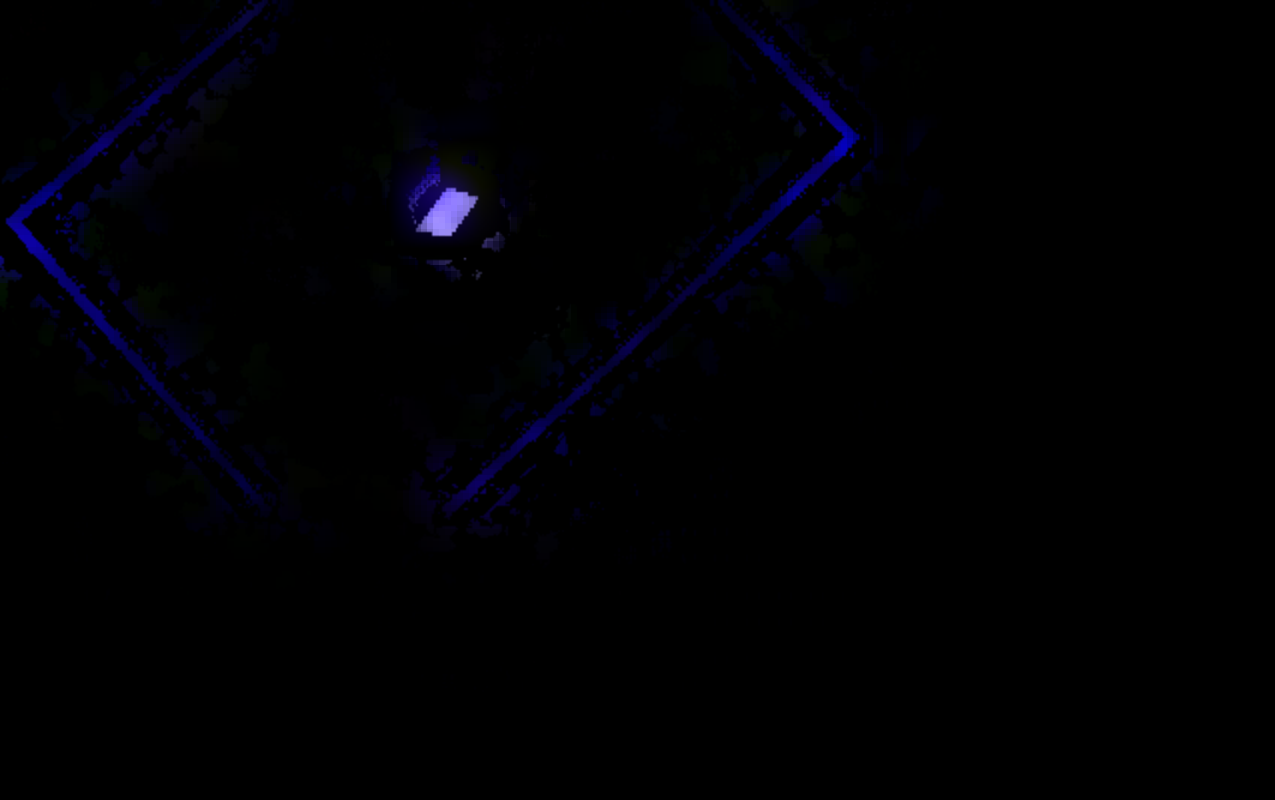
COMMAND













FOJY「やったね。切り離し成功だ」

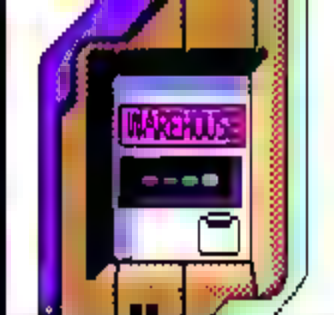
速 雄「もうモンスターの心配はないぞ」



1. 発進する
2. 機内を調べる

速 達 「さて、【いなづま】発進の用意をしよう」
 F.O.J.Y 「ちょっとまって。きみの持っている武器はモンスター
 には効果ないぜ」

速 達 「モンスターはいないかもどうでもいいが、やは

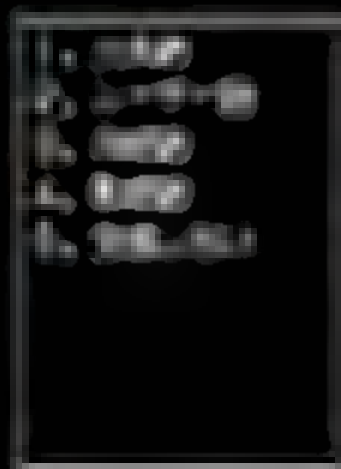


1. 他の階へ移動
2. この階で移動
3. あたりを見る
4. 押える
5. 取る
6. 操作する
7. 話しかける
8. 何かをする

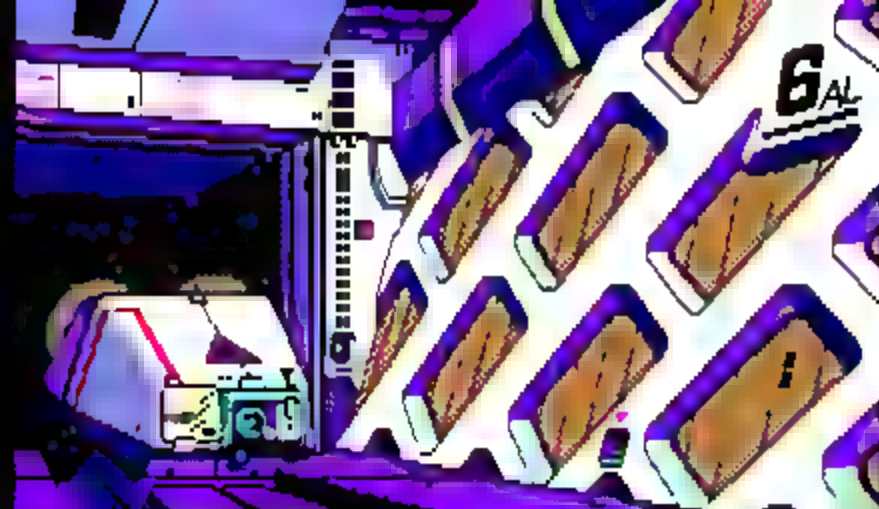
FOJY「ちょっとまで。まみの持っている武器はモンスターには効果ないぜ」

速 蔵「モンスターはいないからどうでもいいが、やはり冷保銃を持っていったほうがいいかな。やれやれまた上へもどらなくちゃ」

COMMAND 1



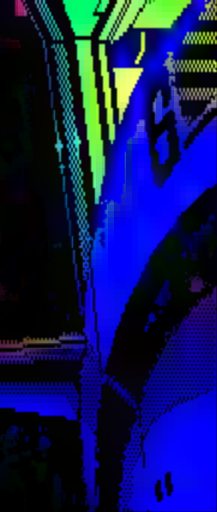
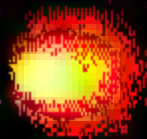
COMMAND/

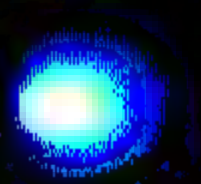


速 達 「はやく2号機へもどろう」
FOJY「【いなづま】準備OKだ」

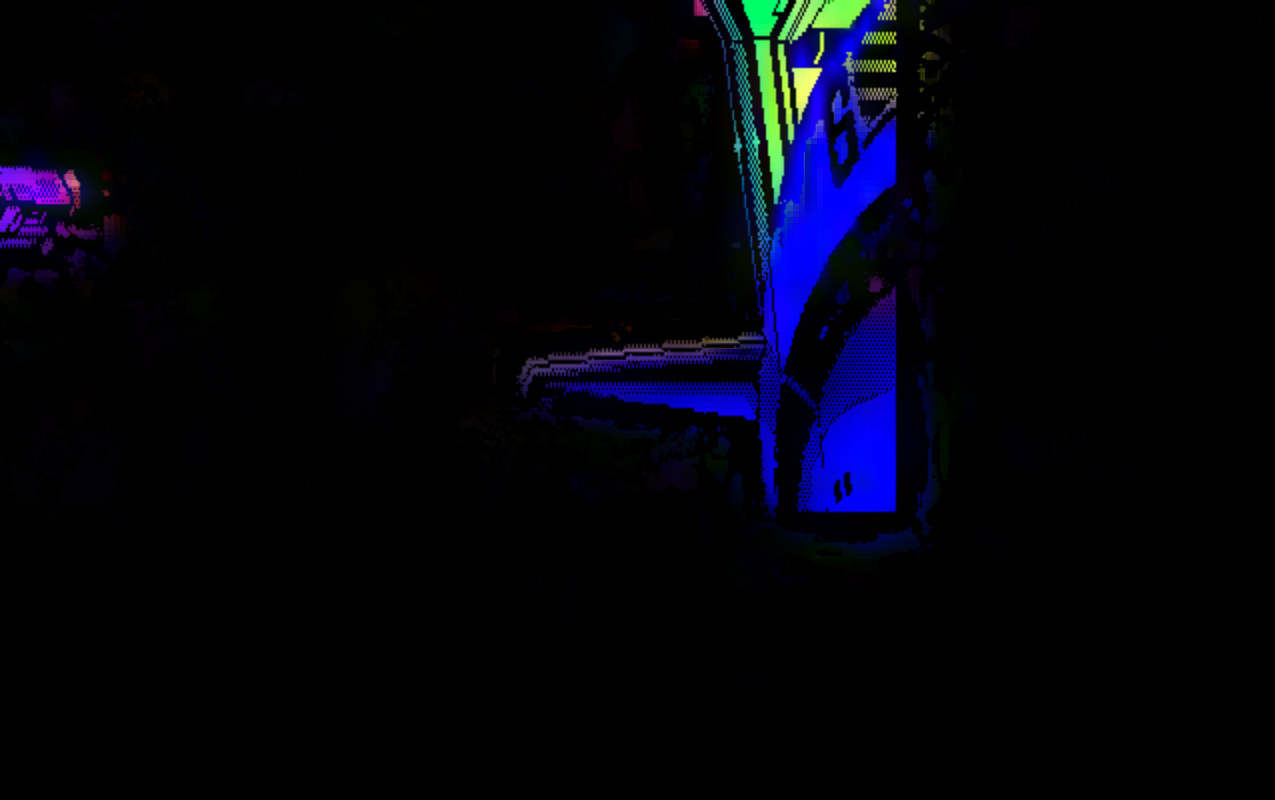
速 達 「よし、発進だ」














ドライブ2に、No. 6のディスクを入れてください。

PUSH SPACE KEY



きるとエリーヌは、2号機【コロナ】に無事乗込した。

【コロナ】は、1号機【コメット】とちがひ、平面的双胴構造である。また、飛行期間が短いので、【コメット】より小さく部屋の構成も簡単だ。ライト・レフト客サイドに3室ずつ、レフトサイド中央がミーティングルームである。食堂・会議室など多目的に使われる。

PUSH SPACE KEY



POLY

PUSH SPACE KEY



ミサツ「道中の代わりにはお食事が用意してある。センサーもつかまえておいて貰ってごめんなさう」

カーズ「そりゃそうです。道中のチャンスだから、自分の命より客の命が優先です」

ミサツ「カーズさんがおもしろくもなく、やばいんですけどいいから」

PUSH SPACE KEY

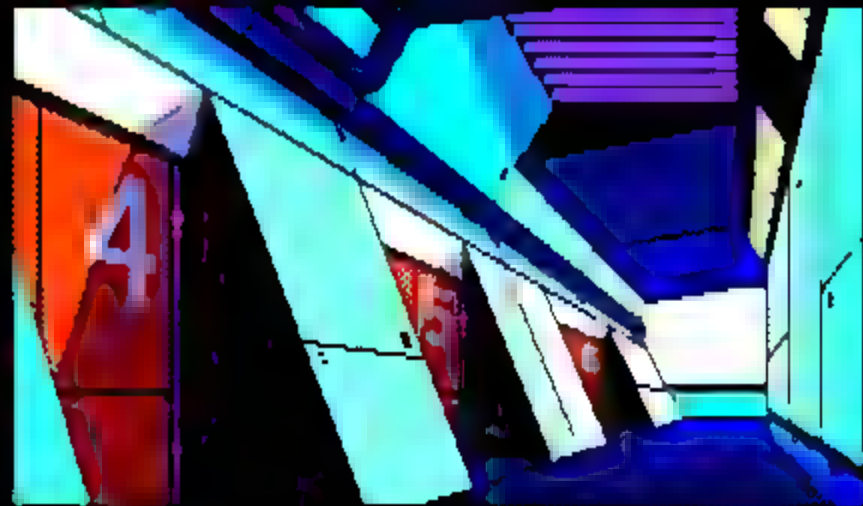


エリーヌ「あの音は？」

速雄「非常ベルだ」

エリーヌ「ああ、そうなの？」

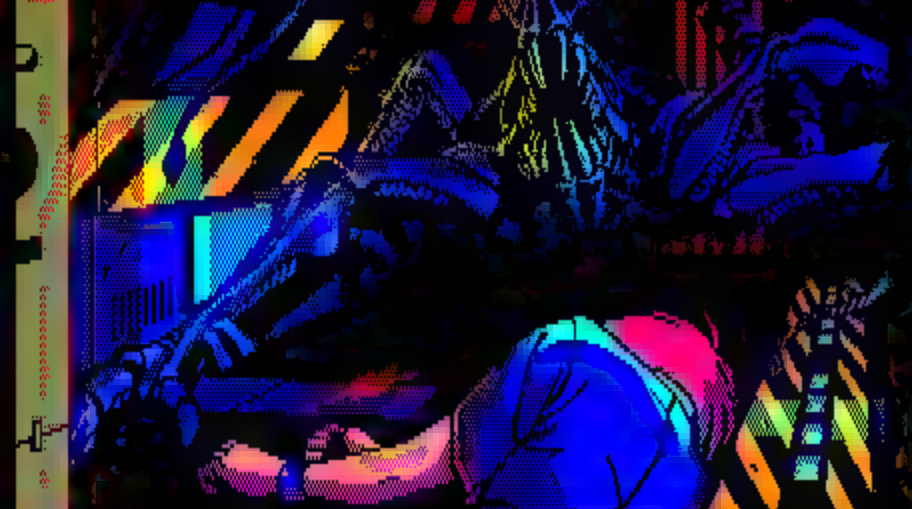
PUSH SPACE KEY



主 従 「芳花さんはどこにいるんでしょう」
スラコフ「わからんから探しているんじゃないか」

1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他
- 8---SAVE

COMMAND

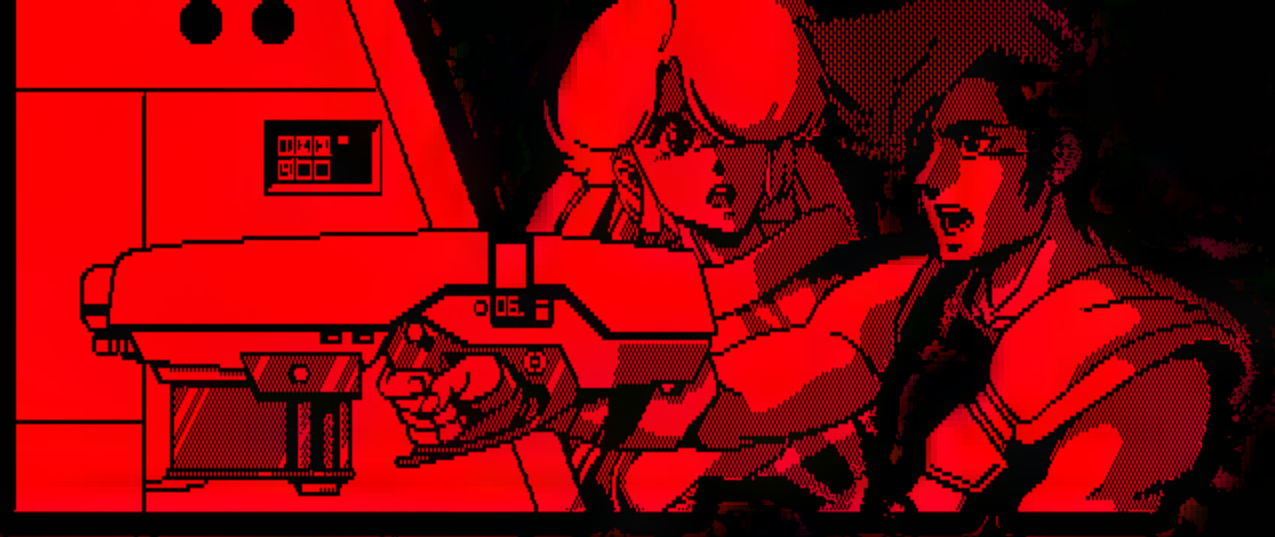


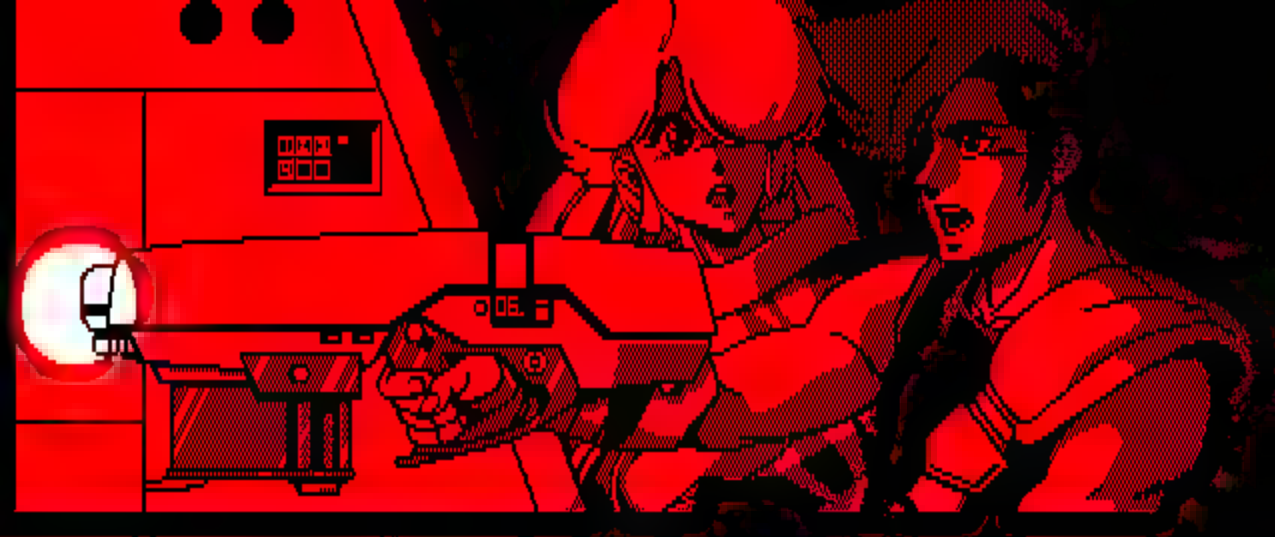
速雄 「やつだ、なんてこった。宇宙の果てに放り出したはずなのに……」

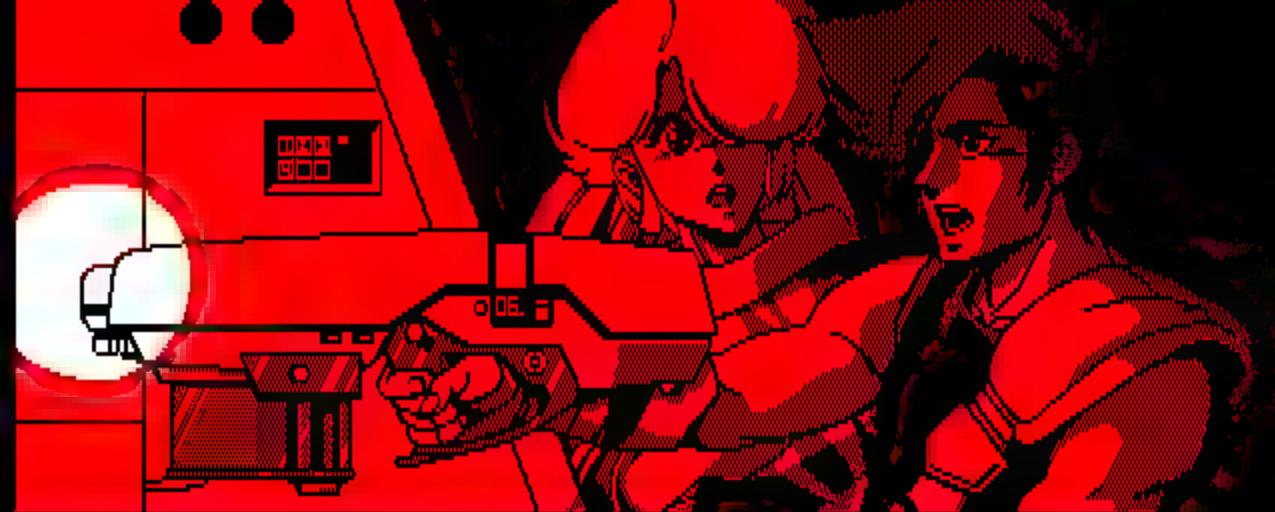
ミラコフ 「どにかく撃てっ」

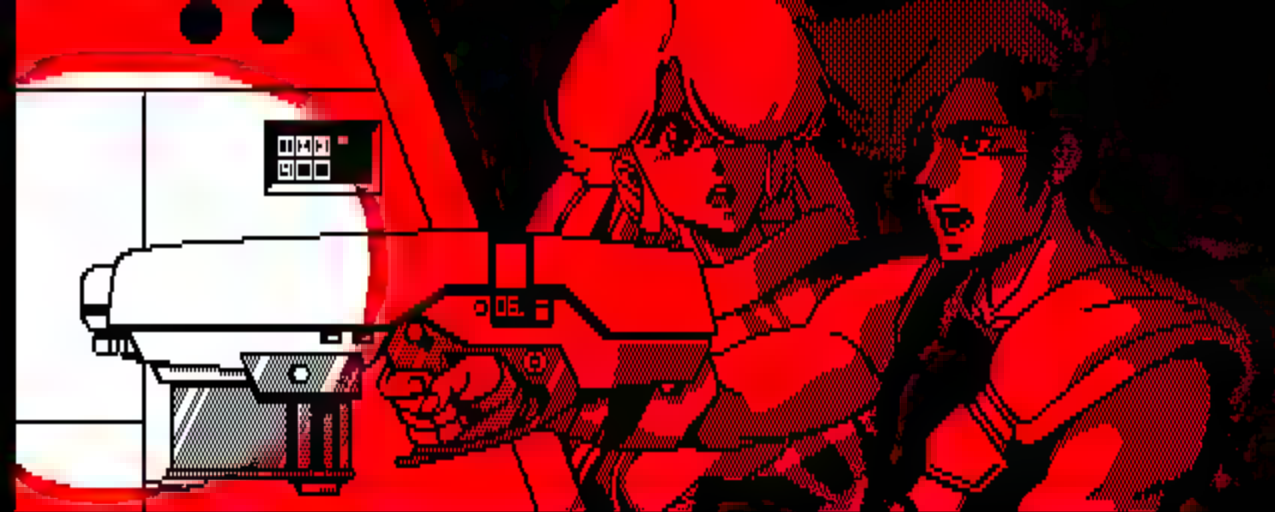
速雄 「モンスターめ、冷線銃をくらえー」

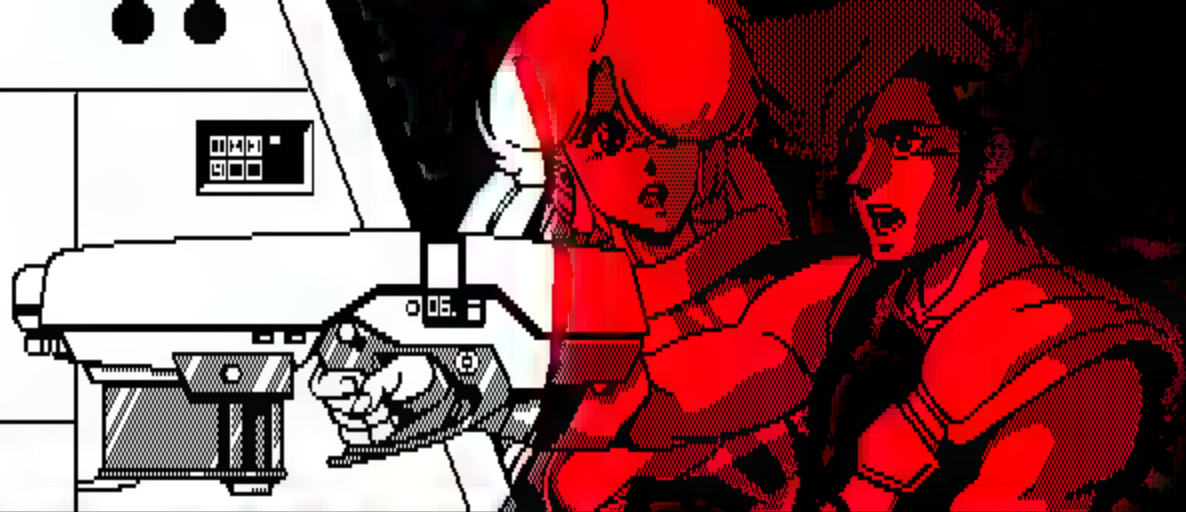
PUSH SPACE KEY

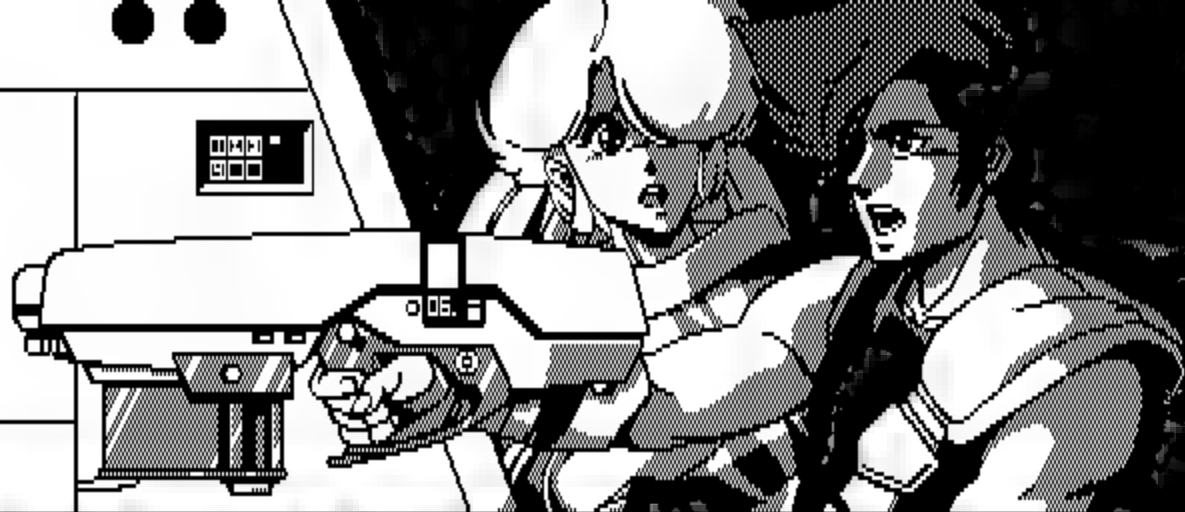


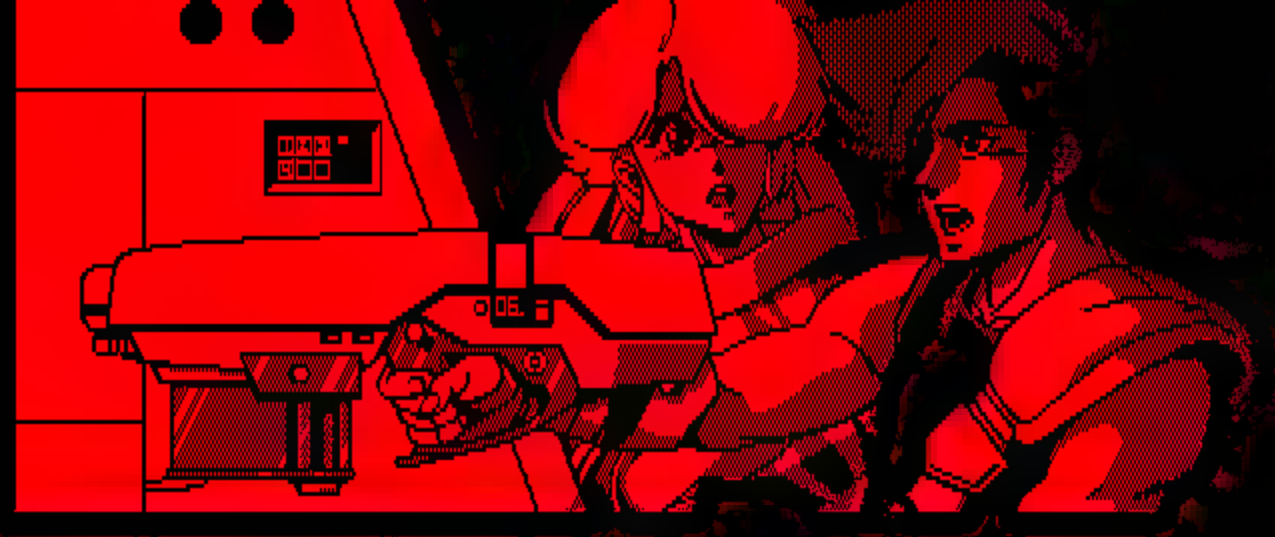


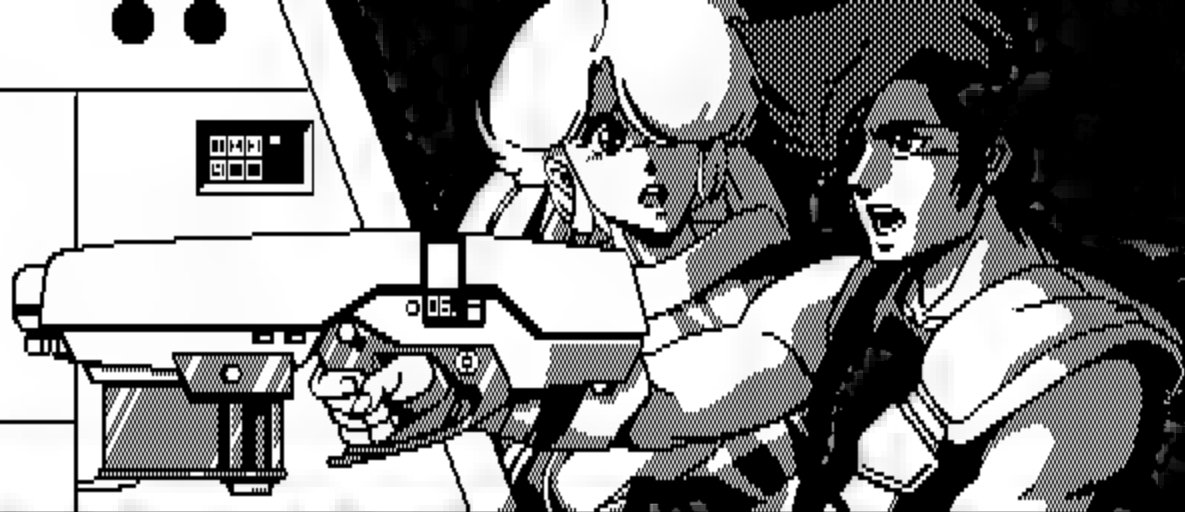


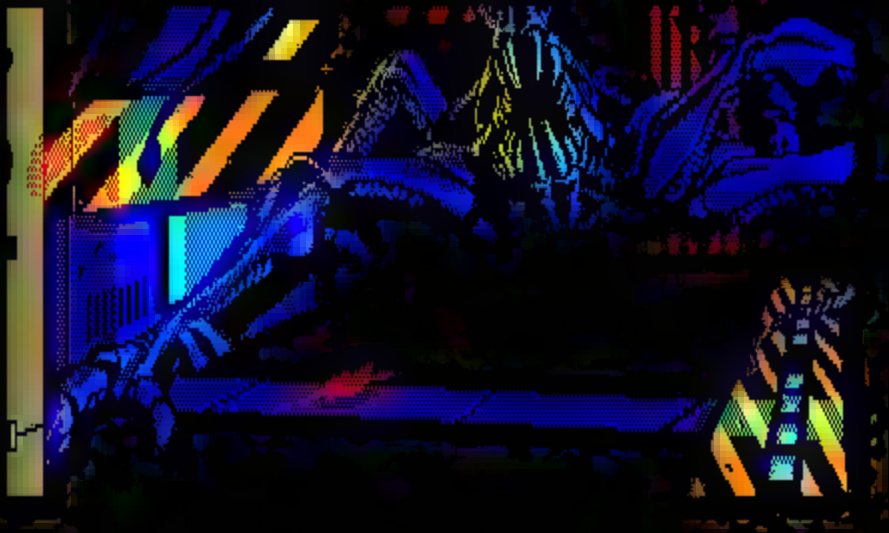














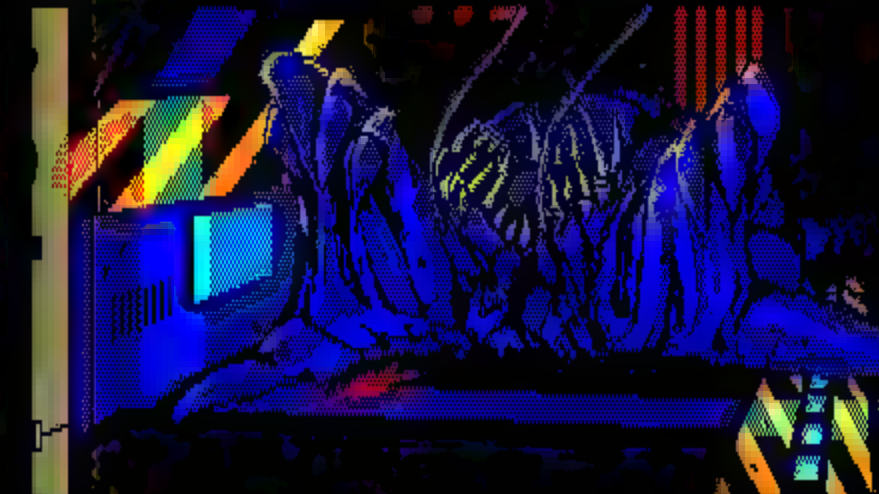
ミラコバ「ひとまず、やつをこの部屋にとじこめよう。速雄
もいったん退却せよ」

速 雄「わかりました……でも、どうやって退却しよう
か？」



ビラコフ「ひとまず、やつをこの部屋にとじこめよう。速雄
もいったん退却せよ」

速 雄「わかりました……でも、どうやって退却しよう
か？」

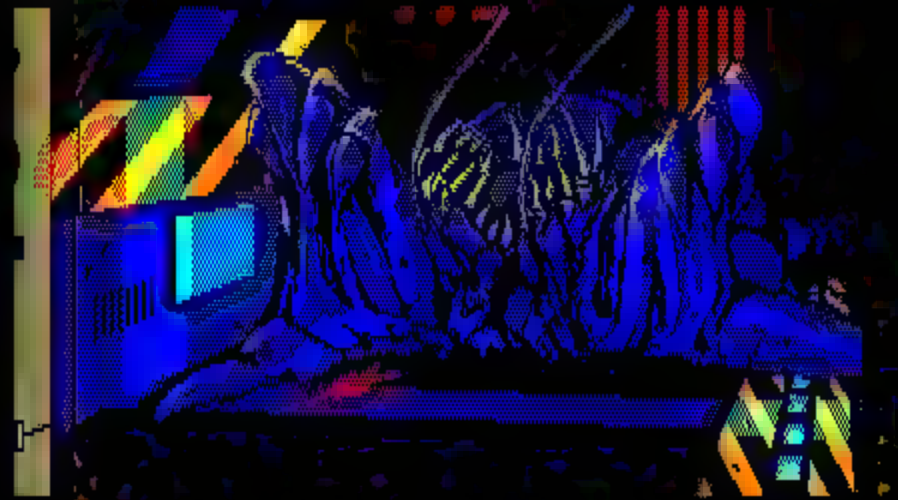


1. エリースと共に
2. 美花を抱いて
3. ひとりで先に



ビラコフ「ひとまず、やつをこの部屋にとじこめよう。速雄
もいったん退却せよ」
速雄「わかりました……でも、どうやって退却しよう
か？」

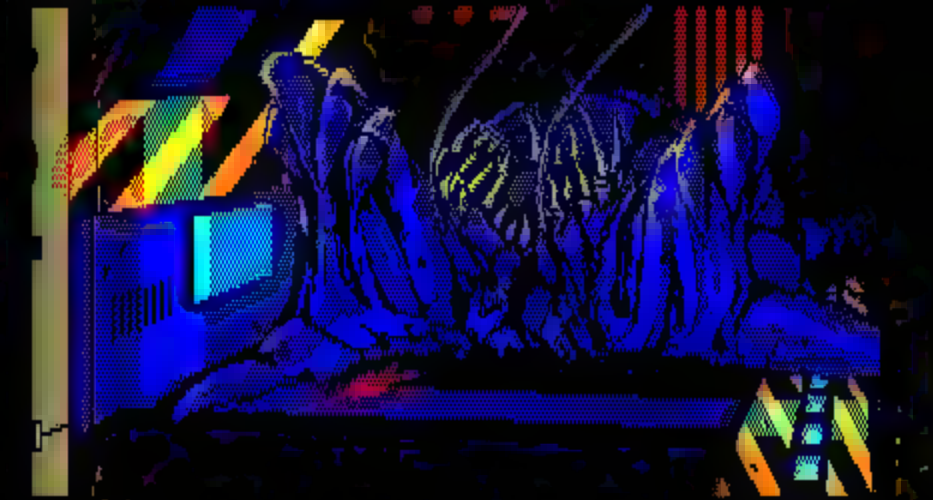
COMMAND



1. エリーヌと共に
2. 芳花を抱いて
3. ひとりで先に

エリーヌ「こんなときまで私といっしょにいたいのがうれしいけど、芳花さんがまだ生きてるかもしれないわ」

COMMAND



カーゾン「銀河戦士候補生ともあろうものが、その態度はなんだ。芳花が活着ているかもしれないぞ」

1. エリースと共に
2. 芳花を抱いて
3. ひとりで先に

COMMAND



1. エリースと共に
2. 芳花を抱いて
3. ひとりで先に

速雄 「キャプテン、芳花さんはまだ呼吸してます。生きて
ます。」





ミラコフ「よし。みんな、とりあえずコックピットへ。私は、
倉庫をロックしてからいく」



エリーヌ「芳花さん、意識がもどったようよ」

朱芳花「あれは、きっと……【コメント】に現われたモンスターよ……ハリのよう
な器官があった……それが伸びてきて、私の後頭部につきささり……脳細胞
を喰い取ったの……そのとき分泌する一種の麻酔液が、人には強すぎて……
死んでしまう……バルカスたちの死因もそれで説明できるわ」

PUSH SPACE KEY



1. そっと手を握る
2. 手をにぎる
3. 顔を近づける

速雄 「まずい、顔色がますます悪くなっている」

COMMAND



1. そっと手を握る
2. 手をにぎる
3. 顔を近づける

安井花 「運命……」

COMMAND



1. そっと手を握る
2. 手をにぎる
3. 顔を近づける

永井正 「私を……忘れないで」

COMMAND [T]



1. そっと手を握る
2. 手をにぎる
3. 顔を近づける

速 雄 「がんばって」
朱芳花 「ありがとう……」

COMMAND



1. そっと手を握る
2. 手をにぎる
3. 顔を近づける



朱芳花 「あなたの手が……暖かいね」

COMMAND



1. そっと手を握る
2. 手をにぎる
3. 顔を近づける

速雄 「しっかりしてください」
朱美正 「エリーヌはmmmいいこよmmm大切にしない」

COMMAND



1. そっと手を握る
2. 手をにぎる
3. 顔を近づける

速 雄 「しっかりしてください」

安 正 「私は医者よ……分かるわ……もうだめ……」

COMMAND



1. そっと目を覚ます
2. 手をにぎる
3. 顔を近づける

遠 雄 「死なないで」

朱芳花 「きよなら……あなたにベッドマナーを教えてから死
にたかっ



1. そっと目を覚ます
2. 手をにぎる
3. 顔を近づける



遠藤 「死なないで」

朱芳花 「きよなら……あなたにベッパマナーを教えてから死
にたかったわ」



エリー「芳世さんの宇宙服が壊れちゃいました」

ミラコフ「ところで、宝珠が宇宙に落ちてしまったはずのセンスタ
ーが、なぜ壊れたのだらう」

PUSH SPACE KEY



カーゾン「スズの体を2つにちよんざると、それぞれが別
金な体に再生する。やっか、たぶんその機能を持っ
てるんだらう」

達 蔵「というとき」

PUSH SPACE KEY



カーズン「快進進【シリウス】か【いんづか】か、どちらかにやつの船の一部が潜んでいて、エリーヌか王様といっしょにやってきましたとしか、考えられない」

「でも、快進進はエアロックにある。最後までどうやって脱出したか……」

PUSH SPACE KEY



「やって移動したか……」

カーズン「やつの宝具を見よう。やつは、ドロドロの地獄
にもなるんじゃないか」

エリーヌ「それなら、地元のわすかの地獄からでも、借入し
てくるわね」

PUSH SPACE KEY



1. ミラコフ
2. カーゾン
3. エリーヌ

カーゾン「いずれにせよ、海城殿以外の武蔵はヤブヘビに奪
 ちようだ。しかし、海城が【コメット】をも持って
 きたのをふくめて2丁か」

ミラコフ「よし、2人ずつ二丁に分かれ、海城殿を1丁ずつ持
 ちて、中んとかしろう。海城、おんはだれと話ひ？」



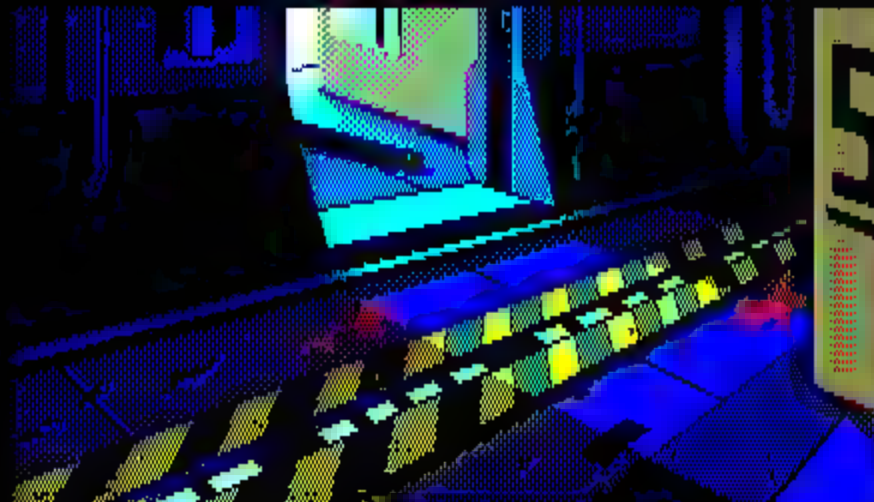
1. ミラコフ
2. カーゾン
3. エリーヌ

ミラコフ「よし、2人ずつ二手に分かれ、準備就緒！丁次つ特
 命！……さて、電んとかししょう。速速、おみはだれと話わ？」

速 速 「ではキャプテンと話みます」

ミラコフ「カーゾン、準備就緒のほかにトランシーバーを持
 ……ていせ」

PUSH SPACE KEY



1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他

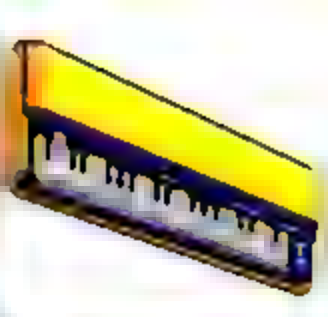
1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他

速雄 「これは芳花のだ。かわいいそうに……」

COMMAND

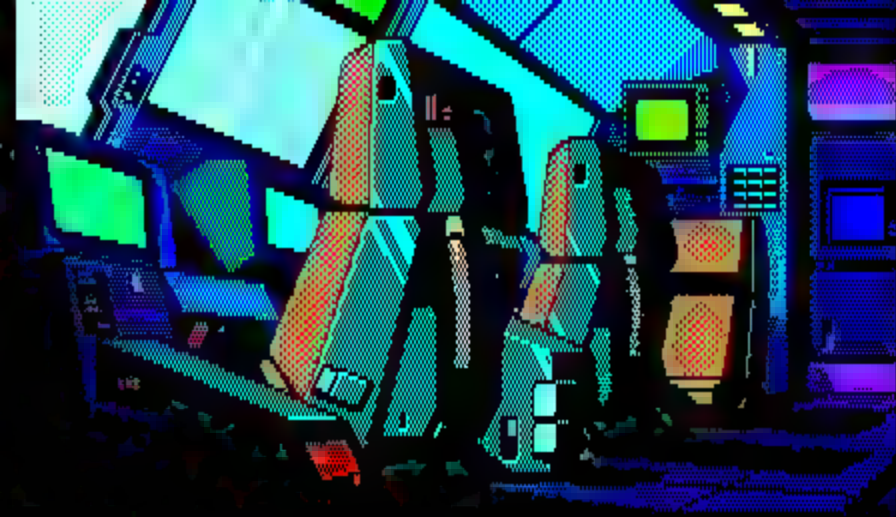


「ふ、レーザーコンクリートが壊れしや、あとで取りか
くも出来なそう」



1. 移動する
2. 見る
3. しゃべり
4. 照らしあてる
5. その他

COMMAND



速雄 「テーブルがたくさんある」

1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他

COMMAND



1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他

「試験用の機体はしまっているらしく見あたりない」



注 意 「異常ありませんか」

カーゾン「うん、もうすこしで何かわかりそうなんだが……そ
ちもも気をつけろ」

1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他

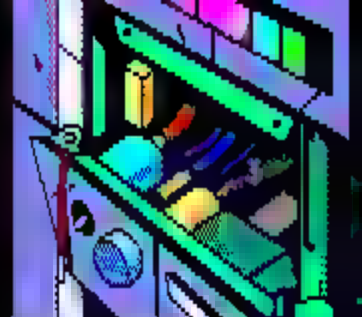
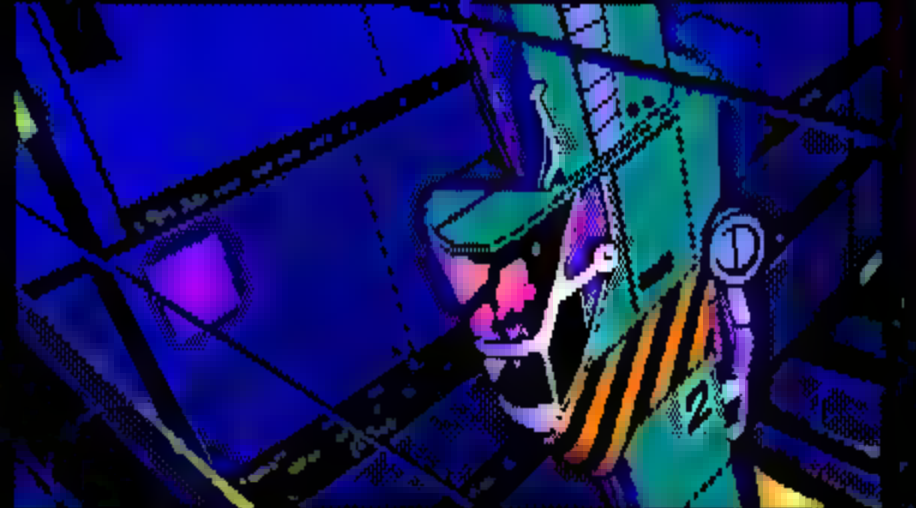
COMMAND



1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他

「このカセットは見たことがある。エリーヌのた」

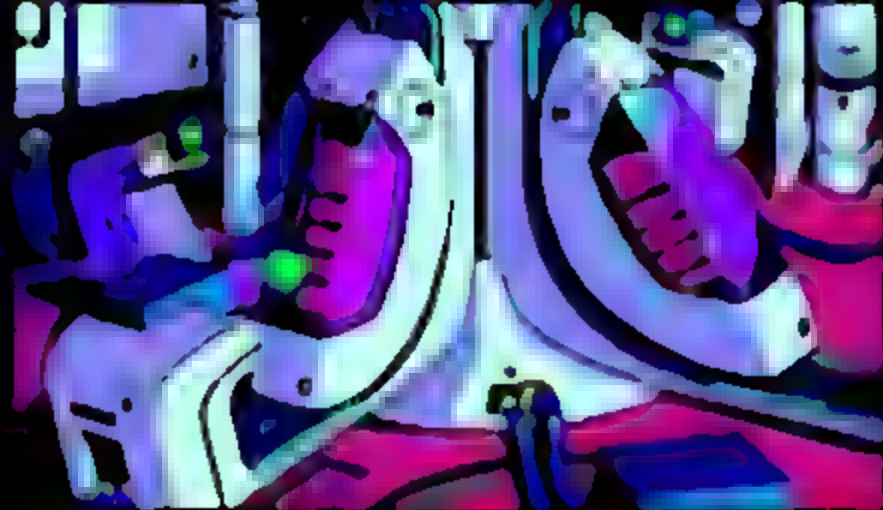
COMMAND



1. 移動する
2. 見る
3. 近づく
4. 話しかける
5. その他

注意 「冷蔵庫のスイッチがこわされている。どうりで暑いわけだ」

COMMAND



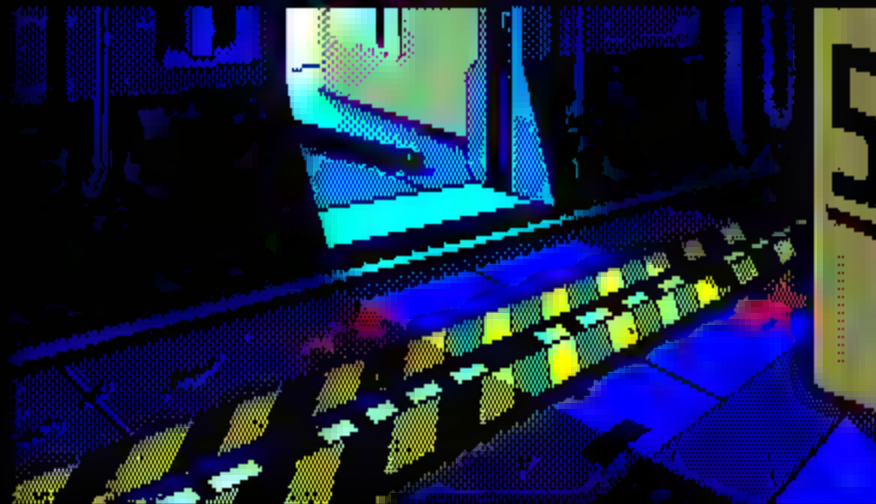
「このゲームは、日本の文化をテーマにしたものだ。」

「これ、日本の文化をテーマにしたものだ。」

「このゲームは、日本の文化をテーマにしたものだ。」

COMMAND

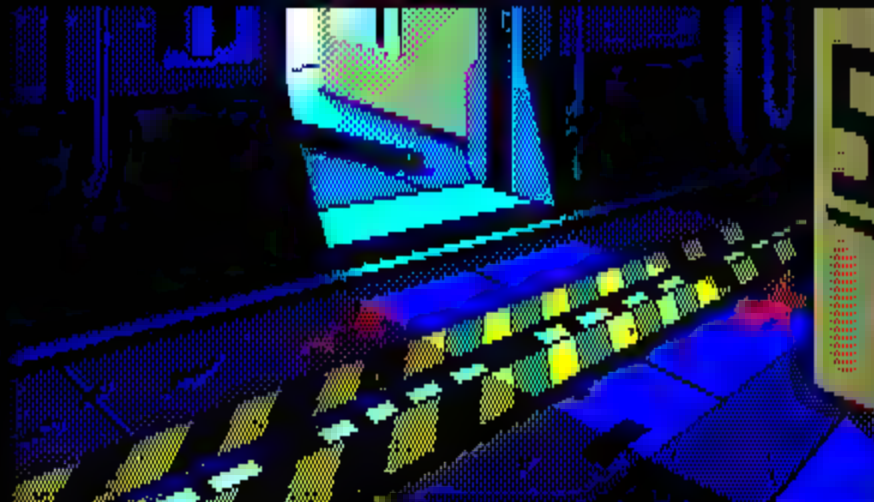
1. 見る
2. 見る
3. 調べる
4. 調べる
5. 調べる



トランシーバー『こちらカーズン。速雄こっちに出たぞ。援助
に来てくれmmウワァー』

速雄『こちら速雄。カーズンさん。どの部屋にいるんです
か』

PUSH SPACE KEY



1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他

速雄 「こちら速雄。カーゾンさん。どの部屋にいますか」

トランシーバー『……』

速雄 「応答ない。早く助けにいかなくちゃ」

COMMAND



ミラコフ「遅かった。2人ともモンスターにやられている」

雄「エリーヌ……」

ミラコフ「おまえと私が組んだのはまちがいだった。我々は戦士の訓練を受けたが、カーゾンもエリーヌも学者なのだ」

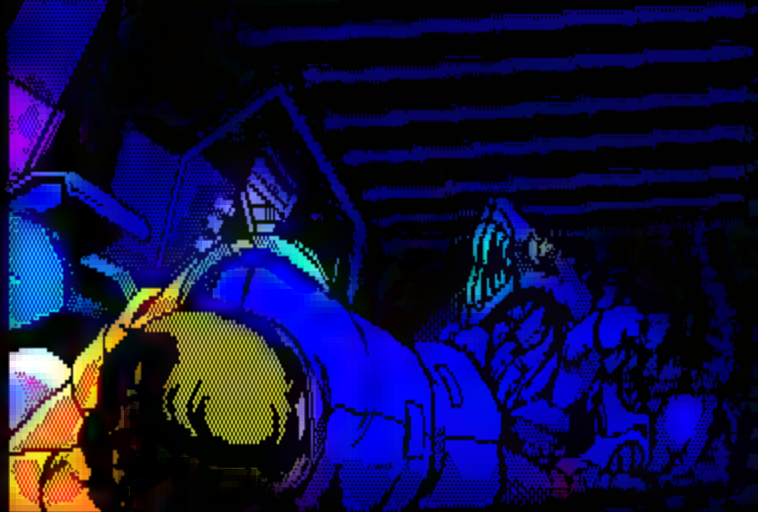
PUSH SPACE KEY



速達 「エリーヌしっかりしろ……キャプテン息をしています。意識しているだけのようです」

エリーヌ 「あっ、速達……私動かったのね。冷凍銃のエネルギーが切れてしまったの。カーゾンが私をつきとばして身代りになってくれたの」

PUSH SPACE KEY



して身代りになってくれたの」

唐 語 「モンスターはmmm」

エリーヌ 「あそこよ」

速 雄 「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」

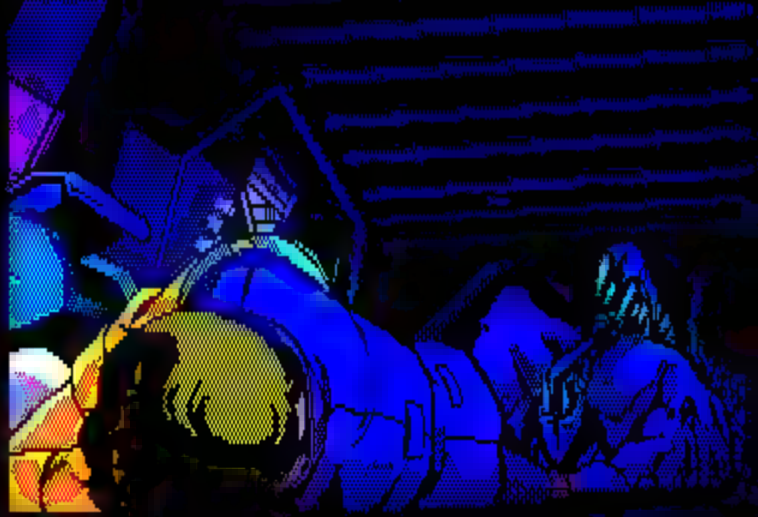


して身代りになってくれたの」

唐 語 「モンスターはmmm」

エリーヌ 「あそこよ」

速 雄 「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」



「して身代りになってくれたの」

唐 龍 「モンスターはmmm」

エリ一又 「あそこよ」

速 雄 「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」

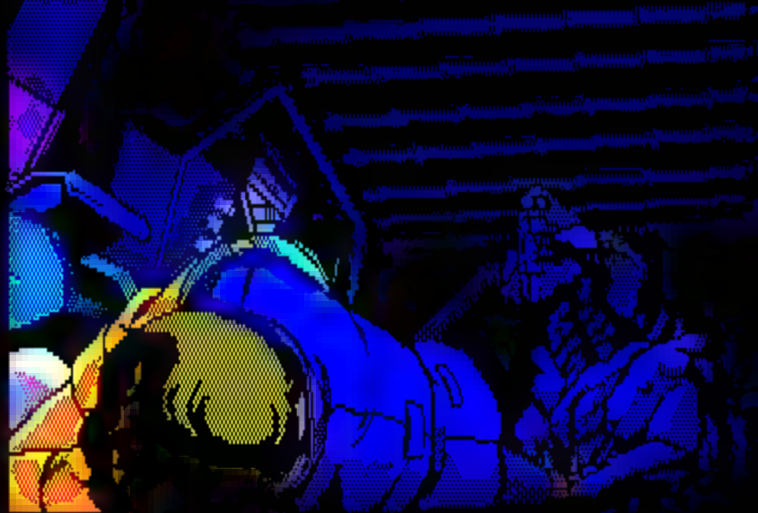


「して身代りになってくれたの」

唐 語 「モンスターはmmm」

エリーヌ「あそこよ」

速 雄 「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」

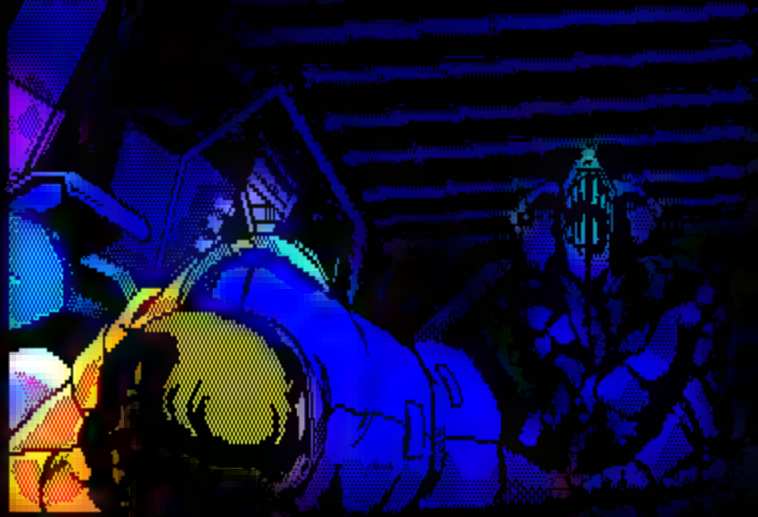


「して身代りになってくれたの」

唐 龍 「モンスターはmmm」

エリーヌ 「あそこよ」

速 雄 「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」

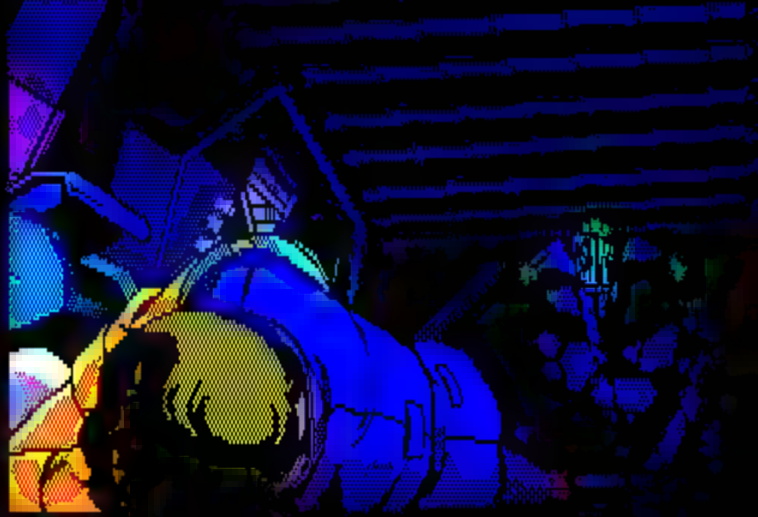


「して身代りになってくれたの」

唐 龍 「モンスターはmmm」

エリーヌ 「あそこよ」

速 雄 「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」

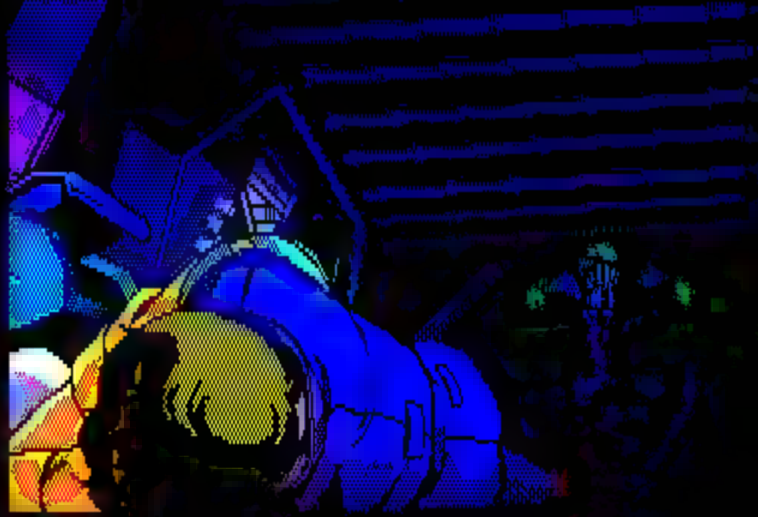


「して身代りになってくれたの」

座 長 「モンスターはmmm」

エリーヌ 「あそこよ」

速 雄 「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」

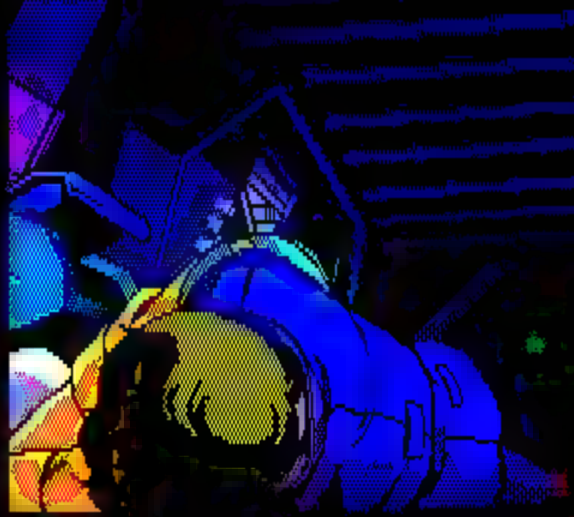


して身代りになってくれたの」

座 長 「モンスターは……」

エリーヌ 「あそこよ」

速 雄 「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」

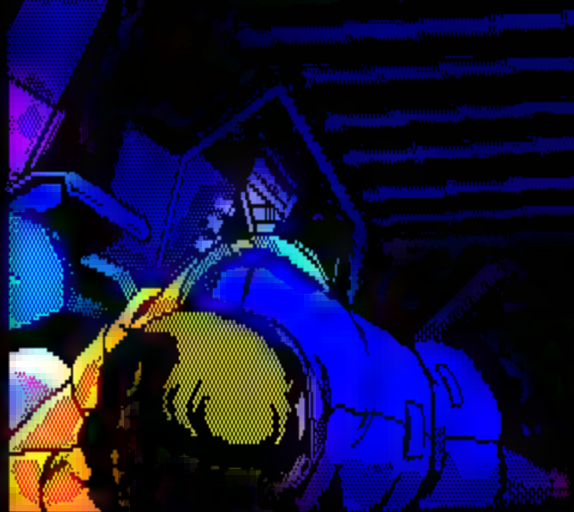


「して身代りになってくれたの」

唐 龍 「モンスターはmmm」

工 兵 「あそこよ」

速 雄 「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」



エリ一又「あそこよ」

速雄「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」

エリ一又「待って。あいつ、機械の隙間へ消えていくわ。気配をさっしたのかしら」

MINI-E PUSH SPACE KEY



ミサカ「おや、おかしな人？」

ミ 「いつかおかしな人に出会っても」

ミサカ「おかしな人って、でもチーフは普通に」

ミ 「おかしな人？」

PUSH SPACE KEY



エリーヌ「あれはたしかセツトよ。でもアープはまた何かを
いかにするよ」

「そりいはい、ミーティングルームにセツトしてある
よ。でもそれがストップさせた人だるう」

COMMAND

1. 移動する
2. 見る
3. 聞く
4. ミラコフと話す
5. エリーヌと話す
6. その他



「さあ、カークンを見に行きましょう」

COMMAND

1. 移動する
2. 見る
3. しゃべり
4. ミラコフと話す
5. エリーと話す
6. その他



ミサキ「さ・き・さ・か・ず・んと書いてあるじゃん、どうやらどうやら
うことらしい」

ミサキ「—」

ミサキ「さ・き・さ・か・ず・んと書いてあるじゃん、どうやらどうやら
うことらしい」

PUSH SPACE KEY

1. さ・き・さ・か・ず・ん
2. さ・き・さ・か・ず・ん
3. さ・き・さ・か・ず・ん



エザー「貴女が？この世界の王女様か？」

ミラコフ「そうだ。世界の王女様様を助けて、この世界の
平和を維持する。貴女がを助けてあげてくれるのか。
助けは必要でなくて、頼まれた王女様様にもなづく
進化だと思う」

COMMAND

1. 会話する
2. 見る
3. 聞く
4. ミラコフと話す
5. エザーと話す
6. その他



「人知れずのうちに、この世に、新しい一歩を踏み出す
うんずる」

「さあ、この世に、新しい一歩を踏み出す——」

PUSH SPACE KEY



2017年10月10日 星期二

[illegible][illegible]

PUSH SPACE KEY



「しばらくコックピットにいますか」
とウツ「」はさびたとの感もあられ、それすらもつらさだ」
「それだ、サリーがコンスタントに入してこねへように、すきさきさき
いであいあわめあわめです」

PUSH SPACE KEY

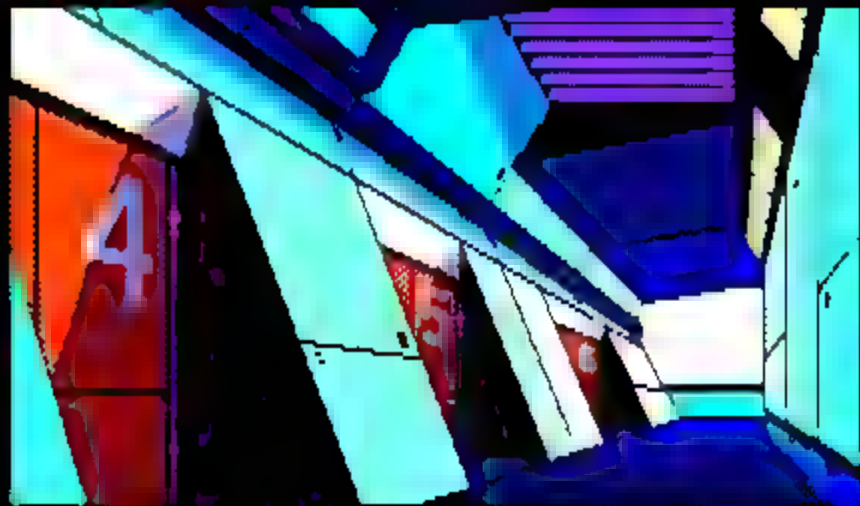


「いってないわ、方が悪いんですわ」

エリーヌ「どうやってふさぐの」

「せうきさつナーブを使うのが一番いいが——
おやんはですか」

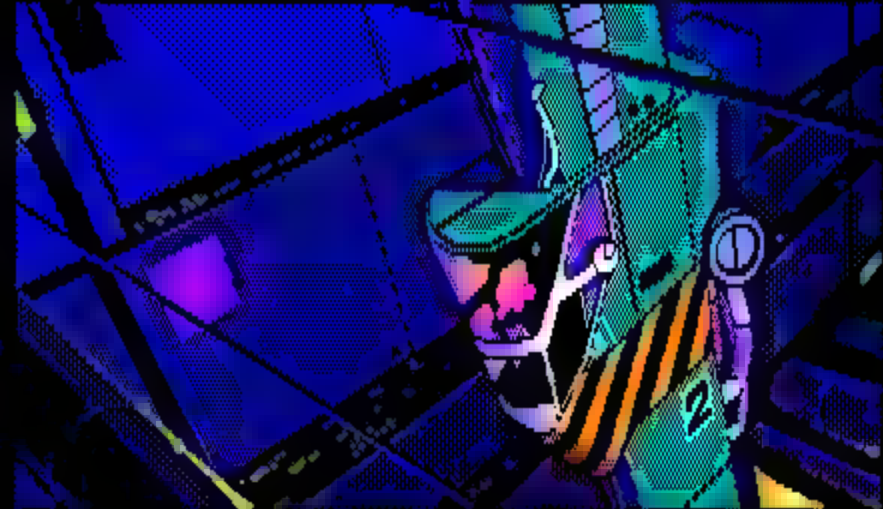
PUSH SPACE KEY



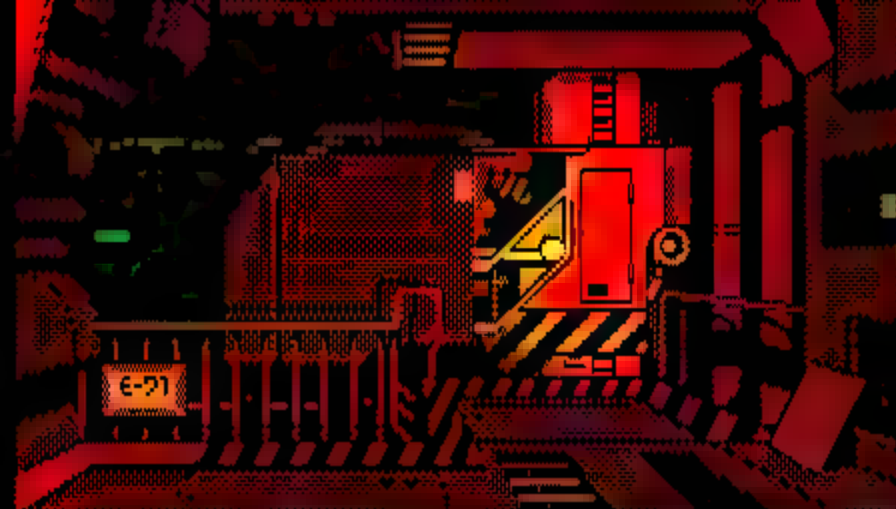
1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他
- 8---SAVE

「これはエリーヌの力セットじゃないか。ひどいなー
つぶされてバラバラだ」

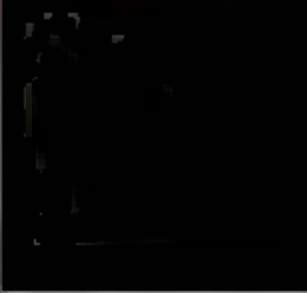
COMMAND



1. 通路へ出る
2. リフトで下へ

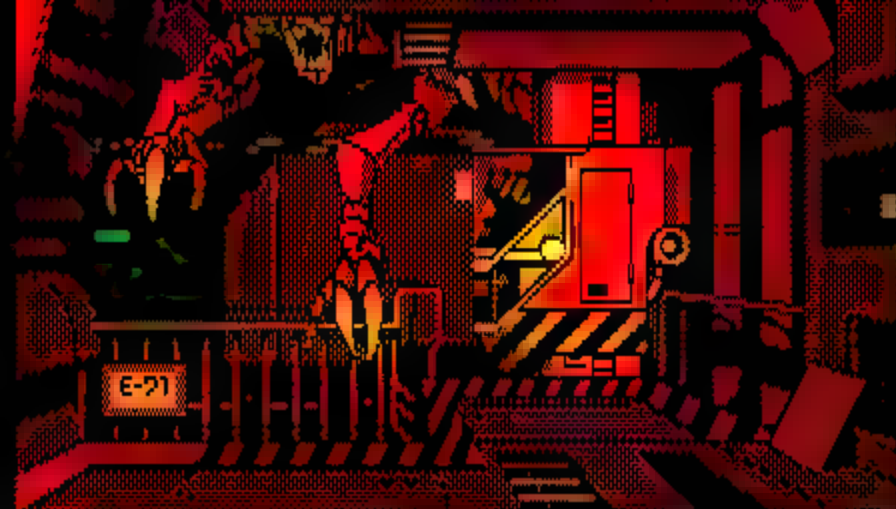


1. 配管
2. BOX
3. ふた



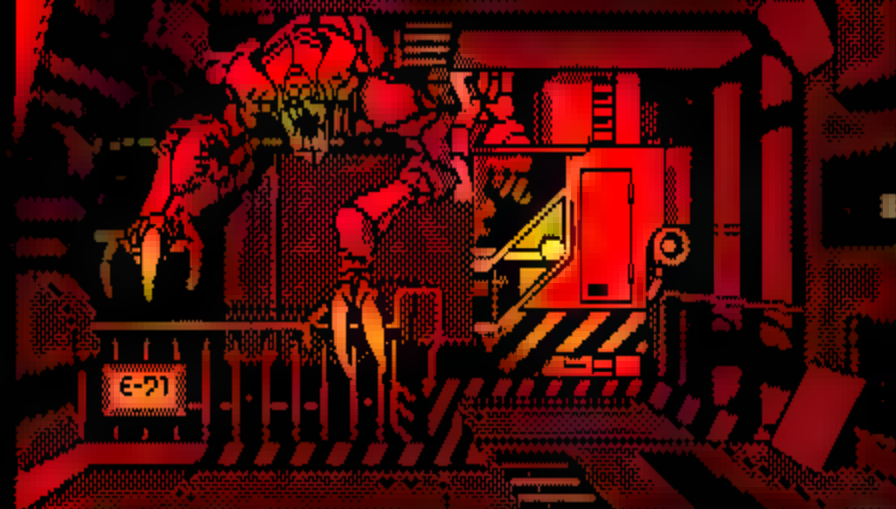
注意 「おや、あのコンソールBOXだけふたがない。中は
おっと、こんなところにセラミックテープがあっ
 たぞ」

PUSH SPACE KEY



1. 配管
2. BOX
3. ふた

速 雄 「おや、あのコンソールBOXだけふたがない。中は
「……おっと、こんなところにセラミックチップがあっ
たぞ」

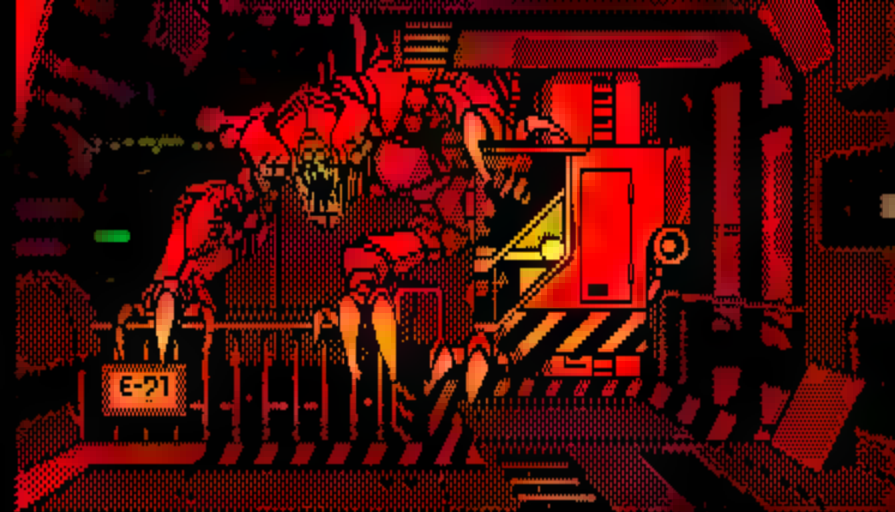


1. 配管

2. BOX

3. ふた

迷子 「おや、あのコンソールBOXだけふたがない。中は
「……おっと、こんなところにセラミックテープがあっ
たぞ」



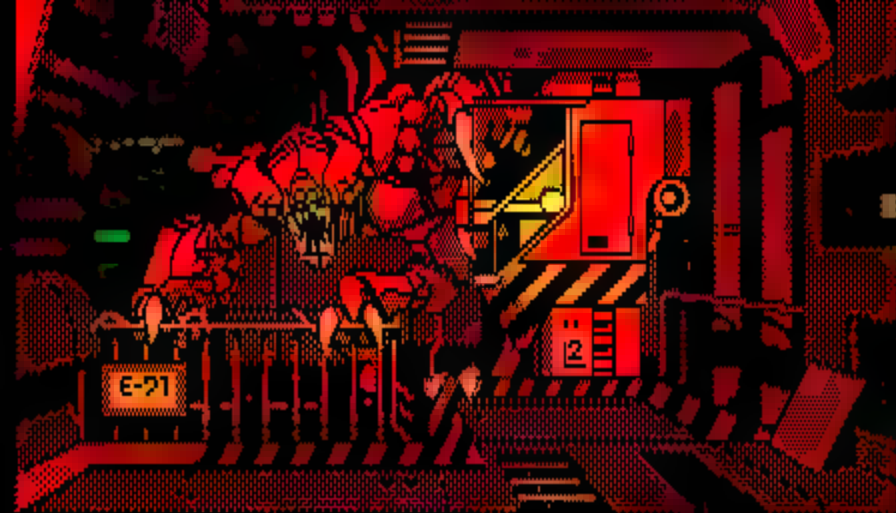
1. 配置
2. BOX
3. ふた

FOJY「速雄、リフトを見る」

速 雄 「まずい、モンスターだ。逃げ道をふさがれたぞ」

FOJY「リフトのスイッチをいれる」

速 雄 「よしスイッチオン………」



1. 配管

2. BOX

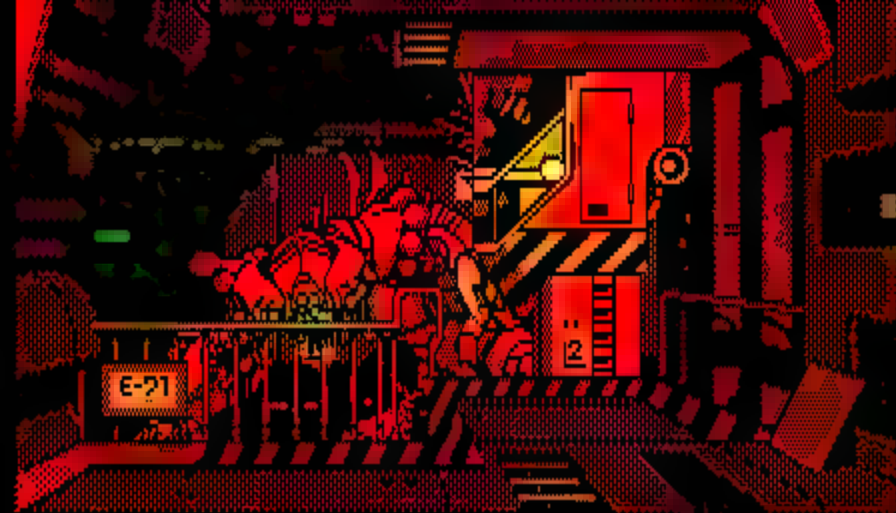
S. ふた

FOJY「遠雄、リフトを見る」

遠 雄 「まずい、モンスターだ。逃げ道をふさがれたぞ」

FOJY「リフトのスイッチをいれる」

遠 雄 「よしスイッチオン………」



1. 配管

2. BOX

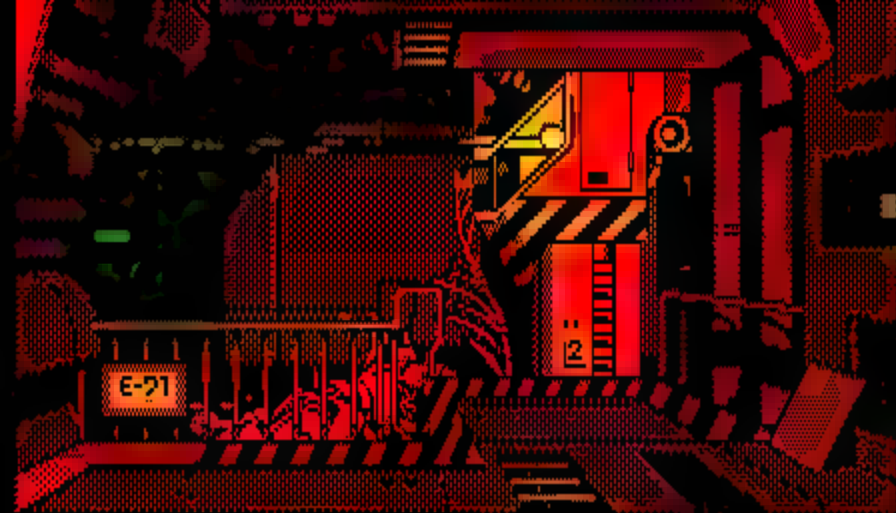
3. ふた

FOJY「遠雄、リフトを見る」

遠 雄 「まずい、モンスターだ。逃げ道をふさがれたぞ」

FOJY「リフトのスイッチをいれる」

遠 雄 「よしスイッチオン………」



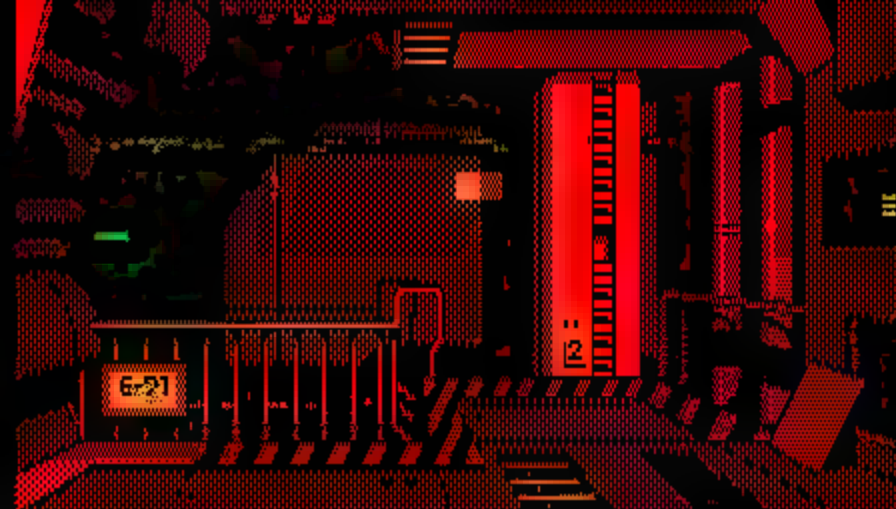
1. 配管
2. BOX
3. ふた

FOJY「速雄、リフトを見る」

速 雄 「まずい、モンスターだ。逃げ道をふさがれたぞ」

FOJY「リフトのスイッチをいれろ」

速 雄 「よしスイッチオン………」



1. 記憶
2. 謎
3. ふた

速雄「やった。やつはバランスをくずして落ちていった」

FOJY「さあ、いまのうちに逃げようぜ」

PUSH SPACE KEY



龍 珠 「ああ——王様、御事でよかったです」
 エリール「ヤツは、城内をうろうろしていいようだね」
 龍 珠 「ところでヤブアム、」見張り番と交言できると
 先か」
 ヤブアム「ああ、さう思われるところだね」

COMMAND

1. 移動する
2. 見る
3. 聞く
4. ミラコフと話す
5. エリールと話す
6. その他



「自由世界プログラムはどうしたんだろ」
エリー「それとも知れていりゃたいやう」

1. 移動する
2. 見る
3. しゃべる
4. ミラコフと話す
5. エリーと話す
6. その他



「あれはどうなってるか」
「なぜかこの部屋が寒い。自動温度プログラムが
壊れてしまっている」
「エンスターのせいでしょうか」

PUSH SPACE KEY

1. 司令官の反応
2. 温度センサー
3. 芳花のこと
4. カーゾンのこと
5. 今までの経緯



なれてしまっている」

ミラコフ「モンスターのせいでしょうか」

ミラコフ「おかしん、だがおかしんはただ無事なもので」**ミラコフ**
「おかしんは無事なもので」

COMMAND

1. 戦う
2. 見る
3. 調べる
4. ミラコフと話す
5. エリーと話す
6. その他



「お前が来たのはいいが、早くお前へお話を」
エレーヌ「その話を聞きたいわね」

1. 話す
2. 見る
3. 聞く
4. ミラコフと話す
5. エレーヌと話す
6. その他

COMMAND



「おー、ブツ、何の用でどう言ってきたか」
ミラコフ「誰かを助けてくれると思って、ベストをつくせ
——とのことだ」

COMMAND

1. 移動する
2. 見る
3. しゃべり
4. ミラコフと話す
5. エリーと話す
6. その他



「あっ、ブタン、早くが【コボット】に行ってもいいけど、
 先生さん何か言っていましたか」
 コボット「おまえのことをやめに心願していたぞ」

1. 攻撃する
2. 見る
3. 隠れる
4. ミラコフと話す
5. エリーと話す
6. その他



ミラコフ「貴でそんな物に焦にするんや。何か何故のことでもあ
るんやないか」
ミ 月「い、いや、べつに——貴でも知っています」

1. 移動する
2. 見る
3. 聞く
4. ミラコフと話す
5. エリーと話す
6. その他

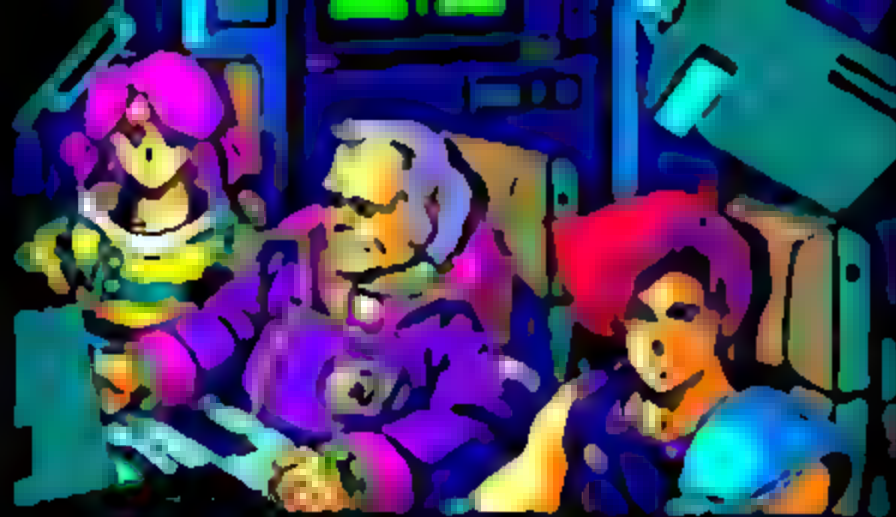
COMMAND



1. 会話する
2. 見る
3. 開ける
4. ミラコフと話す
5. エリーアと話す
6. その他

【コマンド】「この部屋はどうしますか？」

ミラコフ「この部屋は見るのでも、開けるのでも、話すのでも、
それは無理・無理だし、ミラコフといえどもその程度
には対応できませんが」



美奈子「おにほひか言っていましたか」
うさぎ「そういえば、地球カプセル内のパソコンがどうのこ
うのと言っていました」
美奈子「それはカーズンさんは自分のパソコンとメインコ
ンピュータをつないでみましたよ。きっと」

PUSH SPACE KEY

1. 司令官の反応
2. 地球の状況
3. 万理のこと
4. カーズンのこと
5. 今後の万理



うのと言っていたぞ」

「それじゃカーズンさんは自分のパソコンとメインコンピュータをつないだんですよ。きっと」

ミラコフ「おまえはどうしたんだ」

「時間がなくて、まだつながってありません」

COMMAND

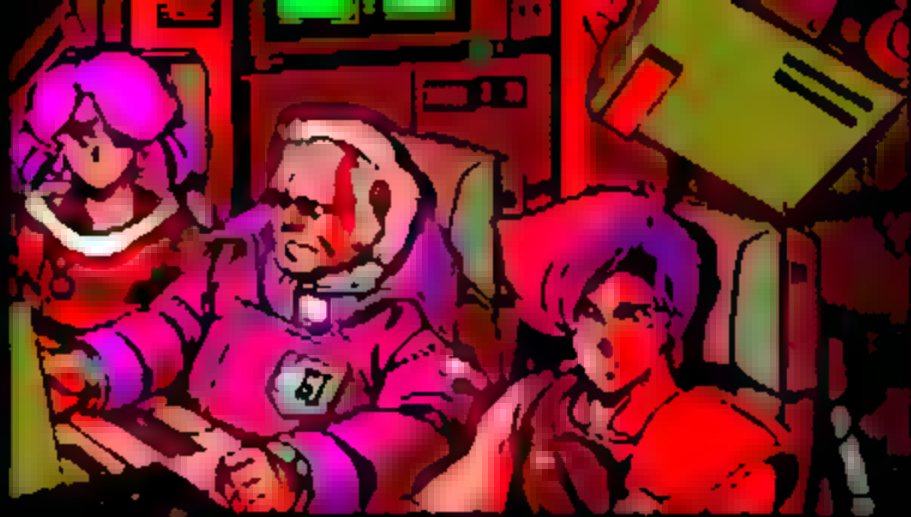
1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. ミラコフと話す
5. エリーヌと話す
6. その他



エリース「今一瞬、そんなに見つめ合っただけ」

1. スタレイン
2. ドア
3. エリースの顔
4. エリースの胸

COMMAND

















THE
FUTURE
IS
NOW











速 雄 「しまった」

ミウコ 「どうした？」

速 雄 「やつです。ドアのめばりが弱かったらしい」

PUSH SPACE KEY



速 雄 「しまった」

ミラコフ 「どうした？」

速 雄 「やつです。ドアのめばりが弱かったらしい」

PUSH SPACE KEY











ミラコア「おちづけ。やつは我々を観察しているようだ」
エリ一女「まるで。誰からおそうか考えているみたい」
速雄「撃ちましょう」

PUSH SPACE KEY



ビラコフ「おちつけ。やつは我々を観察しているようだ」
エリ一女「まるで、誰からおそうか考えているみたい」
速雄「撃ちましょう」

PUSH SPACE KEY



アラコア「待





ミラコフ「待て。戦うよりも、うまくやつをきそって位置を
入れかわり、ドアから逃げよう。エリーヌ、きみか
ら、ゆっくりドアの方へ……」

エリーヌ「はい」

速雄「エリーヌが通路に出ました」

PUSH SPACE KEY

ミラコフ「私はだいじょーぶだよ」

PUSH SPACE KEY



エリ一筋「速雄、キャプテンがどうかしたの」

速雄 「モンスターの動きが急に早くなって、キャプテンを狙ってる」

エピソード「キャプテンを助けないの」

速雄 「まだきみを安全な場所へ連れて来なかつたや」

FLUSH SPACE KEY

FLSH SPACE KEY



を狙ってる」

エリ一家「キャプテンを助けないの」

速雄「まずきみを安全な場所へ連れてかなきゃ」

エリ一家「私は大丈夫。早くキャプテンを助けて」

速雄「よし。冷線銃をぶちかましてやる」

速雄「PUSH SPACE KEY」



エリーヌ「キャプテンを助けないの」

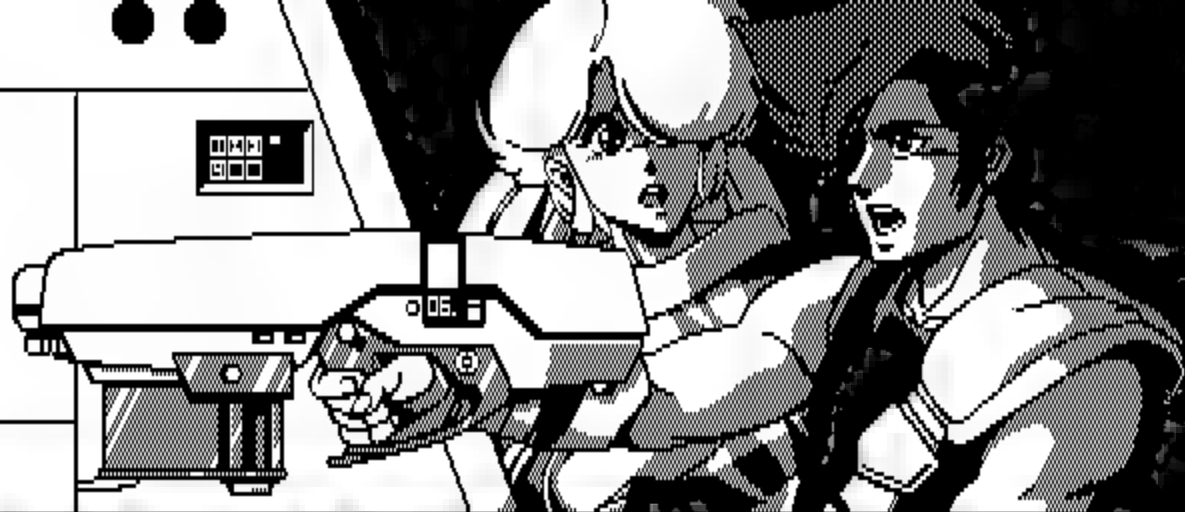
速雄「まずきみを安全な場所へ連れてかなきゃ」

エリーヌ「私は大丈夫。早くキャプテンを助けて」

速雄「よし。冷線銃をぶちかましてやる」

速雄「キャプテン、ふせて」







速雄「うん、あいつ少しひるんだようだ。キャプテン、今のうちです」
ミラコ「わかっている。おまえが先に出る」

PUSH SPACE KEY



速 達 「うん、あいつ少しひるんだようだ。キャプテン、今のうちです」
ミラコフ 「わかっている。おまえが先に出ろ」

(PUSH SPACE KEY)

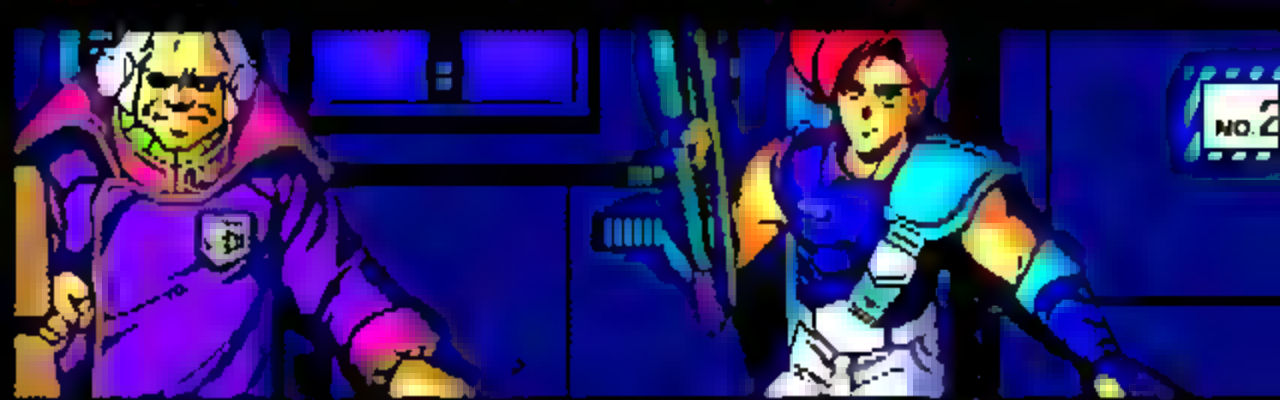


速雄：「出ました。ああっ」

工員A：「どうしたの」

速雄：「モンスターの動きがまた早くなった。キャプテンが危ない」

PUSH SPACE KEY



メラコフ「待て、速哉。同じことのくりかえしのようだ。3人のうち2人が通路に出ると、残った1人に強いがしぼられるせいか、やつは急にすばしこくなる」

速 哉 「じゃあ、どうすれば……」

メラコフ「きみたちは逃げろ」

速 哉 「……」
PUSH SPACE KEY

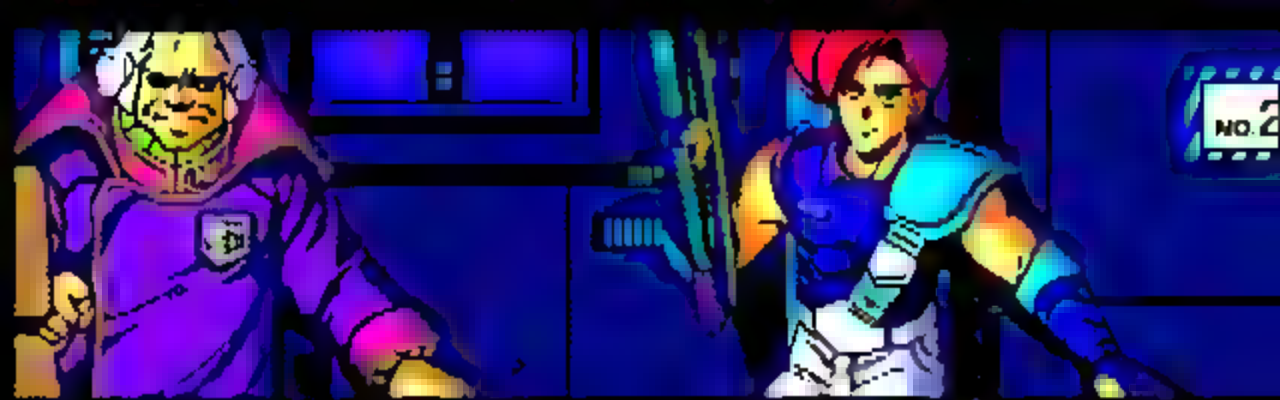


ミラコフ「待て。速雄。同じことのくりかえしのようだ。3人のうち2人が通路に出ると、残った1人に狙いがしぼられるせいか、やつは急にすばしこくなる」

速 雄「じゃあ、どうすれば……」

ミラコフ「きみたちは逃げろ」

PUSH SPACE KEY

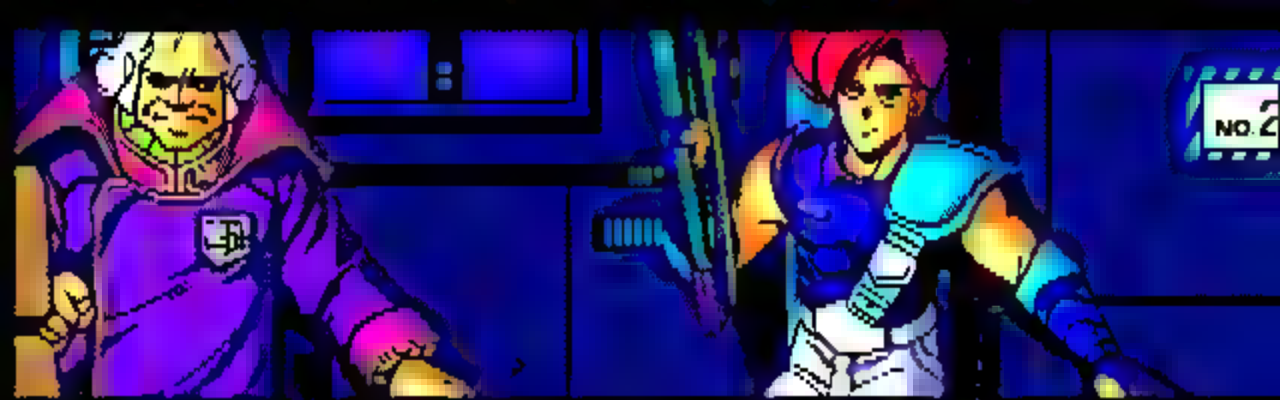


メラコフ「待て、速哉。同じことのくりかえしのようだ。3人のうち2人が通路に出ると、残った1人に強いがしぼられるせいか、やつは急にすばしこくなる」

速 哉「じゃあ、どうすれば……」

メラコフ「きみたちは逃げろ」

速 哉「……」
PUSH SPACE KEY



速 達 「じゃあ、どうすれば……」

ミラコフ 「きみたちは逃げろ」

速 達 「そんな……キャプテンをおいて逃げるなんて……できません」

ミラコフ 「私もおまえと同じ、戦士だ。むざむざとやられはしない」

速 達 「しかし……」

PUSH SPACE KEY



速 雄：「じゃあ、どうすれば……」

ミラコバ「きみたちは逃げる」

速 雄：「そんな……キャプテンをおいて逃げるなんて……できません」

ミラコバ「私もおまえと同じ、戦士だ。むぎむぎとやられはしない」

速 雄：「しかし……」

PUSH SPACE KEY



ミラコフ「上官の命令だ。行け」

速雄「あーっ」

エリーヌ「速雄、どうしたの」

速雄「キャプテンがぼくをつきとばした」

PUSH SPACE KEY



ミラコフ「上官の命令だ。行け」

速 雄 「あーっ」

エフ一又「速雄。どうしたの」

速 雄 「キャプテンがぼくをつきとばした」

PUSH SPACE KEY



エリーヌ「ドアがしまるわ。キャプテンが中からしめたのよ」



エリーヌ「ドアがしまるわ。キャプテンが中からしめたのよ」



エリーヌ「ドアがしまるわ。キャプテンが中からしめたのよ」



エリーヌ「ドアがしまるわ。キャプテンが中からしめたのよ」



エリーヌ「ドアがしまるわ。キャプテンが中からしめたのよ」



エリーヌ「ドアがしまるわ。キャプテンが中からしめたのよ」





エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速 雄 「だめだ。ドアは開かないや」



エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」

エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」



エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」

エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」

エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」



エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

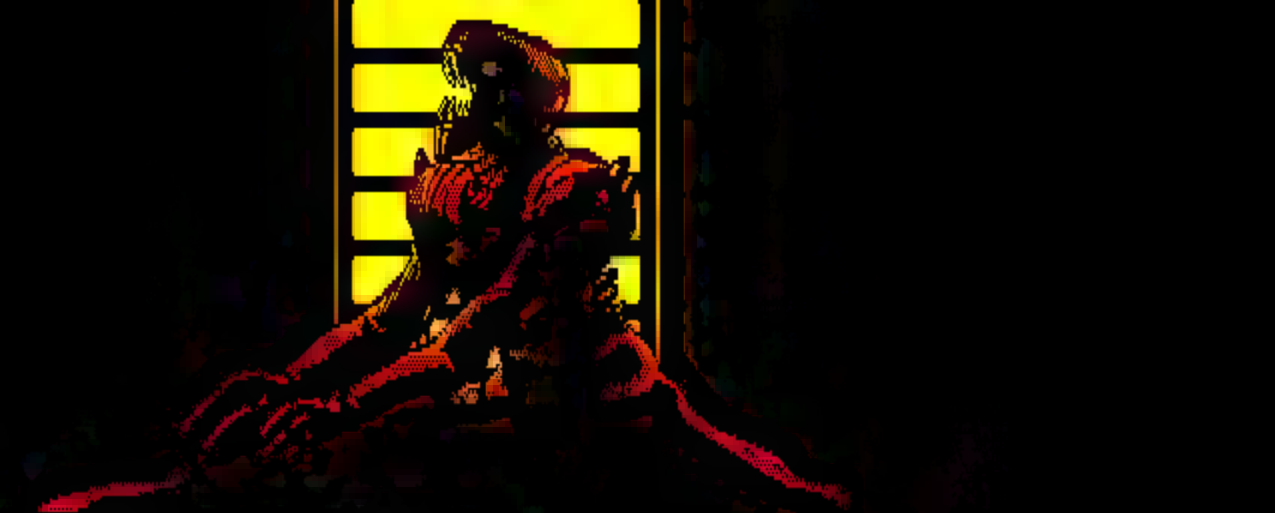
速雄「だめだ。ドアは開かないや」

エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」

エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」



エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」

エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」



エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」

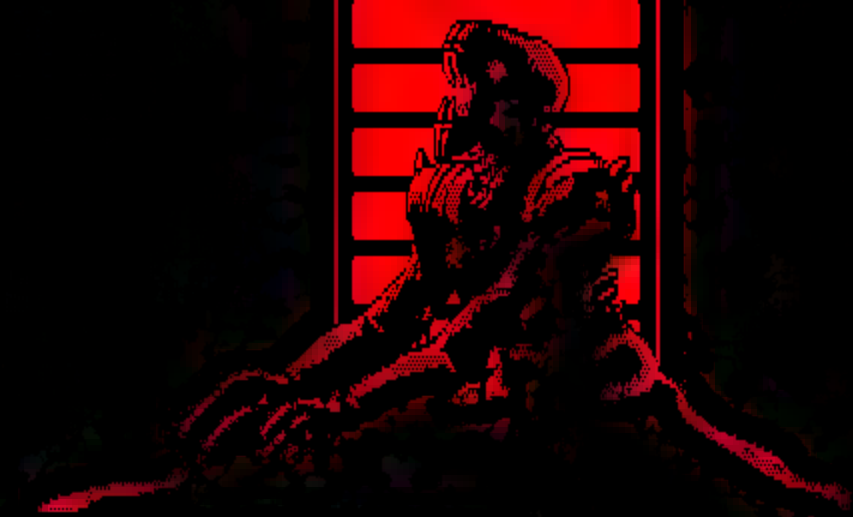
エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」



エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」

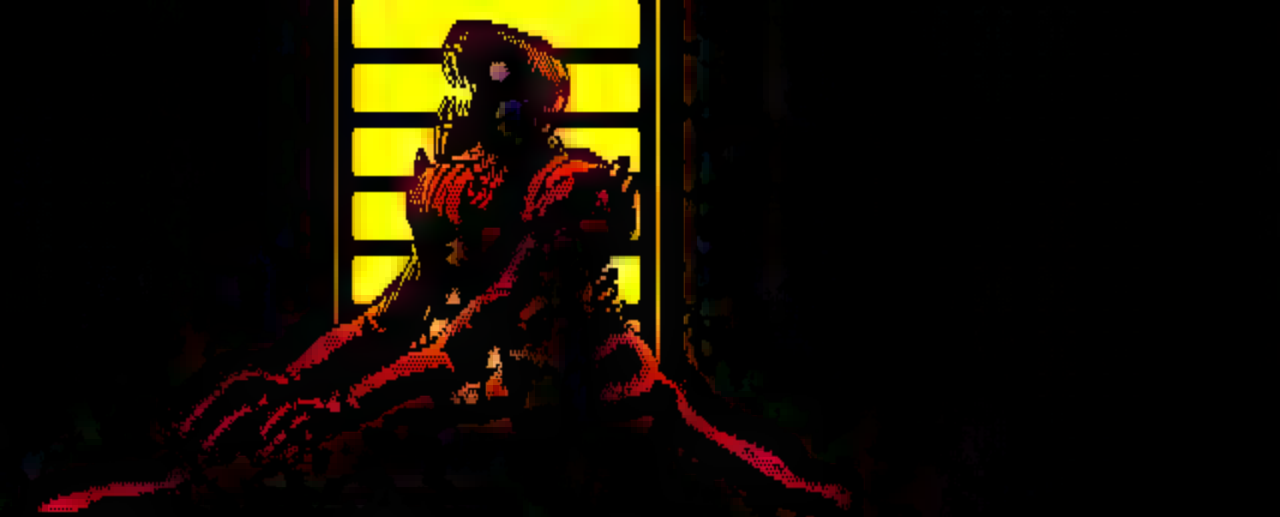
エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」



エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」

エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」



エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」

エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」

エリ一家「キャプテンの悲鳴よ」

速雄「だめだ。ドアは開かないや」



エリーヌ「キャプテン……無事かしら」

速雄「たぶんだめだろう」

エリーヌ「私たちのために犠牲になったの？」

速雄「……」

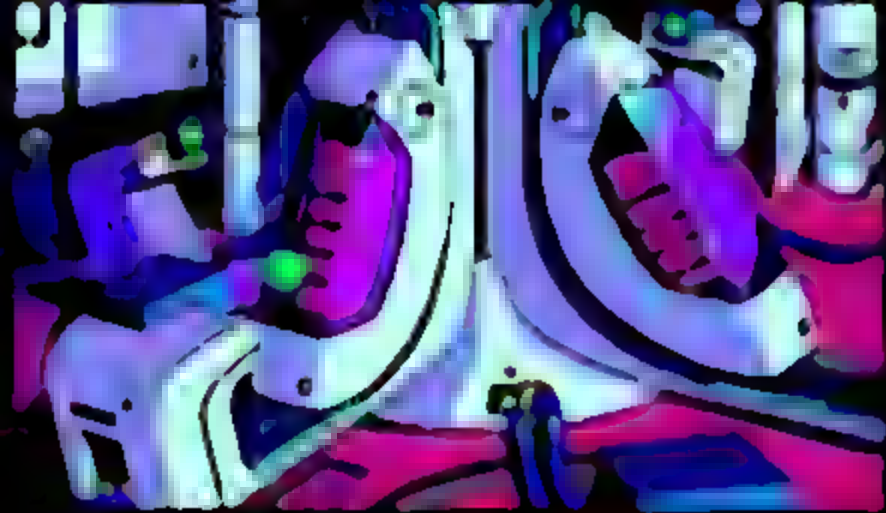
PUSH SPACE KEY



エリーヌ「私たちのために犠牲になったの？」

速雄「いや、人類のためだ。キャプテンだけじゃない。バルカスもベリーニもハイラーも芳花もカーゾンもmm。彼らの死をむだにしないために。ぼくたちはあのモンスターを倒す方法をみつけ、地球を救わなければならない」

速雄「PUSH SPACE KEY」



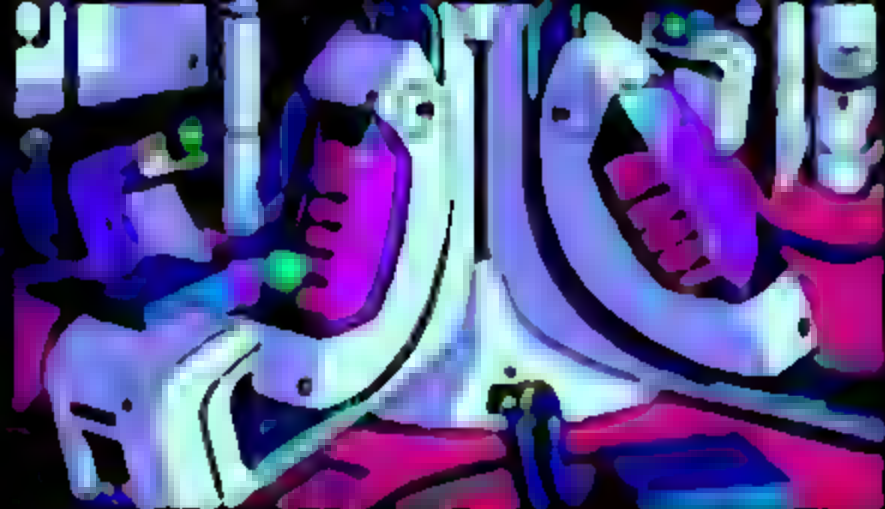
1 (825) 841-6042

24-21 (2001) 400-2, 415-416

(9A) (2)(B)(iii)

84-218937-4 AF1 • 24000, 100 • 3000-4
9202-2000-4 AF1 • 24000, 100 • 3000-4

PUSH SPACE KEY

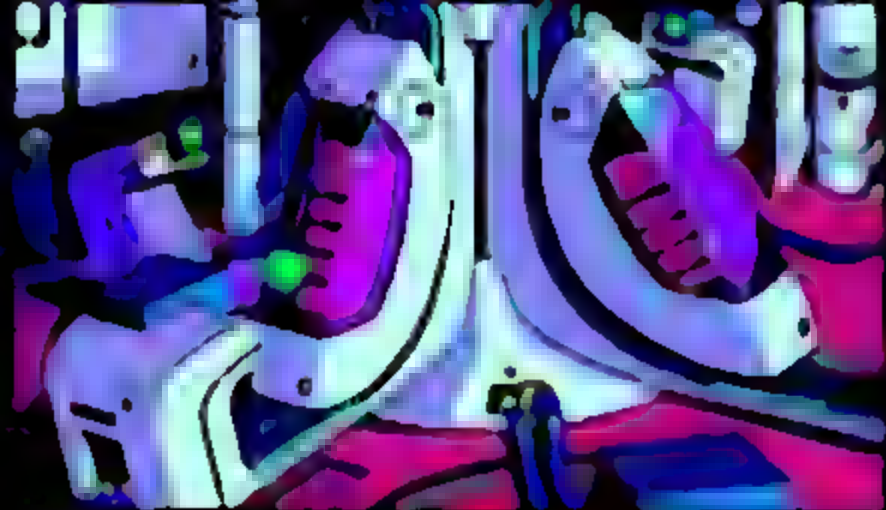


1. とろこつ
2. カーブ
3. 牙
4. 爪

「おもしろいところですね。正しくお話を聞かずに、カーブ、牙、そして爪の角アをね。どこでもおもしろいところですよ」

「私はおもしろいところの角アをねます。おもしろいところですか？」

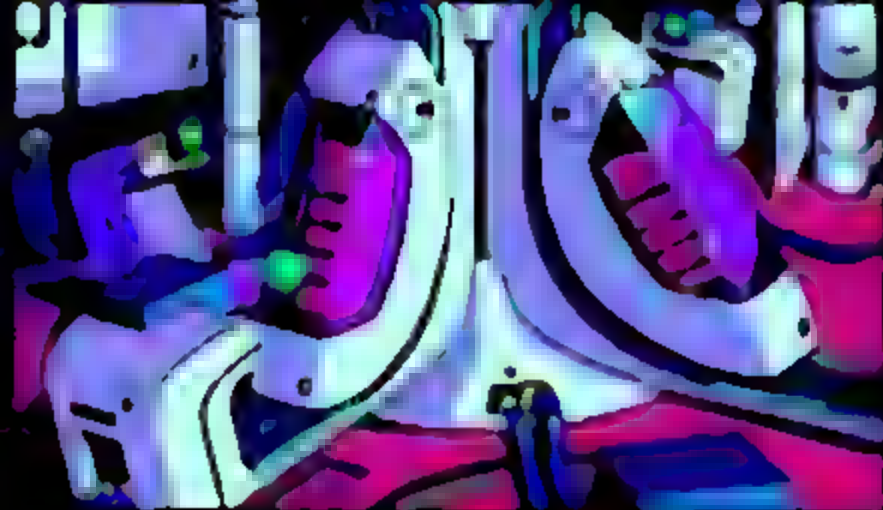
COMMAND



「はくももあのかつてんに入りたい」
 エリー「はいももさんでも、このサービスは2人までしか
 入れません」

1. とろこつ
2. カーザン
3. けき
4. けき

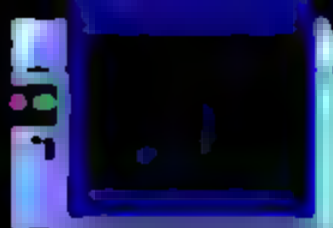
COMMAND



1. とろこつ
2. カーザン
3. 花 花
4. 花 花

雄 雄 「ぼくは自分のカブセルに入らよ」
 エグーダ 「自分の中に、自分のカブセルでも入れよう」
 雄 雄 「おれも、一時的にでも入れよう」
 エグーダ 「では、中に入らせておきましょう」

PUSH SPACE KEY



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを破る
5. おびきだす

エリーヌ「エリーヌ、聞こえるかい」

エリーヌ「ええ、私の声は？」

エリーヌ「感度良野郎」

エリーヌ「これからどうするの」

COMMAND



1. エリーと話す
2. 進言する
3. 思い出す
4. カプセルを壊る
5. 助けを待つ

エリー「カプセルに入ったらお風呂でできるの」

エリー「できないけど、このメインコンピュータは、
一時的に操作の権限もないと、自動お風呂に切りかわり、
」お風呂に切りかわりようになっているんだ」

PUSH SPACE KEY



「エリースに会おうようになっているんだ」

エリース「でも、モンスターを倒せたまま」エリースに帰るの
は、まずいんじゃない？」

達 達 「うーん、そうだなあ」

COMMAND



1. エリースと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを触る
5. 呼びきだす



1. エリーヌと話す
2. 進言する
3. 思い出す
4. カプセルを見る
5. 逃げ出す

エリーヌ「モンスターに戦いはないのかしら」

エリーヌ「やっや生き物だから、どこかに弱みがあるとは思うけど……」

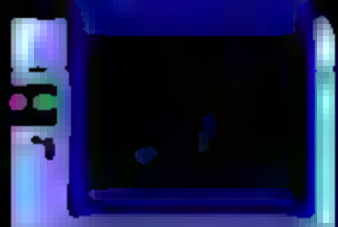
エリーヌ「これまでのモンスターの戦いを、よく思い出してあげようよ」

COMMAND



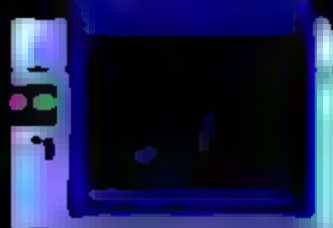
1. エリーヌと話す
2. 盗書する
3. 思い出す
4. カプセルを壊る
5. 助けを貸す

「あー、だめだ。このパソコンはメインコンピュータとつながってないから、盗書できないや」



1. エリーと話す
2. 進言する
3. 思い出す
4. カプセルを壊す
5. 逃げ出す

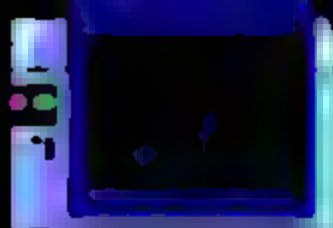
エリー「モンスターの弱点、何か思いついた？」
エリー「固いかたすみに何かがひっかかっていないんだぞー
ーほっきりしない」



1. エリーと話す
2. 進言する
3. 思い出す
4. カプセルを壊る
5. 逃げ出す

速雄「私がわかるといっても、逃げ出すのは危険だ」

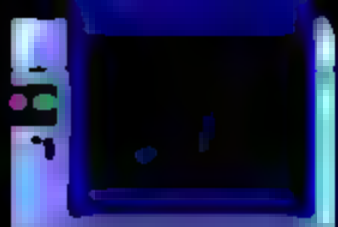
COMMAND



1. バルカス
2. ベリーニ
3. ハイラー
4. 芳世
5. カーゾン
6. ミラコフ

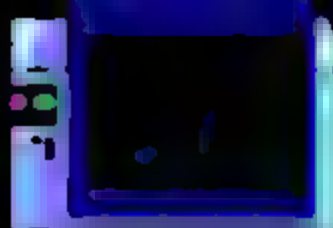
「お人がやられたときのようにすき思い出してみよう」

COMMAND



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを見る
5. 逃げ出す

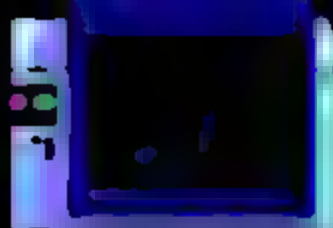
「バールの父は、真空中にモンスターにおそわれた。今
つね、なぜ言わずに会えようかだろう」



1. エリースと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを破る
5. 呼びきだす

速雄 「ベリーニはコンピュータ室で戦った。彼女のメッセージをのこして――」

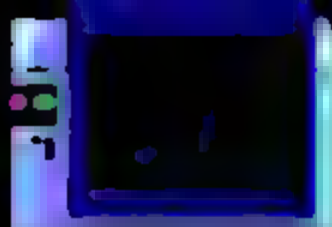
COMMAND



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを壊す
5. 逃げ出す

「ハイラーは【コグット】のコックピットで死んだ。
きっとコックピットを壊そうとしたのだろう」

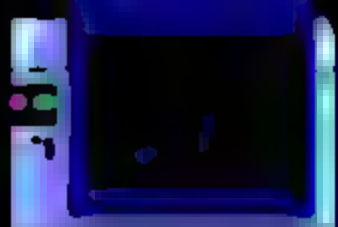
COMMAND



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを破る
5. おびきだす

「予定もなかったと、今ではぼくの前に立身した」

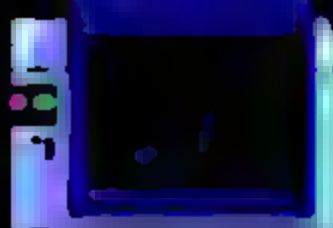
COMMAND



1. エリーヌと話す
2. 通電する
3. 思い出す
4. カプセルを触る
5. 逃げ出す

「カーズンは、暗黒軍で殺された。なぜか命とり、モンスターは逃げたのだらう」

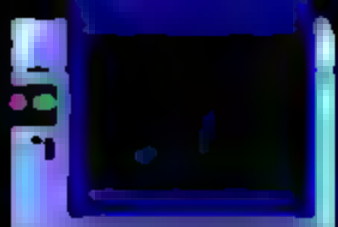
COMMAND



1. エリーヌと話す
2. 進言する
3. 思い出す
4. カプセルを壊る
5. おびきだす

速雄「ミラコフは、死に覚悟でぼくたち2人を助けてくれた」

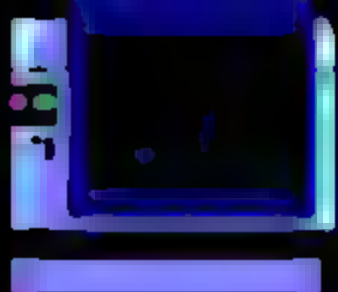
COMMAND



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを拾う
5. 呼びきだす

速雄 「エリーヌ、カーゾンのカプセルに落ちたよ」

COMMAND



1. エリーヌと話す
2. 盗書する
3. 思い出す
4. カプセルを壊す
5. 助けを待つ

エリーヌ「ラッキー。カーズンがここにあるパソコンとメインコン
ピュータをつないでいる。これで盗書ができる」

エリーヌ「じゃあおひさと盗書できる？」

エリーヌ「いや呼んでいるんだが……まだな。うさぐいかなんか
や」



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを壊る
5. 逃げます

ビューラをつないでいる。これで通信ができる』

エリーヌ「」通信の音と通信できる？」

ビューラ「いや呼んでいるんだが——まだな。うさぐいかないかな」

エリーヌ「故障かしら」

COMMAND



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを移る
5. おびきだす

「おー、信号がきたぞ」

PUSH SPACE KEY



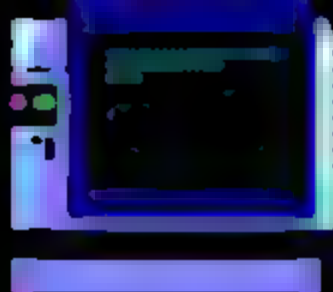
達 達 「なんだ、この世界は？見たことがないぞ。どこの国のことだよ」

エリーヌ 「フランス国でも建設するのよ」

達 達 「いや、いらないことだよチャンボンのことだよ」

エリーヌ 「PO」Yも分かるんじゃない？」

PUSH SPACE KEY



達 達 「こいつに聞くのはしんどいけど……おい、FOJY」
FOJY 「やっぱくの出番だね。この番号は、きみの言うとおり、ポルトガル語・
イタリア語・ドイツ語・中国語・英語・ロシア語のミックスだよ」
達 達 「それは……モンスターにやられた6人の母国語だ」

PUSH SPACE KEY



FOJY「とりあえず、最早期のつもりで退院してみよう。ええと——『私は
……モンスター』」

連 龍「なんだって。やつがことばを使うのか。邪魔なだけじゃないのか」

FOJY「どうやら、やつは人語をおそうと、遺言情報だけでなく個人的な話も身につけるようだぜ。やつなりに人語のことばを覚えて、通信してきている」

PUSH SPACE KEY



POJY「どうやら、かつは人語をおそうと、音声で検定せずなく個人語で話しかけ
づけもようだぜ。かつなりに人語のことばを覚えて、通言してきている」

雄 雄 「よし、そんな人語だ。ただ、おまえ自身のことばとまぎれぬわしいから
、モンスターのことばは声を出さる」

POJY「了解、では、さっそく——」

PUSH SPACE KEY



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを移る
5. おびきだす

モンスター「私はモンスター、コックピットにいる。この船は
制圧した」

速 蔵「どうするつもりだ」

モンスター「このまま」ESSUSまで連れていってもらう」

COMMAND :



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを移る
5. 結びきだす

速 雄 「JESUSについてどうするつもりだ」

モンスター 「ハレーの尾にいる仲間をよぶ。そして、まずJESUSを、さらに地球を征服する」

速 雄 「ハレーに住んでいけばいいじゃないか」

PUSH SPACE KEY



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを移る
5. おびきだす

モンスター「我々はハレーの生物ではない。住む星がなく、何
万年も宇宙をさまよっていた。地球時間で数十年前
、やっと住みやすそうな太陽系を見つけ、ハレーに
便乗してやってきた。探査機は流りに船だった」

PUSH SPACE KEY



1. エリーヌと話す
2. 通電する
3. 思い出す
4. カプセルを移る
5. 結びきだす

、やと住みやすそうな太陽系を見つけ、ハレーに
乗乗してやってきた。我輩は流りに船だつた」

流 流 「人頭もどうするんだ」

モンスター「抵抗すれば殺す」

流 流 「もちろん抵抗する」

PUSH SPACE KEY



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを移る
5. おびきだす

モンスター「抵抗すれば殺す」

遠 蔵「もちろん抵抗する」

モンスター「むだだ。きみたちも気がついてるようにエネル
半一兵器は、私にとってはこちそうなのだ。冷保統
も一時しのぎだ」

COMMAND : 1



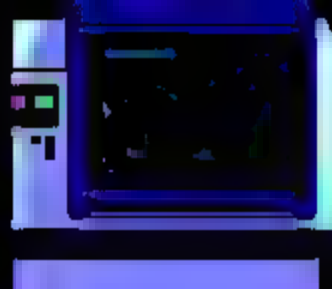
1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを移る
5. おびきだす

速 雄 「おまえは火屋とか木屋に住めないのか」

モンスター 「いったん地球生命の遺伝情報を取りいれた以上、
他の星は住みにくい」

速 雄 「地球に住むとしても、人類と平和共存はできないの
か」

PUSH SPACE KEY



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを移る
5. 結びきだす

か」

モンスター「できない」

遠 雄 「なぜ？」

モンスター「理由は、きみたちにもわかっているはずだ」

遠 雄 「ん？……なんのことだ」

PUSH SPACE KEY



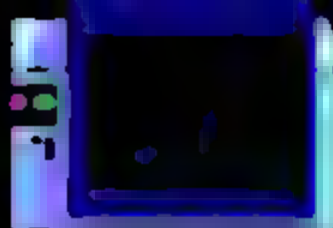
1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを移る
5. おびきだす

モンスター「理由は、きみたちにもわかっているはずだ」

エリーヌ「ん？……なんのことだ」

モンスター「まあいい。きみと話すより、コックピットの機体
をいじるほうがおもしろそうだ」

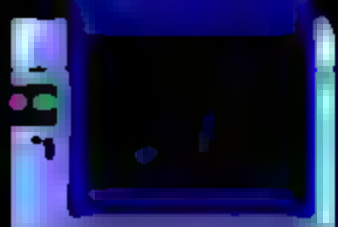
FOJY「国境が切れた」



1. エリーヌと話す
2. 通信する
3. 思い出す
4. カプセルを移す
5. おびきだす

エリーヌ「エリーヌ、聞いてたかい」
エリーヌ「ええ、あいつ、電話をいじまってるってわね」
エリーヌ「やつをコックピットにいざせるのほまずい。人間の
ことばをきくとんてええわね、ぼくたちのよりきして
」エリーヌにうその情動を流すかもしれない」

COMMAND

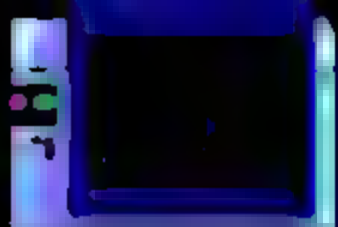


1. エリーと話す
2. 進言する
3. 思い出す
4. カプセルを壊る
5. 飛び出す

「ぼくはあいつをコッタビットから飛び出す。おま
はその間に、コッタビットに入り、ロッタするんだ」

エリー「モンスターは、彼がいくつにも分かれるんですよ。
彼の一部がコッタビットに落ちていくわー」

PUSH SPACE KEY



1. 取り引き
2. 脱出

「ああ、お前を助けたくはないけど、このまま
何もせずに」監禁部屋に閉かづねおに逃げかぬい」

エリ「お前を助けるというおりにするもの。でも、どうやって
逃げかぬい」

「お前を助けたら、お前を——」

COMMAND



遠 藤 「モンスター、取り引きしよう」

モンスター「何を？」

遠 藤 「ぼくとエリーヌだけ助けてくれたら、いい情報を教えるぜ」

PUSH SPACE KEY



モンスター「何も？」

道 達 「ぼくとエリーヌだけ助けてくれたら、いい情報をお
れへくれるぜ」

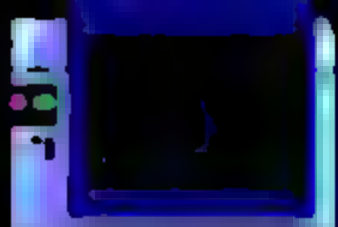
モンスター「おまえの持っている情報など、脳をちょっと吸え
ば手に入る。取り引きはしない」

PUSH SPACE KEY



速 達 「モンスター、出てこないで快速道で逃げるぜ」
モンスター「きみがいてもいなくても同じだ。勝手にしろ」

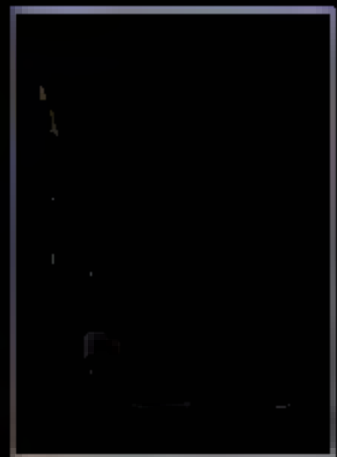
PUSH SPACE KEY



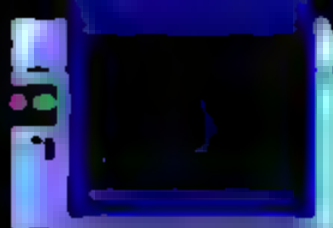
1. 取り引き
2. 逃走
3. 隠伏

「もう一度やってみよう。こんどは口説いて」

COMMAND



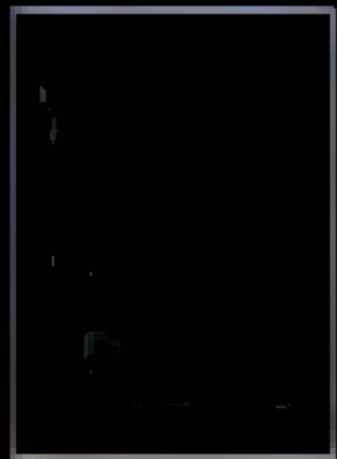
PUSH SPACE KEY



1. 取り引き
2. 脱出
3. 隠伏
4. こもりきり

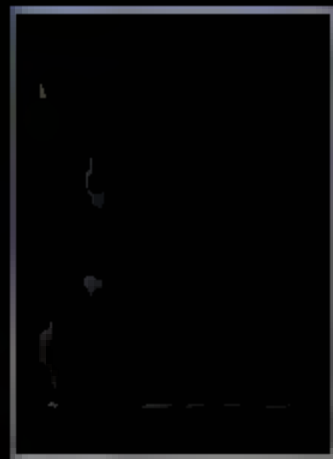
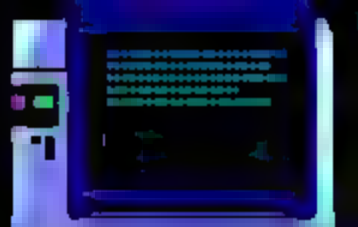
「もう一度やってみよう。こんどは口実が――」

COMMAND



速 読 「モンスター、応答しろ」
モンスター「何か用か」

PUSH SPACE KEY



速 達 「コックピットからでてこい。この船には自爆装置がある。出てこないとそれを使うぞ」
モンスター「自分たちの命を犠牲にして、私を助すというのか
美しい話だが、へたなウソだ」

PUSH SPACE KEY



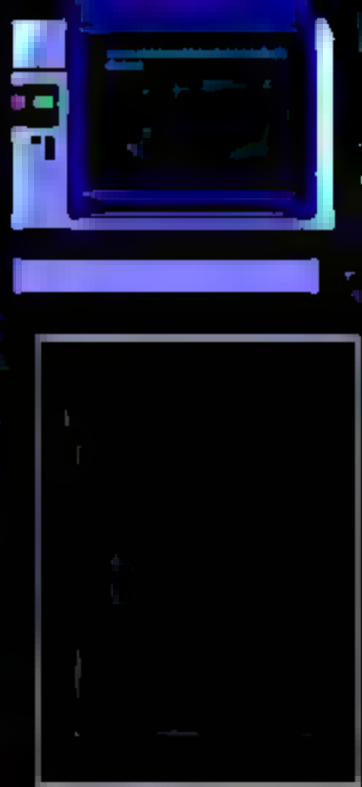
。「美しい話だが、へたなウソだ」

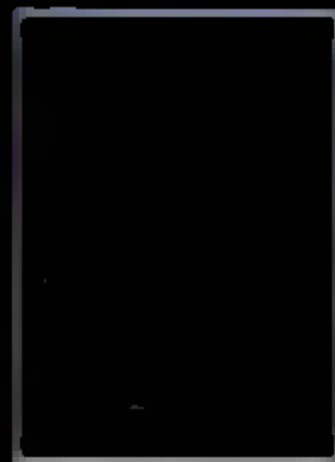
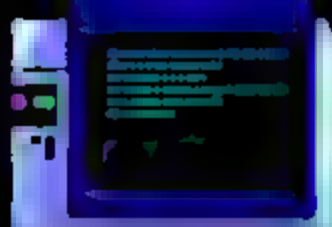
速 蔵 「ウソじゃない」

モンスター「だめだめ。私はメインコンピュータで、この船の
構造・装備を調べた。自爆装置などない」

速 蔵 「ばれたか」

PUSH SPACE KEY





「ぼくはポータブル電源を持っている。これはメイン
コンピュータもしもない。セットする場所によっては
この船全体がふっとぶぞ」

モンスタ=「……」

PUSH SPACE KEY



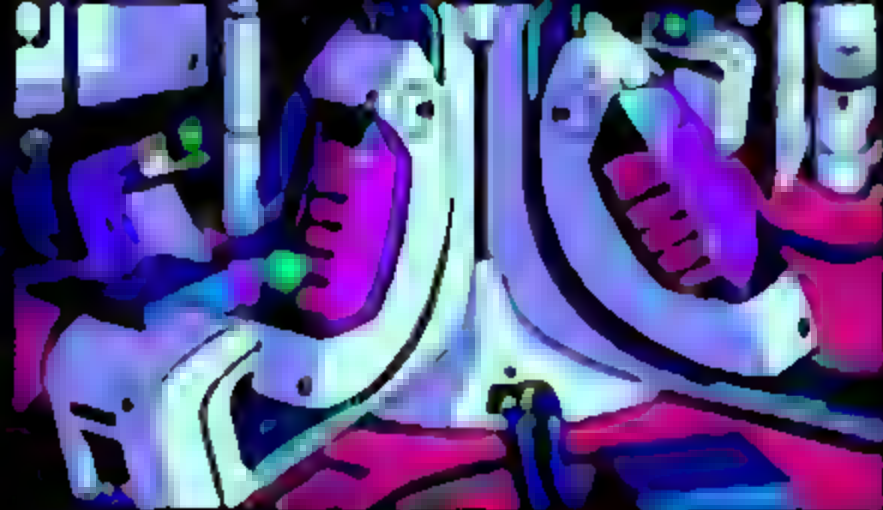
「この船全体がふっとぶぞ」

モンスター「……」

速 蔵 「どうした。めずらしく考えこんでるな」

モンスター「わかった。出て行こう。どこへ行けばいい」

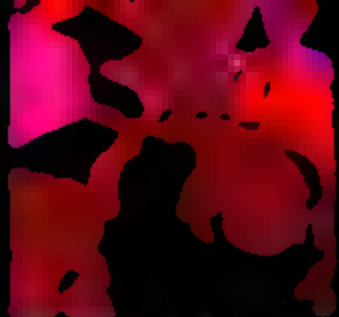
速 蔵 「……」
PUSH SPACE KEY



「ここへ逃げよう、早く逃げよう」

1. エアロッタ
2. カプセル室
3. 観測室
4. 倉庫
5. ミーティング室
6. コントロール
7. 機関室

COMMAND

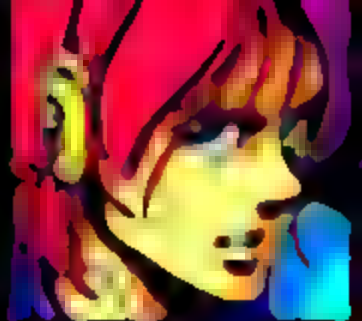


1. バルカス
2. ベリーニ
3. ハイラー

4. 黒
5. 青
6. 緑

「あんまりおもしろくない。早くこのゲームを終わらせたい。このゲームは、あんまりおもしろくない。早くこのゲームを終わらせたい。このゲームは、あんまりおもしろくない。早くこのゲームを終わらせたい。」

PUSH SPACE KEY



1. バッカリ
2. ミッキー
3. ハンター
4. 黒電
5. グラフ
6. ミラコフ

「アッ、これぞこのこときもう一度ききとて、
今度こそは、この世で勝つてみよう」

POJY (ミッキー)

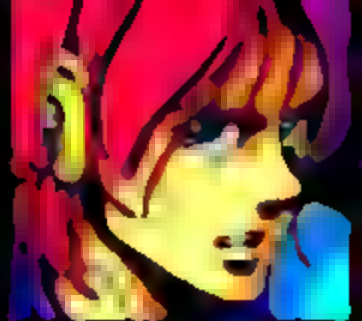
「さあ、サントーの世間を、この世で、この世で、
サントー、ハロー、この世で、この世で、

PUSH SPACE KEY



1. **Introduction**
2. **Background**
3. **Methodology**
4. **Results**
5. **Discussion**
6. **Conclusion**
7. **References**

COMMAND

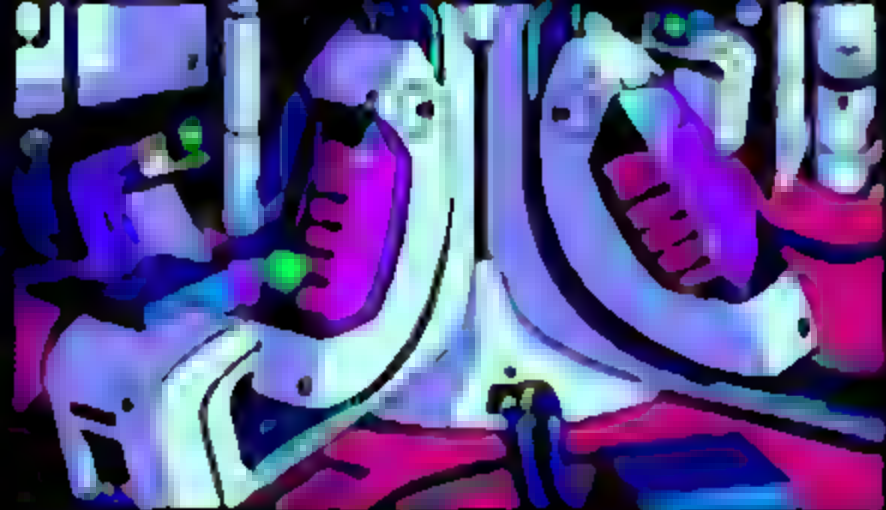


1. 月野うさぎ
2. エリーヌ
3. カーズン
4. ミラコフ
5. 月野
6. ハイラー
7. バルムス
8. スリーニ
9. あまのりく

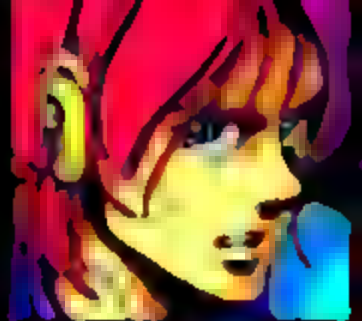
「サングラスは、早くも壊れて！人形が壊れてしま
し。成長していった」

POJY「うん——たて、さきほどおっしゃったとおり、今の
お洋服が壊れたことばかりで、どうして？」

COMMAND

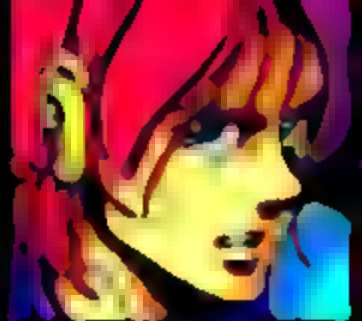
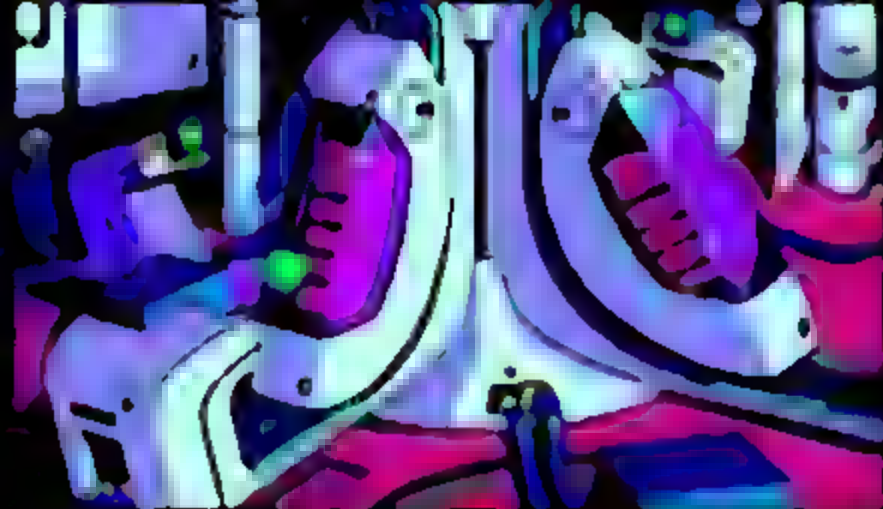


POLYMER CHARACTERIZATION



- | | |
|----|----|
| 1. | 1回 |
| 2. | 2回 |
| 3. | 3回 |
| 4. | 4回 |
| 5. | 5回 |
| 6. | 6回 |
| 7. | 7回 |
| 8. | 8回 |
| 9. | 9回 |

COMMAND



1. 鉄パイプ
2. アサ
3. 鉄パイプ
4. ピストル
5. レーザー銃
6. レーザー銃
7. 大砲
8. POJY
9. レーザー砲

「モンスターは、実中絶により攻撃を受けると、もしも撃たれたら」

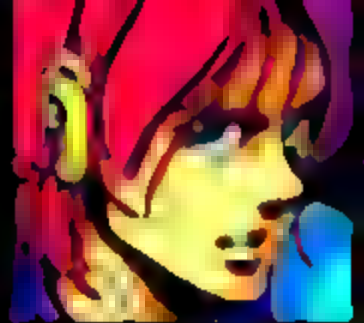
POJY「食糧からでもなく、他にもルナーを攻撃するよううな。そのせいで、モンスターに対して、必ずしもがらぬ結果がもたらされる——」

CONGLAND



「サングラス、サングラス、サングラス」
「サングラス、サングラス、サングラス」
「サングラス、サングラス、サングラス」
「サングラス、サングラス、サングラス」

PUSH SPACE KEY



POJY「カブをA組の電卓で計算してね」
世 田 「電卓のスイッチがどこにあるの」
POJY「電卓の電源ボタンを押してね」
世 田 「A組の電卓で計算してね」

PUSH SPACE KEY

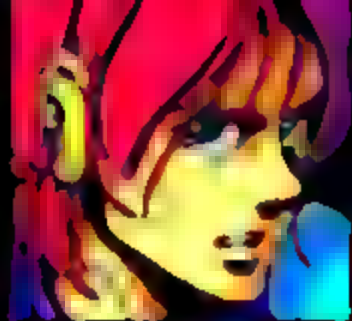


1445235-074579471

POY (POLYMER OXYGEN YIELD) IS A MEASURE OF THE OXYGEN YIELD OF A POLYMER. IT IS THE WEIGHT PERCENT OF OXYGEN YIELD OF A POLYMER. IT IS THE WEIGHT PERCENT OF OXYGEN YIELD OF A POLYMER.

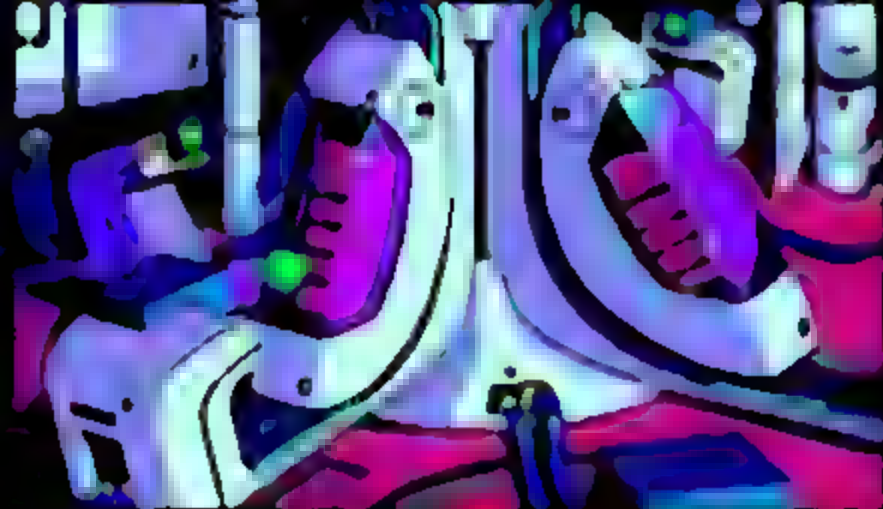
10729-8, SY-RTD2P-A1A, ONE-COIN
200)

PUSH SPACE KEY



1. 最初の登場
2. エピソードの登場
3. ミラコフの登場
4. 最初の登場
5. 田が空になった
6. 田が空になった

COMMAND

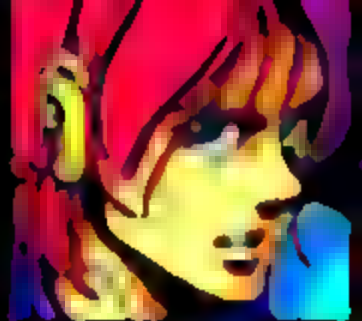


1. 登場
2. エグーダ
3. カーザン
4. ミラコフ
5. 元寇
6. マンスター
7. POJY

「お内緒で飲んでいいわエグーダのオセツが、お中
 さんとお中さんとお中さん」

POJY「オセツとお中さんとお中さんお中さん？」

COMMAND

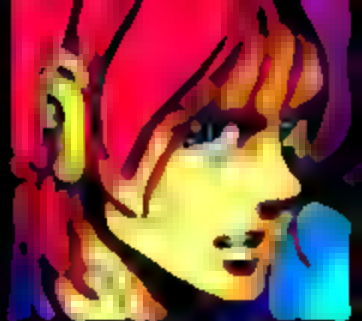


1. 環境
2. エネルギー
3. ガーデン
4. ミラコフ
5. 光電
6. サンスター
7. POJY

■ ■ 「そして、そのシンクロナイズド・スカットが、この世界で唯一」

POLY(ETHYLENE TEREPHTHALATE)

COMMAND

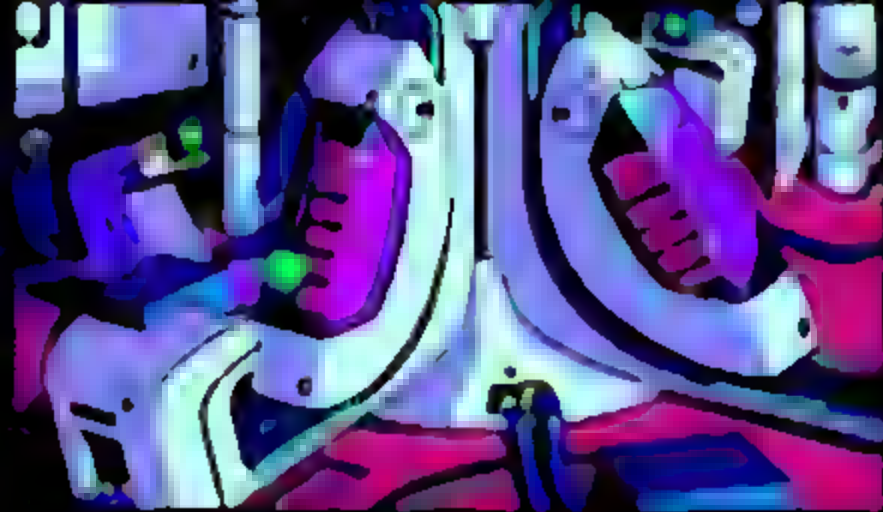


1. エリーヌの色気
2. 偽品
3. 高圧
4. 赤い血
5. 赤い血
6. 赤い血
7. 赤い血



「だ？」

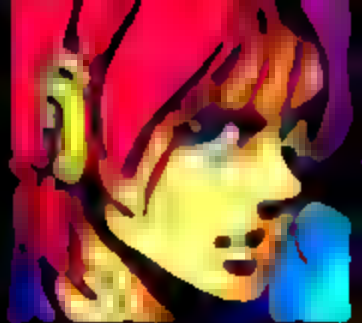
COMMAND



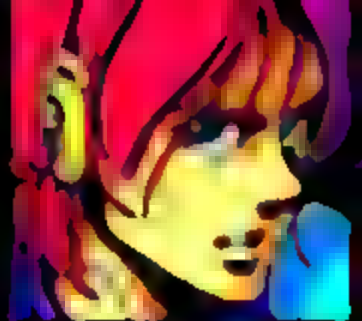
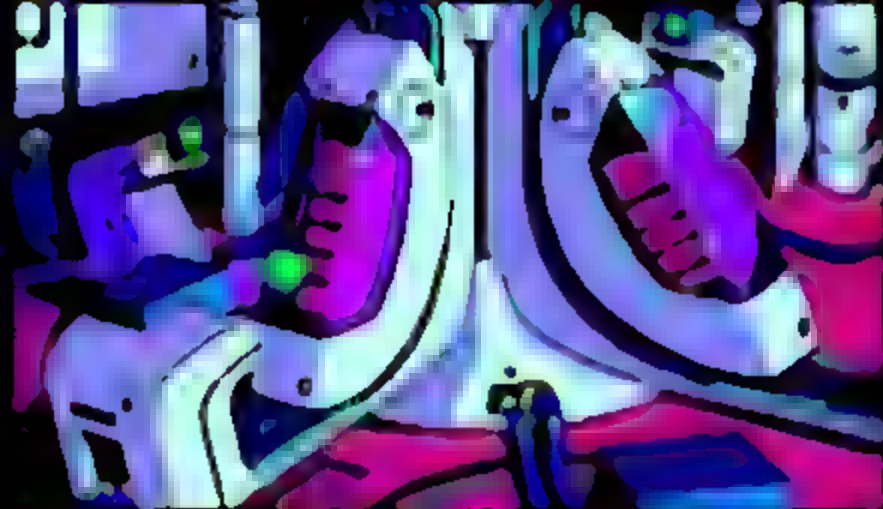
1. 敵
2. アイツ
3. 鉄パイプ
4. エストル
5. 海賊船
6. レーザー銃
7. 大黒
8. JOJO
9. レーザーロー

「そうか、おかしなやつ」
 JOJO「おかしなやつ、僕を助けてもらう？」

COMMAND

[illegible]

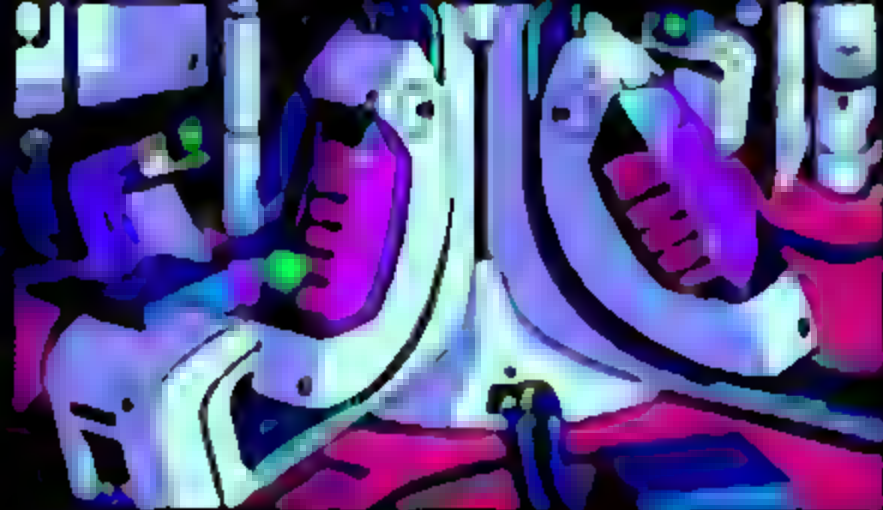
PUSH SPACE KEY



1. 逃げ出す
2. しゃがみ込む
3. しゃがみ込む
4. しゃがみ込む
5. しゃがみ込む

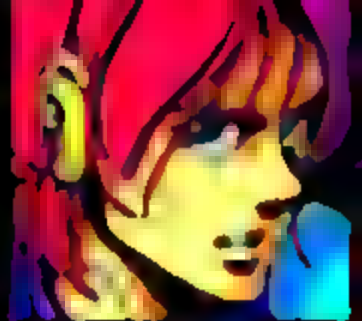
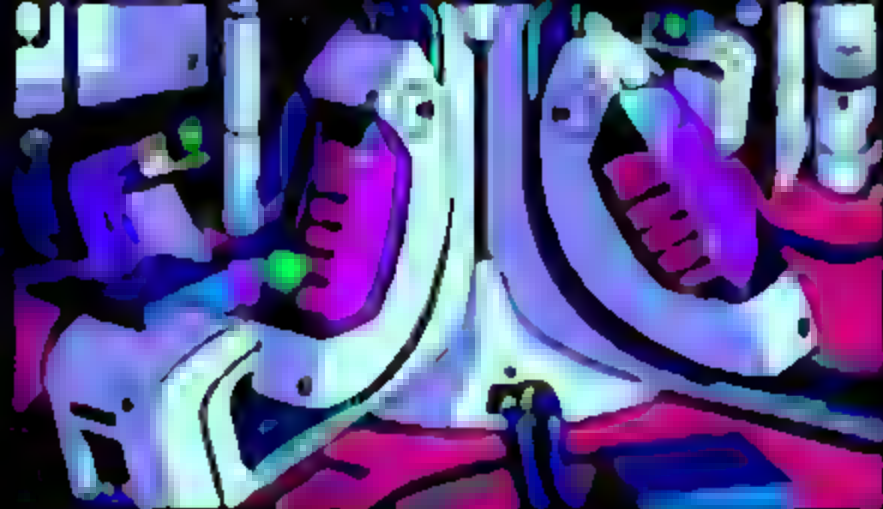
POJY「そうだね、人間にも「アタシがアタシ」って言うんだね
 「アタシ」って言うんだね——」
 ■ ■ 「よし、定めておくれ、アタシはアタシ」

COMMAND



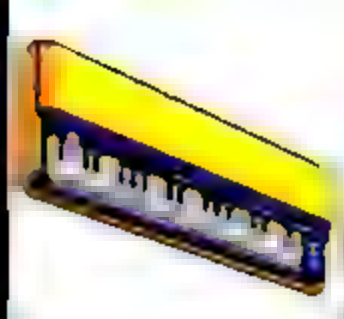
1. 00
2. 00
3. 00
4. 00
5. 00
6. レーザー銃
7. 00
8. 00
9. レーザー

COMMAND



1. 立ち止まる
2. しゃがみ込む
3. 走る
4. しゃがむ
5. しゃがみ込む

COMMAND



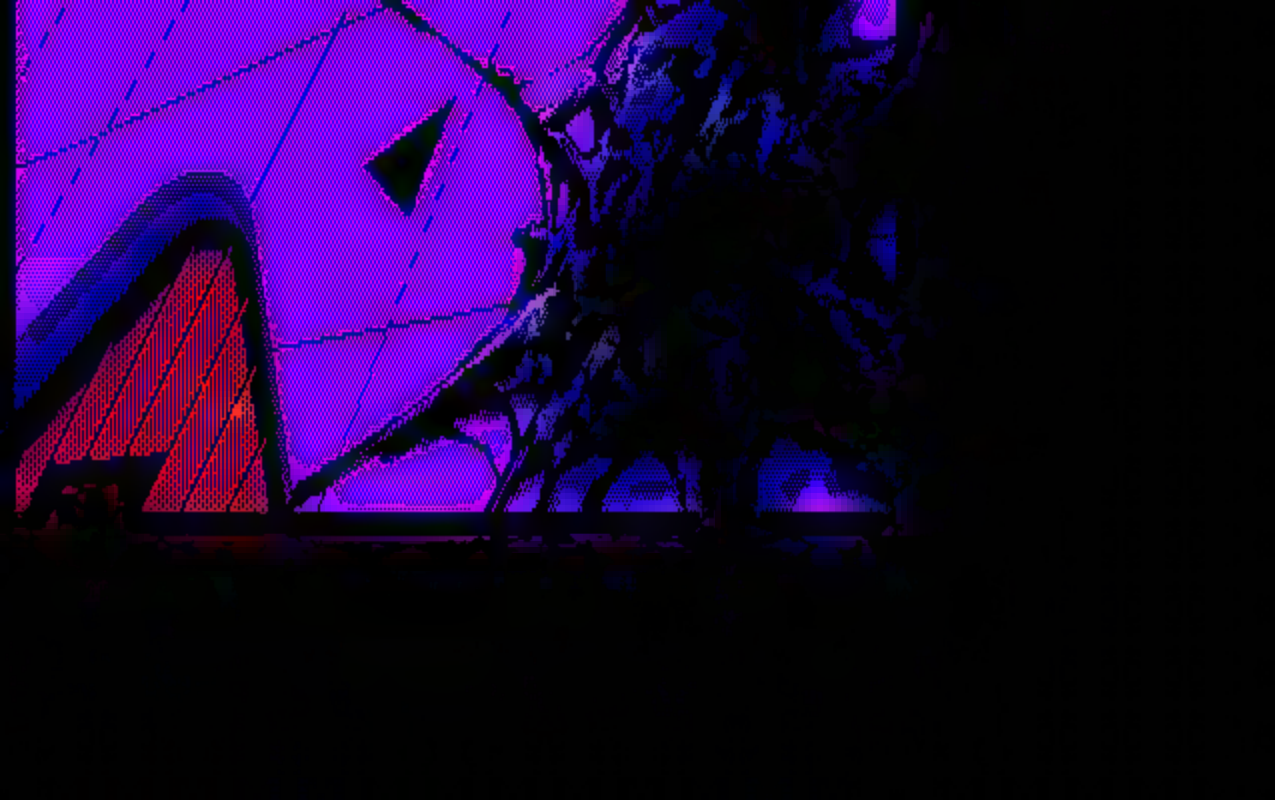
■ ■ 「いし、(いし)のレーザーコンボイ
 だ」

POY「いし、コンボイがここから来る」

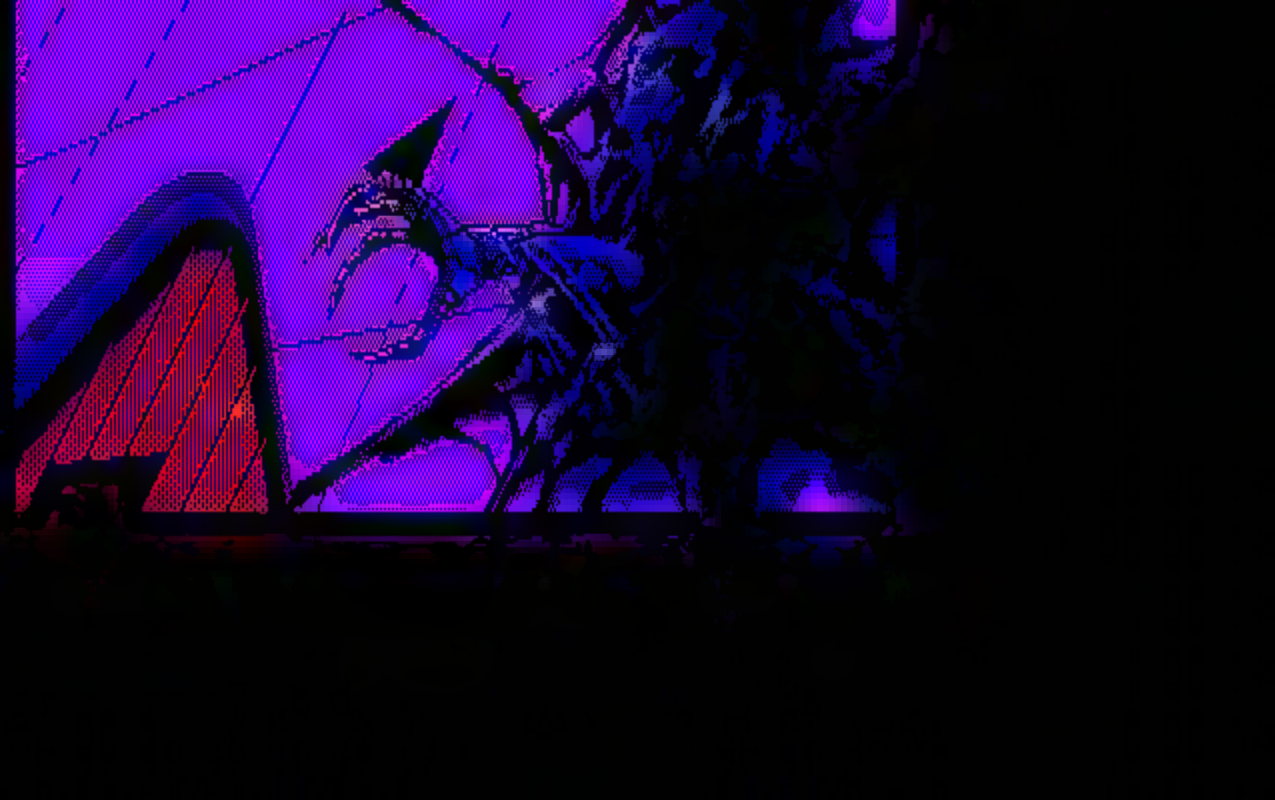
■ ■ 「いし、コンボイ」

POY「いし、コンボイ」

PUSH SPACE KEY





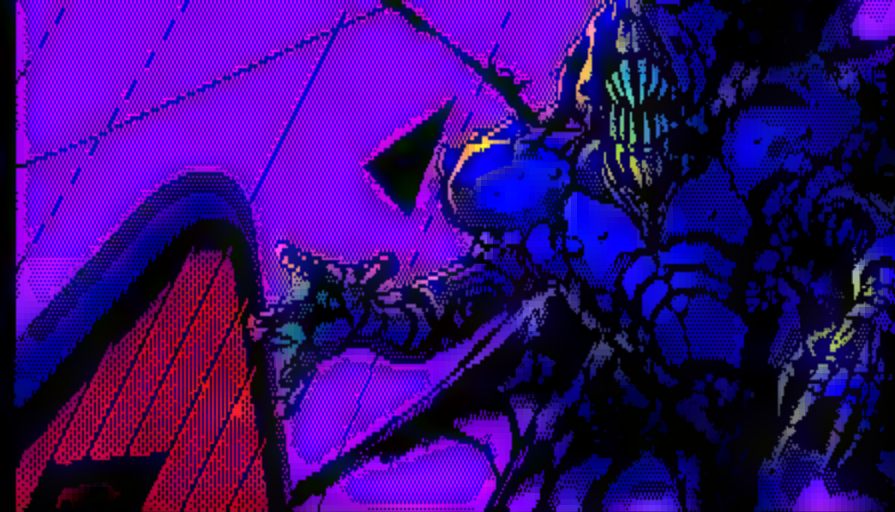








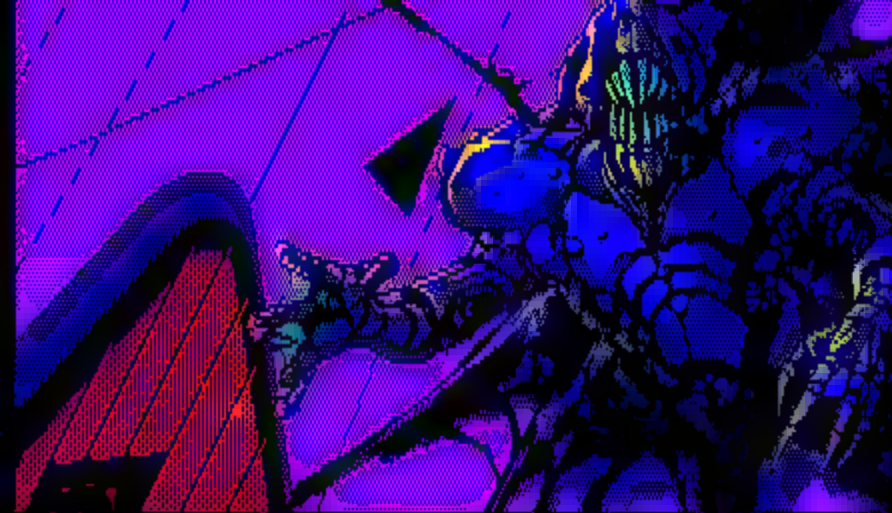




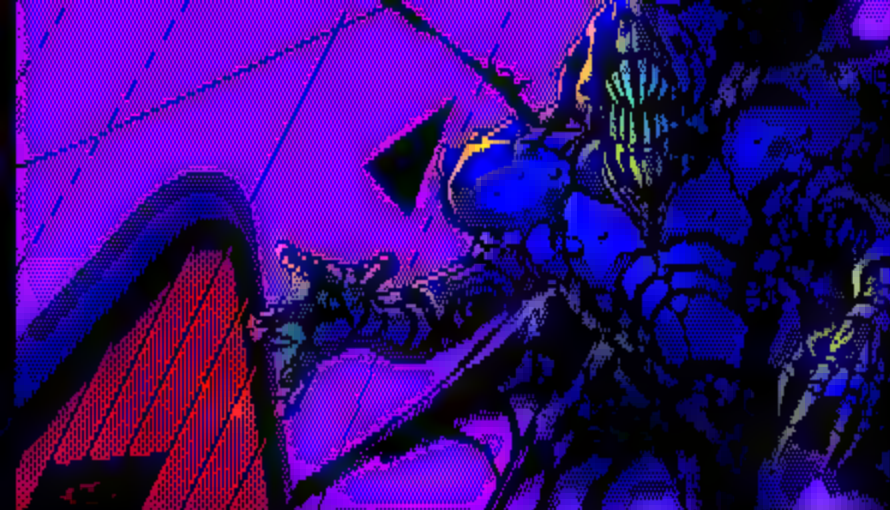
モンスター「さあ、ポータブル爆弾をわたせ」

1. 思い出す
2. 結びきだす
3. 結ぶ
4. ひく
5. 戦う

COMMAND :



1. 思い出す
2. おびきだす
3. おす
4. ひぐ
5. 戦う



FOJY「ケンシロウじゃあるまいし……」

「……」

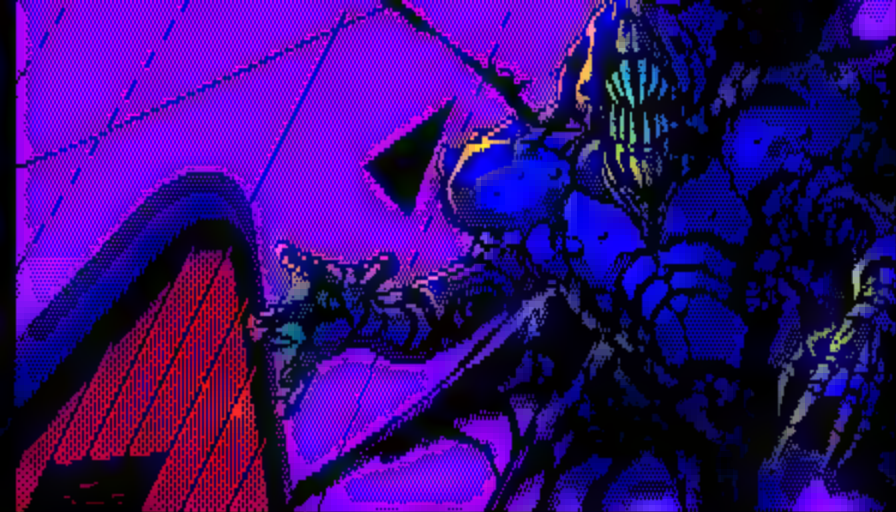
「……」

「……」

「……」

COMMAND

1. ナイフ
2. ナイフ
3. 鉄パイプ
4. ギョウキ
5. 冷線銃
6. レーザー銃
7. 火炎銃
8. FOJY
9. レーザーロケット



1. モンスター
2. レーザーロン

1. モンスター

2. レーザーロン

3. レーザーロン

4. レーザーロン

5. レーザーロン

6. レーザーロン

7. レーザーロン

8. レーザーロン

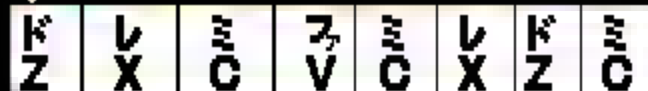
FOJY「そうだ、レーザーロンをひいたんだ。例のメロディを
ひいたんだ」

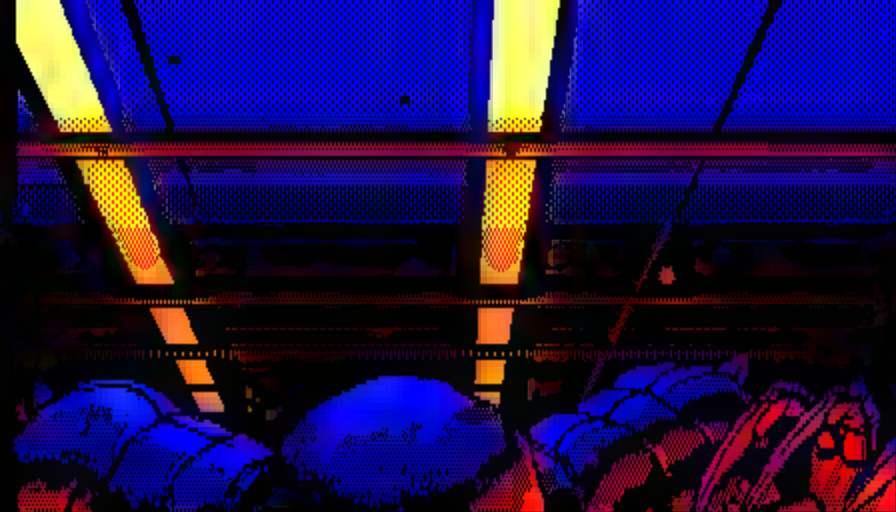


低いドならZのキー、しならXのキーのように、図示したキーを8回押す。同じキーを何回か押してもよい。とちゅうで（8回押す前に）やりなおす場合は、スペースキーを押す。

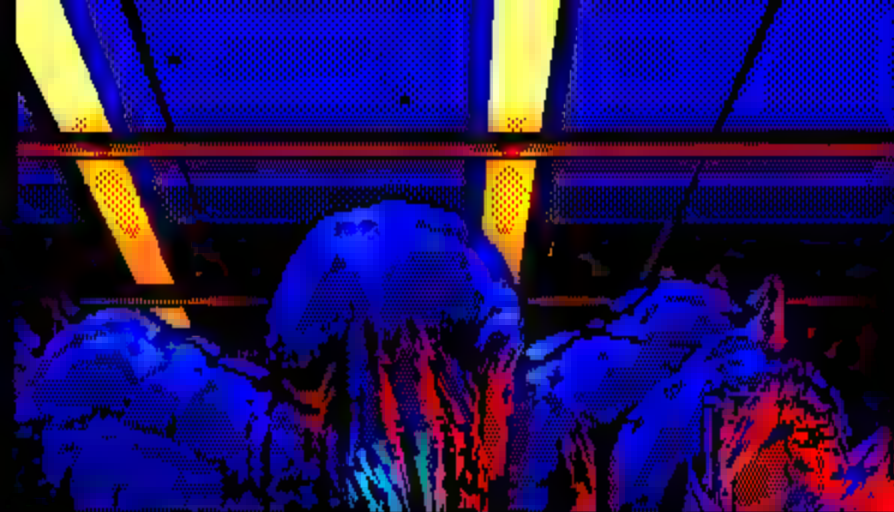


FOJY「そうだ、このメロディだ」





速雄 「モンスターのようすが変わっ



雄 雄 「モンスターのようすが変わったぞ」
FOJY 「やつは苦しんでる。このメロディの効



迷 離 「モンスターのようすが変わったぞ」

FOJY「やつは苦しんでる。このメロディの効果だ……危ないー」

モンスター「ききまー、だましたなー」



達 雄 「モンスターのようすが変わったぞ」

FOJY 「やつは苦しんでる。このメロディの効果だ……危ないー」

モンスター 「ききまー、だましたなー」



速雄「モンスターのようすが変わったぞ」

FOJY「やつは苦しんでる。このメロディの効果だ……危ないー」

モンスター「きさまー、だましたなー」

FOJY「速雄、いまのメロディをどんどんひくんだ」

速雄「はい」



迷 迷 「FOJY、やつは何か言ってるか」

FOJY「うめき声の中からかすかに聞こえる……おや？ 例のチャンポンことばじ
ゃない。ボルトガル語だ」

迷 迷 「何語でも、どんどん通訳しろ」

迷 迷 「……」
PUSH SPACE KEY



FOJY「ええと……『きすがー《空身モンスター》ゲームできたえた成果が出たね
』だって。空だな、モンスターのセリフにしては」

遠 雄「まてよ。ボルトガル語って言ったな。ひょっとしたら……」

FOJY「バルカスのセリフだ」

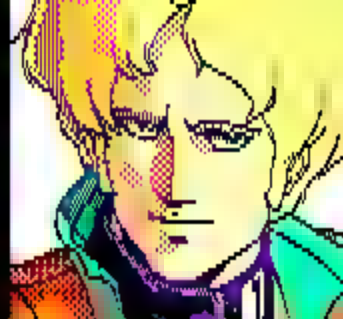
PUSH SPACE KEY



達 達 「さてよ。ボルトガル語って三つたな。ひょっとしたら……」
FOJY「バルカスのセリフだ」

達 達 「モンスターが個人の知識や経験まで吸い取ったから、やられた人間の意識
が残ってるんだ」

PUSH SPACE KEY



FOJY「そうらしい。こんどはイタリア語、ペリーニだ。『ぼくたち6人の意識は
メロディ、こいつに支配されていた。でも今は解放された。きみがひいたメロディの
おかげだ』」

速 達 「意識だけでも生き返れないんですか？」

PUSH SPACE KEY



FOJY「ドイツ語だ……『速達、ハイラーだ。残念だが、残っている意識もモンスターとともにほろぶ。いや、ほろぼさねばならない。でも、天体の研究者として、宇宙で死ぬのなら悔いはない……』」

PUSH SPACE KEY



FOJY「つぎは中国語。『私たちの意識が力を合わせれば、モンスターを逆支配で
いこう。さあ、さよう。こいつを宇宙空間へ送り出すわ』」

PUSH SPACE KEY



エリーヌ「速雄」

速雄「どうしたんだ。モンスターの分身でも出たのかい？」

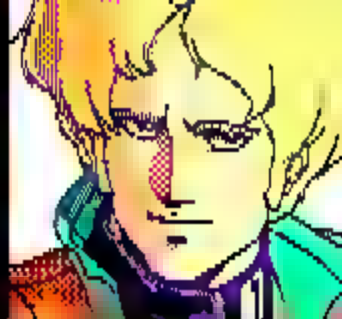
エリーヌ「ううん、あなたが心配で見にきたの。持ち場を離れてごめんなさい」

PUSH SPACE KEY



FOJY「シーッ。英語がきこえる。『だいじょうぶだ。ぼくが調べた。今。こいつ
の体はぜんぶここにある。分身はいない。だけど。こいつを研究する時間
がないのが心残りだ』」
エリーヌ「カーズンさんは」

PUSH SPACE KEY



FOJY「またベリーニ……」「重要なことがわかった。こいつは、鏡に映ったわれわれ自身だ。こいつの性格などは、われわれ人類のものだ。こいつは運送情報とともに、その種族の思考・行動パターンも、取り入れる」

遠 藤 「では……」

PUSH SPACE KEY



12

アリス

FOJY「『われわれが平和を好む種族なら、をいつもそうなただろ。だが、
われわれは殺し合い憎み合う種族だった』」

エリーヌ「しかし、あなたがた6人は、みんな平和を愛していたでしょう」

PUSH SPACE KEY



FOJY「ハイラーの声だ。『個人としてはね。だが。遺伝情報は種族のものだ。人類の歴史が反映されるのだ』」

エリーヌ「ああ」

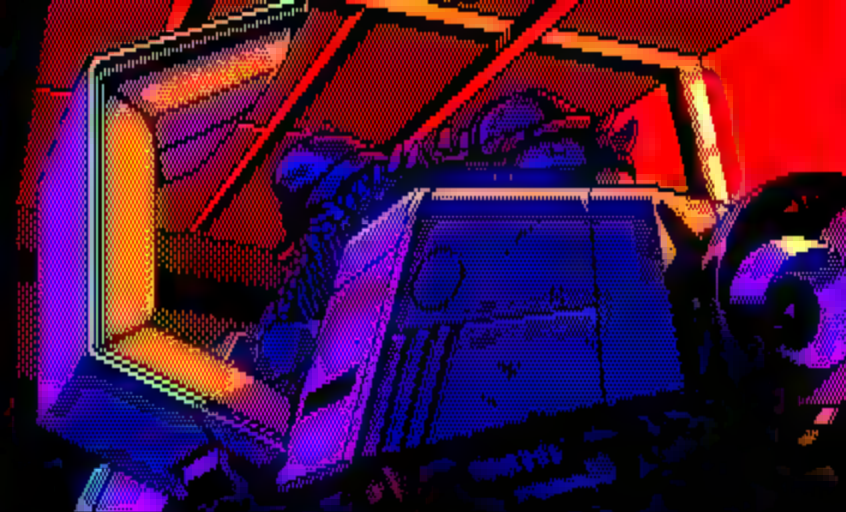
速雄「ロシア語はきこえないか」

PUSH SPACE KEY



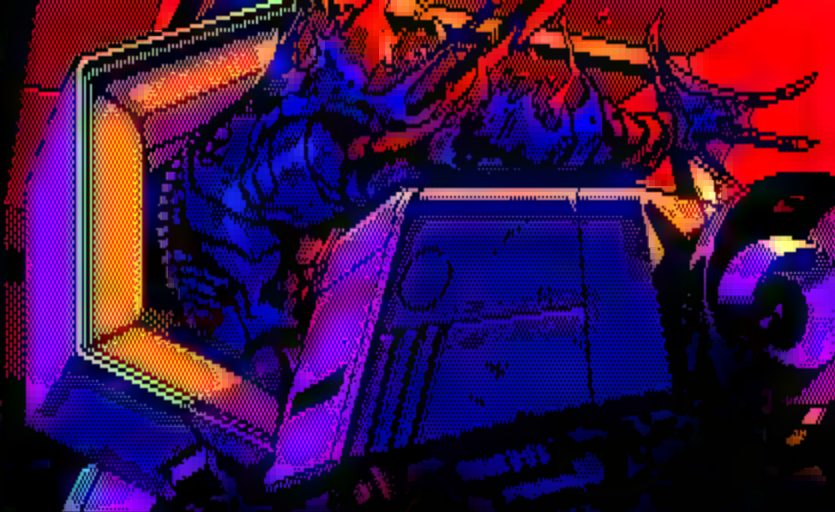
FOJY「きこえてきた。『私はミラコフだ。メロディの威力があるうちに【いなづま】に乗りこみ、宇宙の果てまで、おわりのない飛行をする。きみたちは早くエアロックから出たまえ』」

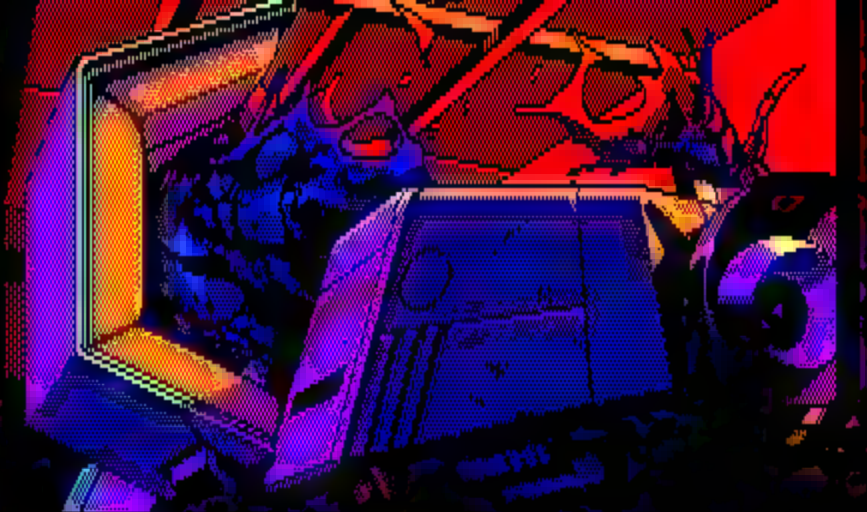
PUSH SPACE KEY

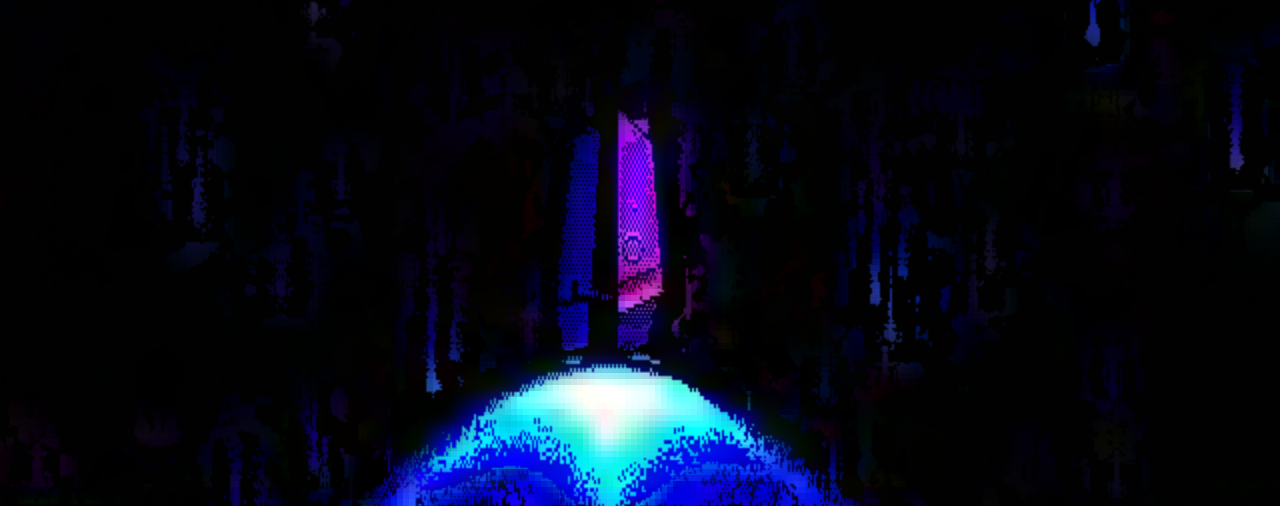












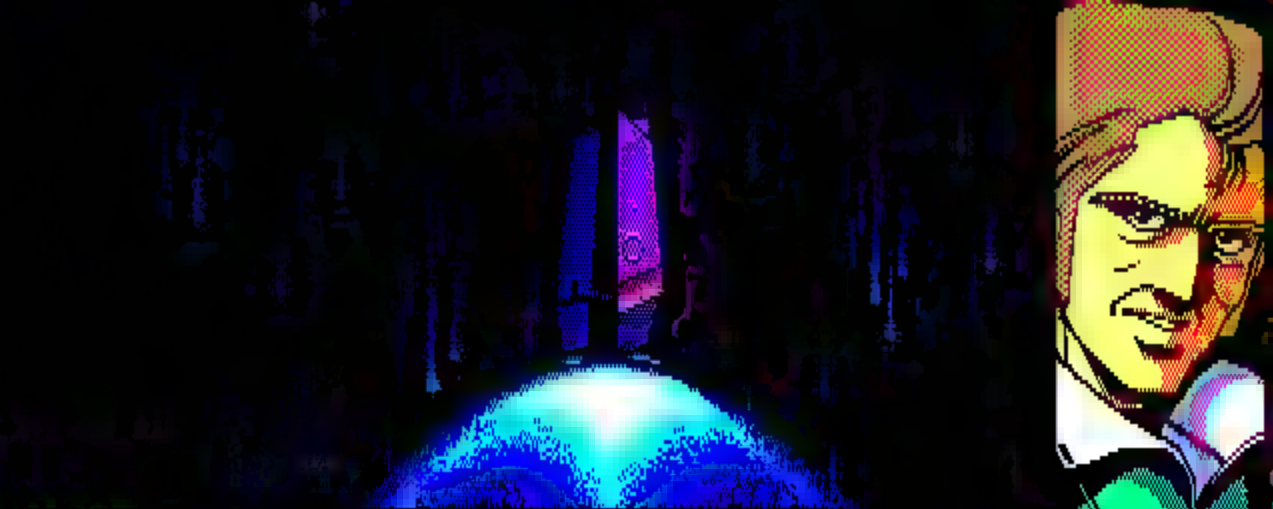
FOJY「モンスターの……いや、5人の声はもうきこえない」

エリーヌ「いいえ。私にはきこえるわ」

FOJY「デレバシーっていうやつかな。それなら、機柵のぼくには無理だ」

速 雄「ぼくにも、きこえるような気がする」

PUSH SPACE KEY

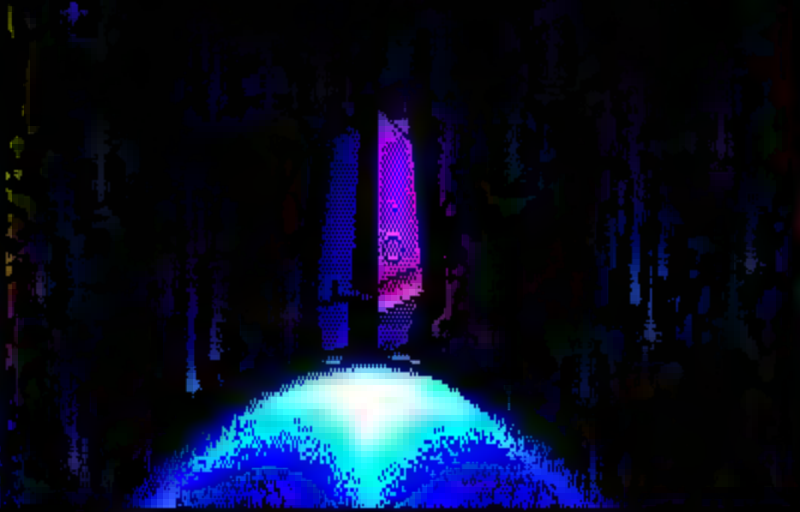
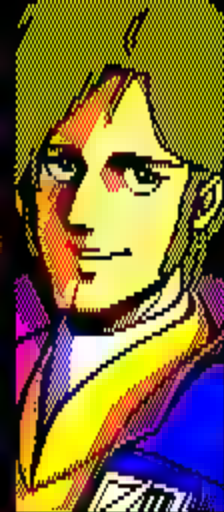


エリーヌ「いいえ。私には聞こえるわ」

FOJY「デレバシーっていうやつかな。それなら、機柵のぼくには無理だ」

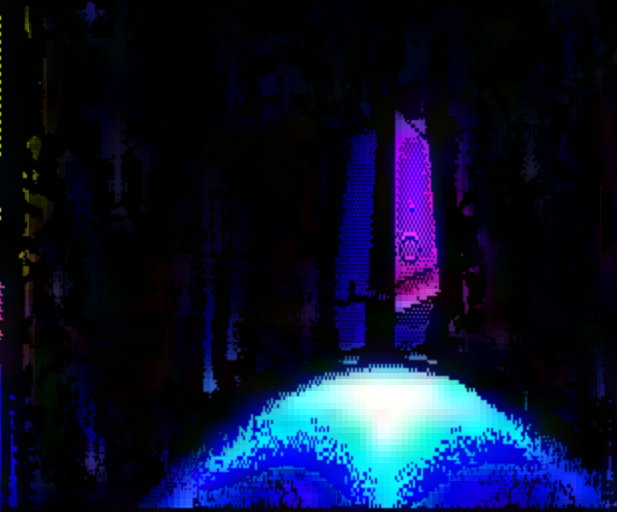
速雄「ぼくにも、聞こえるような気がする」

ハイラー「エリーヌ、わが1号機からきみだけでも助かってよかった。さらばだ」



FOJY「テレビシーっていうやつかな。それなら、機棚のぼくには無理だ」
速雄「ぼくにも、きこえるような気がする」

ハイラー「エリーヌ、わが1号機からきみだけでも助かってよかった。さらばだ」
カーゾン「JESUSよ、そして地球よ、永遠なれ。さようなら」



速雄「ぼくにも、きこえるような気がする」

ハイラー「エリーヌ、わが1号機からきみだけでも助かってよかった。さらばだ」

カーゾン「JESUSよ、そして地球よ、永遠なれ。さようなら」

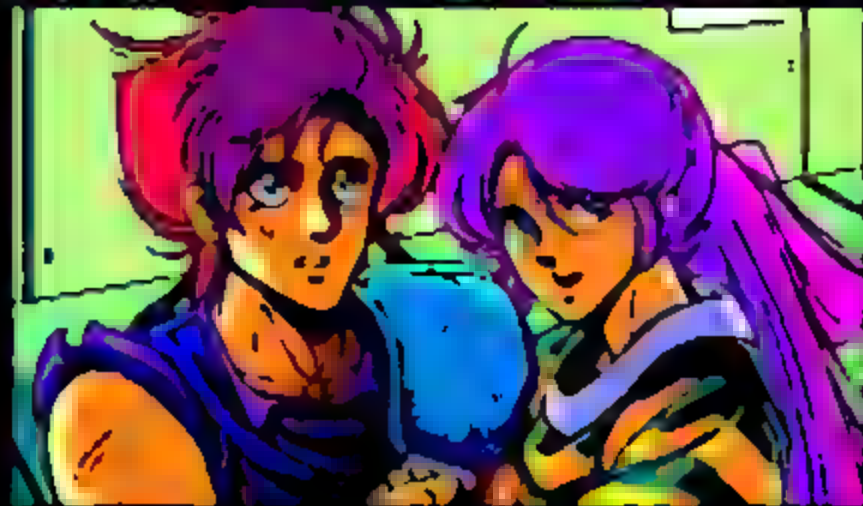
バルカス「もう一個、ハンバーガー食いたかったぜ。あばよ」

PUSH SPACE KEY



ハイラー「エリーヌ、わが1号機からきみだけでも助かってよかった。さちばだ」
カーゾン「JESUSよ、そして地球よ、永遠なれ。さようなら」
バルカス「もう一個、ハンバーガー食いたかったぜ。あばよ」
メラコフ「ハレー最接近までに、やつらを迎え討つ準備をするんだ。あとは頼むぞ」

[illegible]

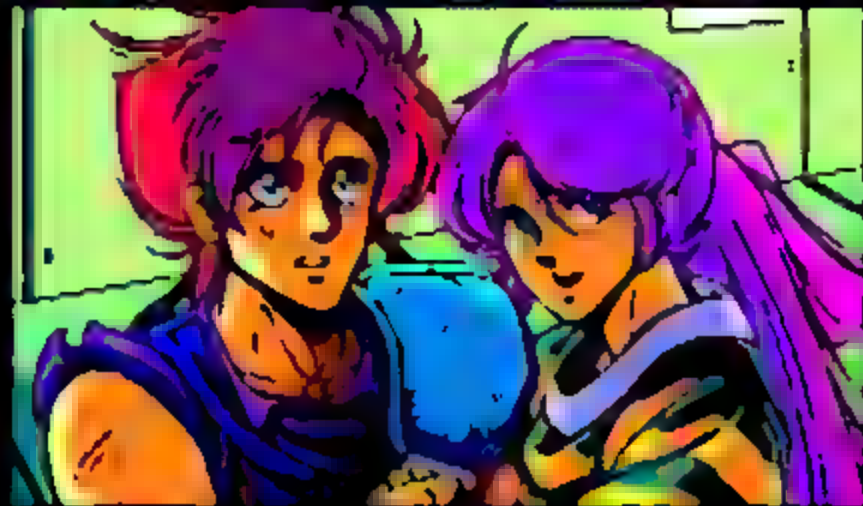


1. エリーヌと話す
2. FOLLYと話す

エリーヌ「モンスターも、人間も……みんな死んでしまったわ
ね」

道 義「ああ……」

COMMAND



1. エリーヌと話す
2. FOJYと話す

3. 雑談

4. 雑談

5. 雑談

6. 雑談

7. 雑談

8. 雑談

9. 雑談

10. 雑談

11. 雑談

12. 雑談

13. 雑談

14. 雑談

15. 雑談

16. 雑談

17. 雑談

18. 雑談

19. 雑談

20. 雑談

21. 雑談

22. 雑談

23. 雑談

24. 雑談

25. 雑談

26. 雑談

27. 雑談

28. 雑談

29. 雑談

30. 雑談

31. 雑談

32. 雑談

33. 雑談

34. 雑談

35. 雑談

36. 雑談

37. 雑談

38. 雑談

39. 雑談

40. 雑談

41. 雑談

42. 雑談

43. 雑談

44. 雑談

45. 雑談

46. 雑談

47. 雑談

48. 雑談

49. 雑談

50. 雑談

51. 雑談

52. 雑談

53. 雑談

54. 雑談

55. 雑談

56. 雑談

57. 雑談

58. 雑談

59. 雑談

60. 雑談

61. 雑談

62. 雑談

63. 雑談

64. 雑談

65. 雑談

66. 雑談

67. 雑談

68. 雑談

69. 雑談

70. 雑談

71. 雑談

72. 雑談

73. 雑談

74. 雑談

75. 雑談

76. 雑談

77. 雑談

78. 雑談

79. 雑談

80. 雑談

81. 雑談

82. 雑談

83. 雑談

84. 雑談

85. 雑談

86. 雑談

87. 雑談

88. 雑談

89. 雑談

90. 雑談

91. 雑談

92. 雑談

93. 雑談

94. 雑談

95. 雑談

96. 雑談

97. 雑談

98. 雑談

99. 雑談

100. 雑談

101. 雑談

102. 雑談

103. 雑談

104. 雑談

105. 雑談

106. 雑談

107. 雑談

108. 雑談

109. 雑談

110. 雑談

111. 雑談

112. 雑談

113. 雑談

114. 雑談

115. 雑談

116. 雑談

117. 雑談

118. 雑談

119. 雑談

120. 雑談

121. 雑談

122. 雑談

123. 雑談

124. 雑談

125. 雑談

126. 雑談

127. 雑談

128. 雑談

129. 雑談

130. 雑談

131. 雑談

132. 雑談

133. 雑談

134. 雑談

135. 雑談

136. 雑談

137. 雑談

138. 雑談

139. 雑談

140. 雑談

141. 雑談

142. 雑談

143. 雑談

144. 雑談

145. 雑談

146. 雑談

147. 雑談

148. 雑談

149. 雑談

150. 雑談

151. 雑談

152. 雑談

153. 雑談

154. 雑談

155. 雑談

156. 雑談

157. 雑談

158. 雑談

159. 雑談

160. 雑談

161. 雑談

162. 雑談

163. 雑談

164. 雑談

165. 雑談

166. 雑談

167. 雑談

168. 雑談

169. 雑談

170. 雑談

171. 雑談

172. 雑談

173. 雑談

174. 雑談

175. 雑談

176. 雑談

177. 雑談

178. 雑談

179. 雑談

180. 雑談

181. 雑談

182. 雑談

183. 雑談

184. 雑談

185. 雑談

186. 雑談

187. 雑談

188. 雑談

189. 雑談

190. 雑談

191. 雑談

192. 雑談

193. 雑談

194. 雑談

195. 雑談

196. 雑談

197. 雑談

198. 雑談

199. 雑談

200. 雑談

201. 雑談

202. 雑談

203. 雑談

204. 雑談

205. 雑談

206. 雑談

207. 雑談

208. 雑談

209. 雑談

210. 雑談

211. 雑談

212. 雑談

213. 雑談

214. 雑談

215. 雑談

216. 雑談

217. 雑談

218. 雑談

219. 雑談

220. 雑談

221. 雑談

222. 雑談

223. 雑談

224. 雑談

225. 雑談

226. 雑談

227. 雑談

228. 雑談

229. 雑談

230. 雑談

231. 雑談

232. 雑談

233. 雑談

234. 雑談

235. 雑談

236. 雑談

237. 雑談

238. 雑談

239. 雑談

240. 雑談

241. 雑談

242. 雑談

243. 雑談

244. 雑談

245. 雑談

246. 雑談

247. 雑談

248. 雑談

249. 雑談

250. 雑談

251. 雑談

252. 雑談

253. 雑談

254. 雑談

255. 雑談

256. 雑談

257. 雑談

258. 雑談

259. 雑談

260. 雑談

261. 雑談

262. 雑談

263. 雑談

264. 雑談

265. 雑談

266. 雑談

267. 雑談

268. 雑談

269. 雑談

270. 雑談

271. 雑談

272. 雑談

273. 雑談

274. 雑談

275. 雑談

276. 雑談

277. 雑談

278. 雑談

279. 雑談

280. 雑談

281. 雑談

282. 雑談

283. 雑談

284. 雑談

285. 雑談

286. 雑談

287. 雑談

288. 雑談

289. 雑談

290. 雑談

291. 雑



だが」

FOJY「何だい？」

速 達「おまえの名前には意味があるのかい」

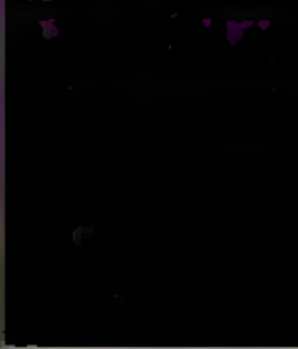
FOJY「ふふふ。アルファベット26文字を並べて、にほん
であるよ」

PUSH SPACE KEY

1. エリーヌと話す
2. FOJYと話す



1. エリーヌと話す
2. FOJYと話す



雄 「？」
FOJY「「」つずつ前の文字を見るんだ」
雄 雄 「Fの前はE、Oの前はN——あ、そうか」
FOJY「あ」と前に気がついた、カンのいい人があるかも
しれない」

PUSH SPACE KEY

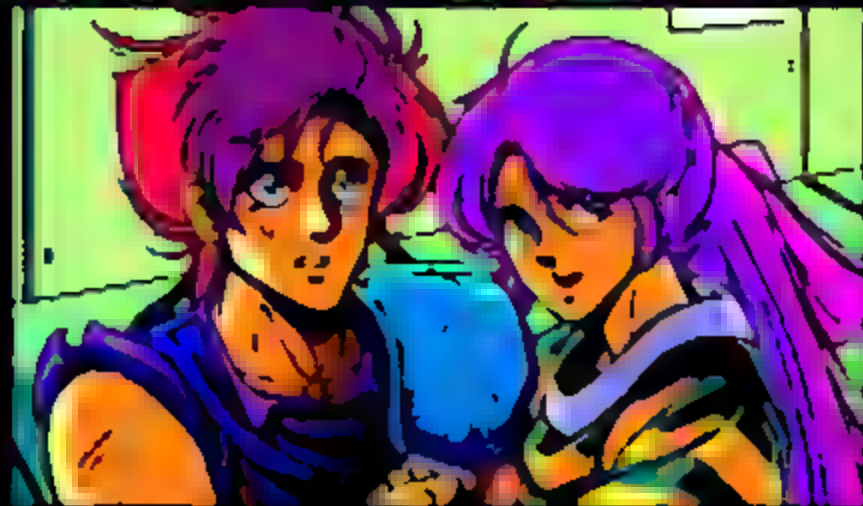


エリーザ「エリーザ……主人だけになってしまった」

エリーザ「ええ、そんなに、もう会えないのか」

エリーザ「うん。でも嬉しいという気持ちはいいよ。主人の死をむねにしたいためにも、ハレーが同時に来るまでにはいろいろ準備したいと……」

PUSH SPACE KEY



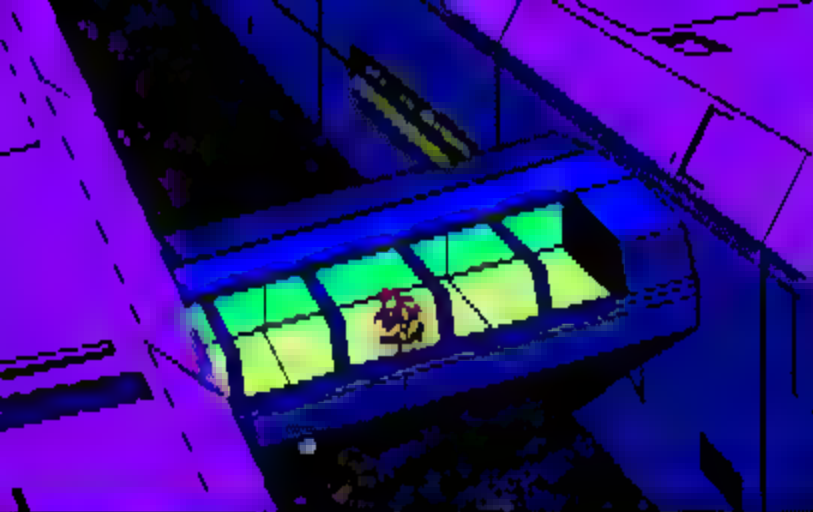
エリス「でっだうね」

FOJY「おい、エリス」

エリス「FOJY、これからしくなる。しばらく黙っていてくれ」

FOJY「わかった、わかった」

PUSH SPACE KEY



エリーヌ「ねえ……任務にもどる前、あと1分だけ、こうしていてもいい？」
遠 雄「うん、いいよ。司令官も、死んだら人も、それぐらいは許してくれるだろ
……さう」
エリーヌ「重ならないで。みんなのことを思い出すと、また悲しくなるわ。1分間、
静かに、このままで……」

PUSH SPACE KEY

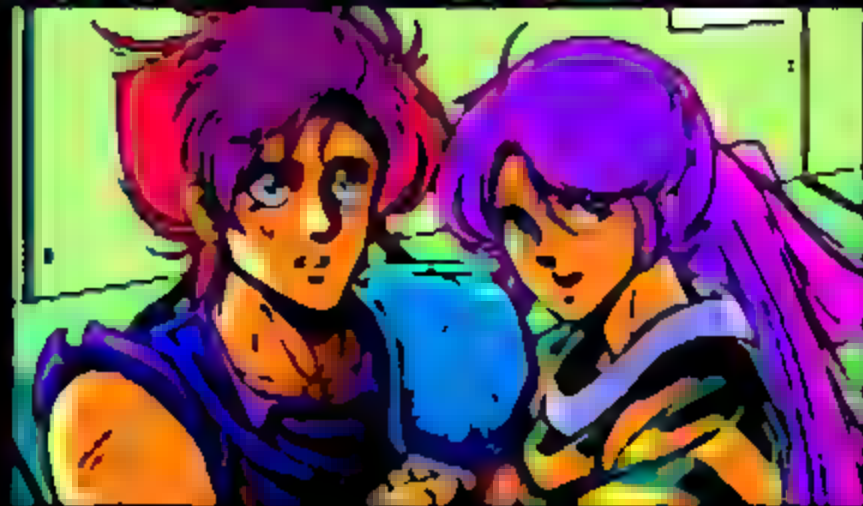


エリーザ「エリーザ……主人だけになってしまった」

エリーザ「ええ、そんなに、もう会えないのか」

エリーザ「うん。でも嬉しい思い出は多いよ。主人の死をむねにしたいためにも
ハレーが帰郷に来るまでにはいろいろ準備したいと――」

PUSH SPACE KEY



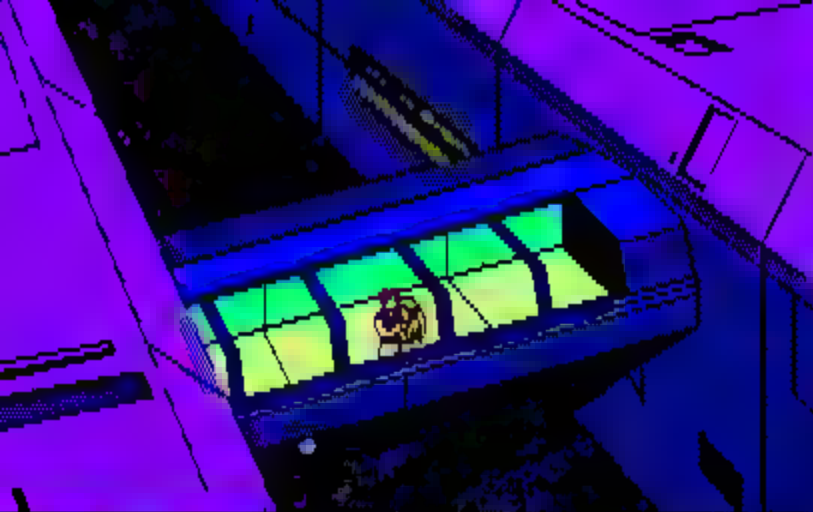
エリス「でっけえ」

FOJY「おい、エリス」

エリス「FOJY、これからしくなる。しばらく黙っていてくれ」

FOJY「わかった、わかった」

PUSH SPACE KEY

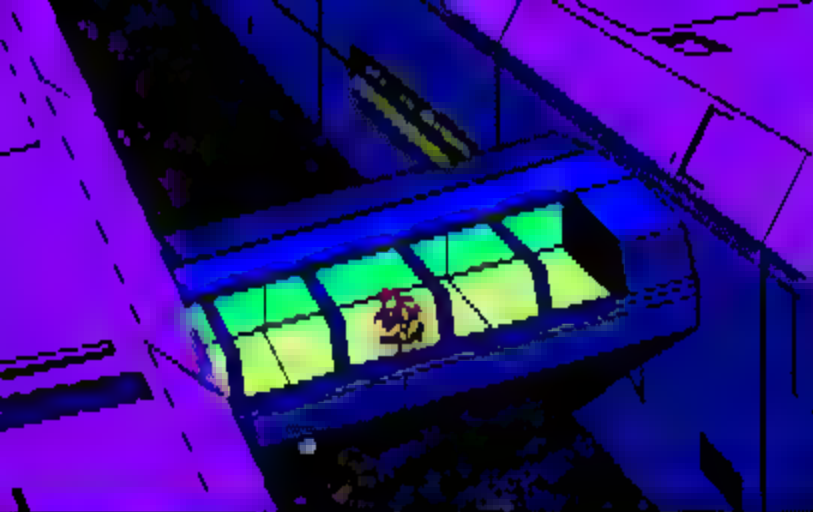


遠 藤 「うるさいのを黙らせた」

エリーヌ 「ねえ……任務にもどる前、あと1分だけ、こうしていてもいい？」

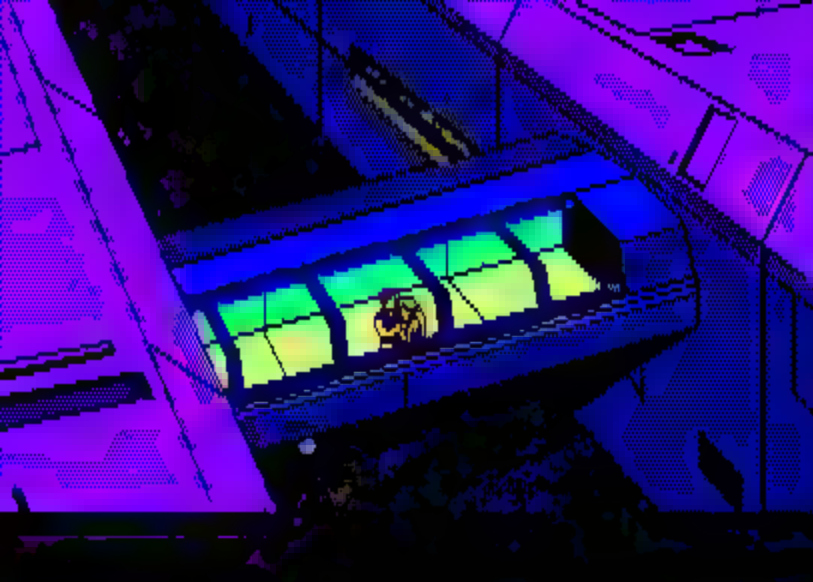
遠 藤 「うん、いいよ。司令官も、死んだら人も、それぐらいは許してくれるだろ」

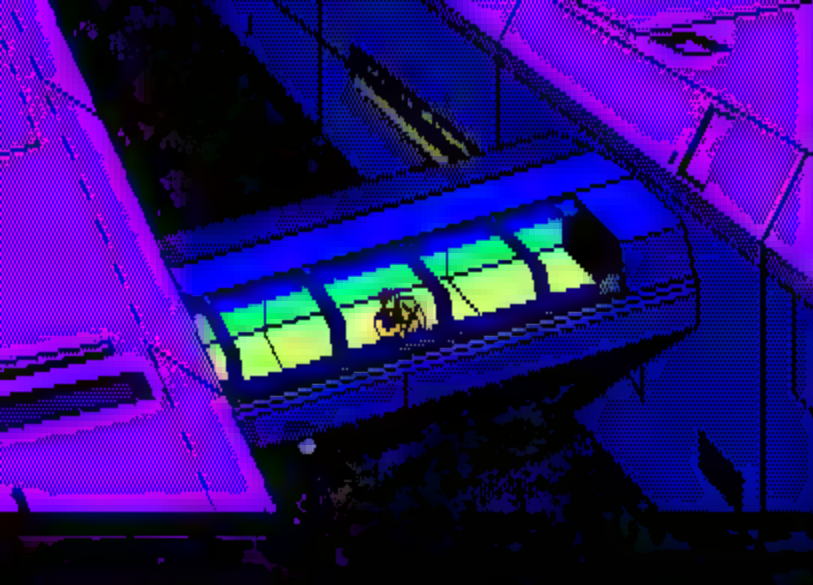
エリーヌ 「言わないで。みんなのことを思い出すと、また悲しくなるわ。1分間、

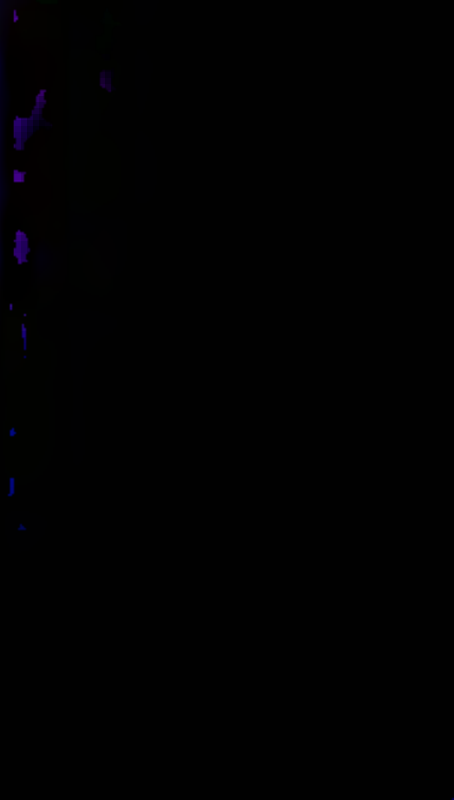
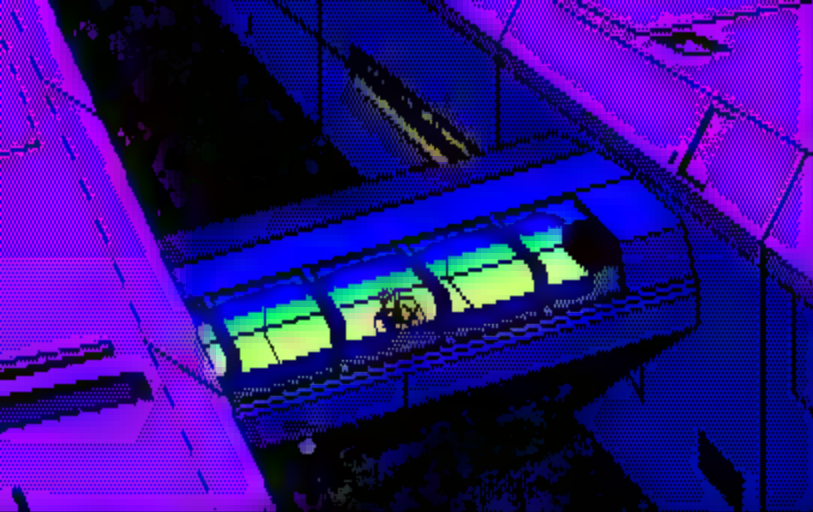


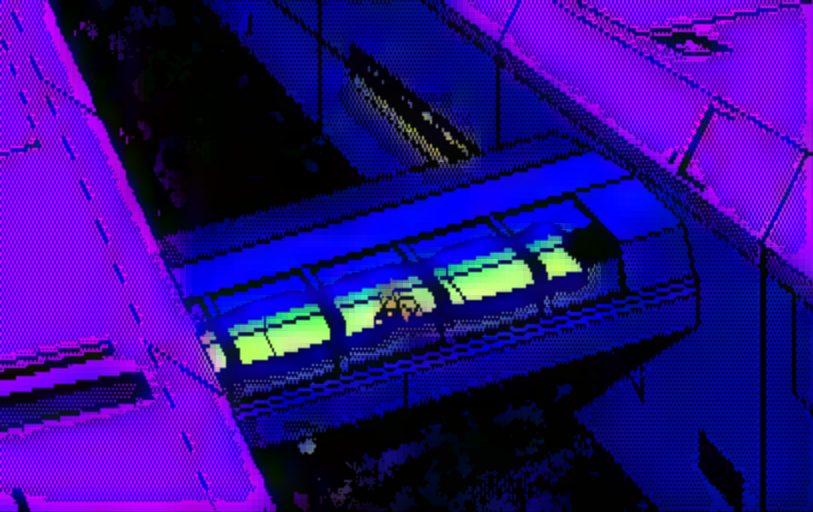
エリーヌ「ねえ……任務にもどる前、あと1分だけ、こうしていてもいい？」
遠 雄「うん、いいよ。司令官も、死んだら人も、それぐらいは許してくれるだろ
……さう」
エリーヌ「重ならないで。みんなのことを思い出すと、また悲しくなるわ。1分間、
……静かに、このままで……」

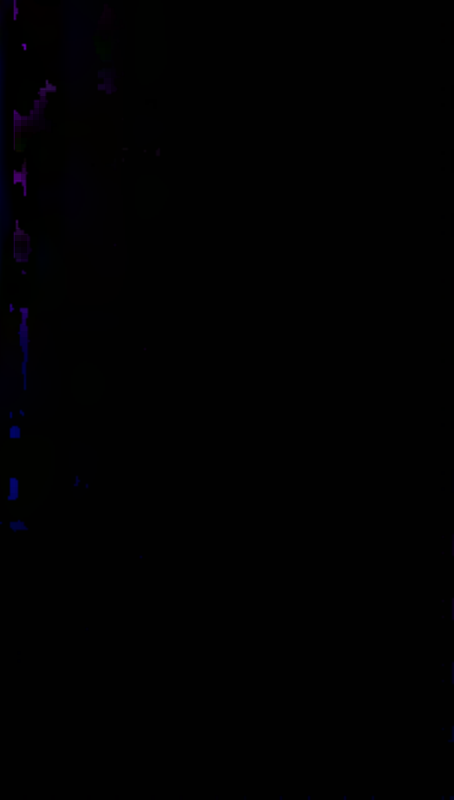
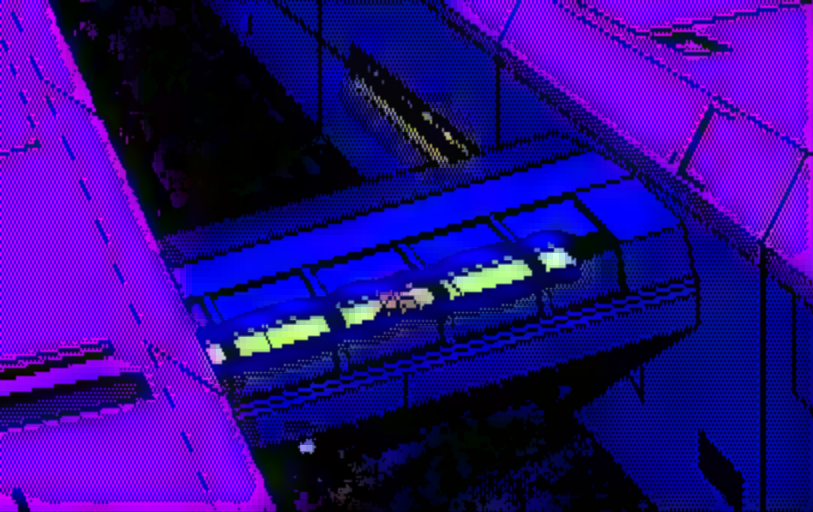
PUSH SPACE KEY

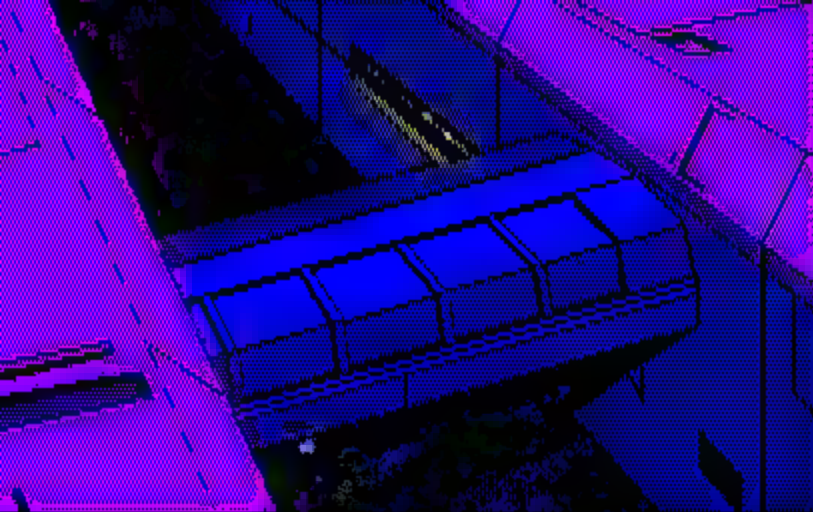












150



FOJYのひとりごと

「しばらく充電してないので、そろそろぼくのエネルギーがなくなる。エネルギーがなくなると、ぼくの記憶の一部も消える。その前に注意してやろうと思ったのに、速雄のやつ、きこうとしない。」

ミラコフの意識が最後に言ったことを、あの2人は覚えているかな。『メロディの威力があるうちに』と警告していたのを。」

モンスターは、あのメロディに対しても免疫ができるかもしれない。人間が、今回の最接近はあのメロディで切りぬけたとしても、2137年は「mmmm」

THE END



1. ミラコフ
2. カーズン
3. エリーヌ

カースン「いずれにせよ、海王星以外の武器はヤブヘビに奪
 取しようだ。しかし、海王星が【コメット】をも持って
 きたのをふくめて2丁か」

ミラコフ「よし、2人ずつ二丁に分かれ、海王星を1丁ずつ持
 ち、なんとかしよう。海王星、お前はだれと戦う？」

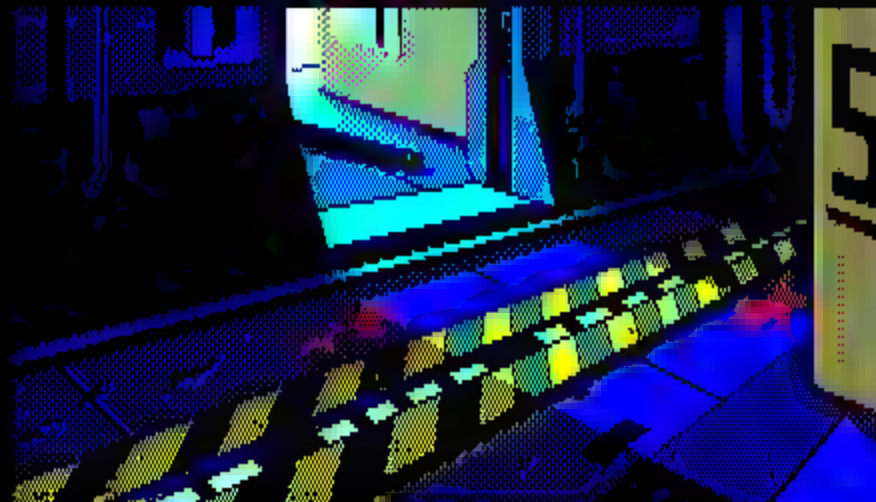


1. 移動する
2. 見る
3. しゃべり
4. 隠れかけ
5. その他

「異変ありきせんか」

「うん、もうすぐして用かぬからもうせんが——
ももも風をつぎる」

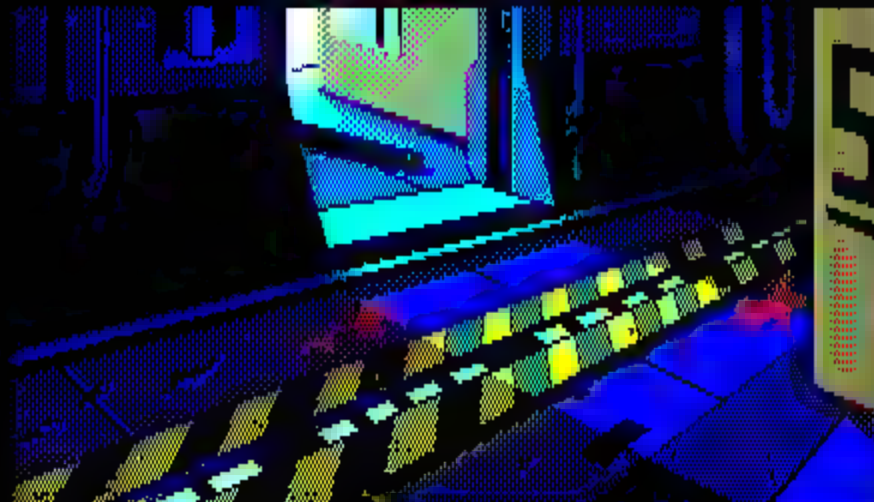
COMMAND



トランシーバー『こちらミラコフ、速雄こっちに出たぞ。援助
に来てくれ……ウワァー』

速雄『こちら速雄。ミラコフさん、どの部屋にいるんです
か』

PUSH SPACE KEY



1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他

速雄 「こちら速雄。ミラコフさん。どの部屋にいるんですか」

トランシーバー『……』

速雄 「応答ない。早く助けにいかなくちゃ」

COMMAND



カーゾン「キャプテン、どうしました」
ミラコフ「モンスターが出た。冷凍銃があまり効かなくなって
いる。きみたちの気配で逃げ出したようだ」
エリーヌ「速攻、こわかったわ」

PUSH SPACE KEY



エリーヌ「速達、こわかったわ」

速達「オイオイ、こんなところで抱きつくなよ」

カーゾン「ヤレヤレお熱いことで。それじゃ今度は、ぼくは
キャプテンと組んでまわることにするよ」

PUSH SPACE KEY

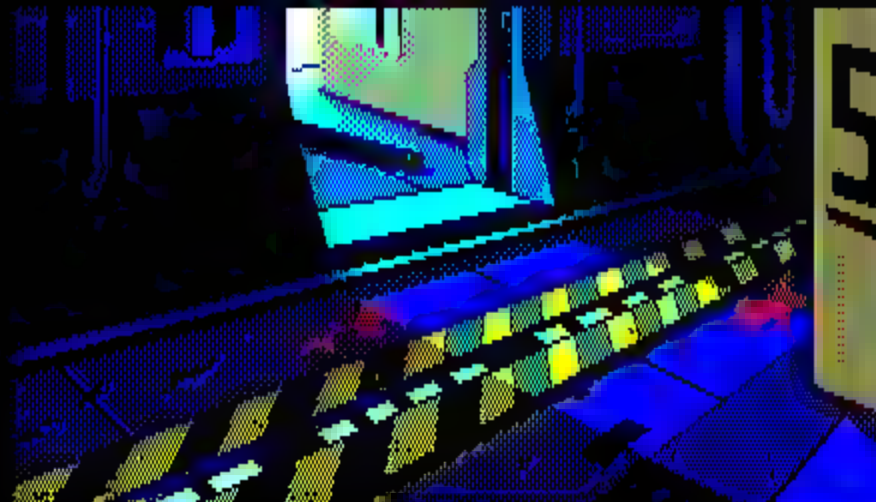


雄 二 「異常ありませんか」

ミラコフ 「うん、もうすこしで何かわかりそうなんだが……そ
うも早くも気づける」

1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 驚しかける
5. その他

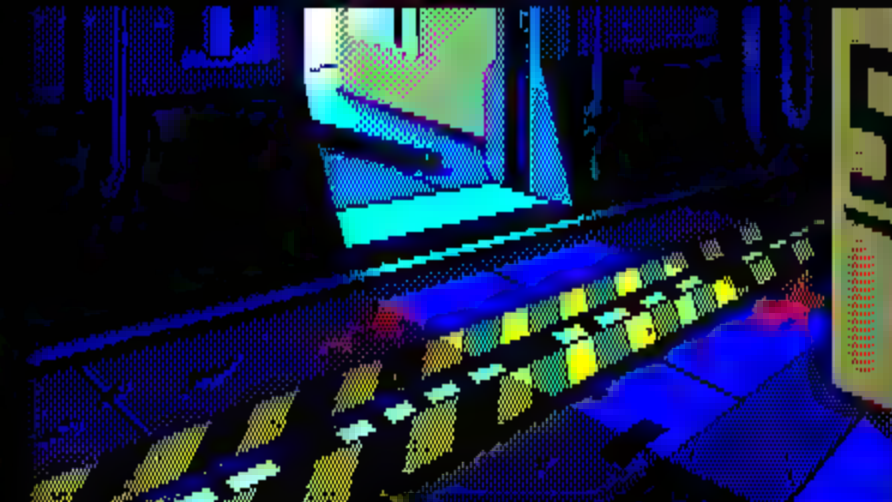
COMMAND



トランシーバー『こちらミラコフ、速雄こっちに出たぞ。援助
に来てくれ……ウワァー』

速雄『こちら速雄。ミラコフさん、どの部屋にいるんです
か』

PUSH SPACE KEY



1. 移動する
2. 見る
3. 調べる
4. 話しかける
5. その他

速雄 「こちら速雄。ミラコフさん。どの部屋にいるんですか」

トランシーバー『……』

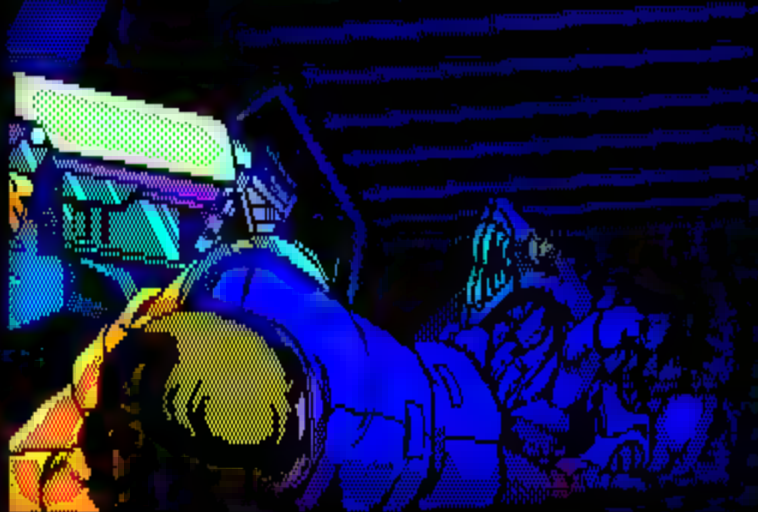
速雄 「応答ない。早く助けにいかなくちゃ」

COMMAND



達 達 「キャプテン、だいじょうぶですか」

ミラコフ 「私は暖温だが、カーゾンはおかるまい。雪々の冷感
鏡が壊れてしまった」

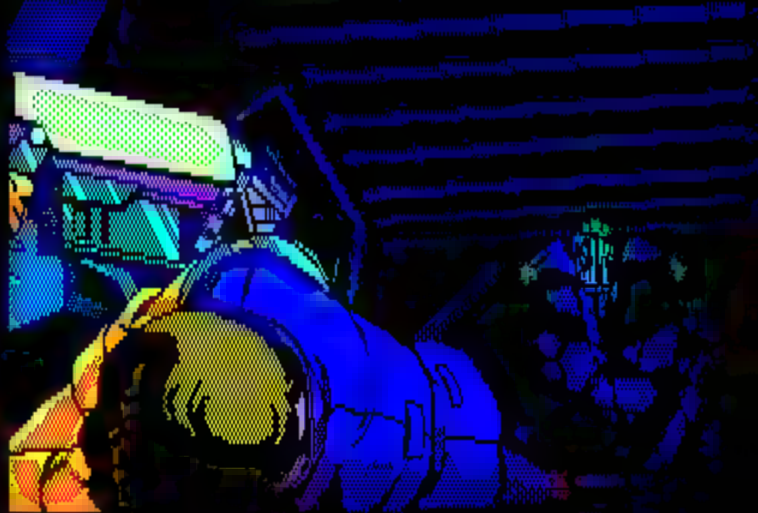


速雄「キャプテン、だいじょうぶですか」

ミラコ「私は軽傷だが、カーズンは助かるまい。我々の冷線銃が切れてしまった」

エリーヌ「ああ……」

PUSH SPACE KEY



銃が切れてしまった』

工兵一兵「ああ……』

速雄「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残っている。カーズンたちの、かたきをうってやる」



速雄 「ぼくの冷線銃には、エネルギーがまだたっぷり残
っている。カーゾンたちの、かたきをうってやる」
エリカ 「待って。あいつ、機械の隙間へ消えていくわ。気
配をさっしたのかしら」

MINI-E PUSH SPACE KEY



1. ナイフ
2. ピストル
3. レーザー銃

FOJY「何を盗う？」

COMMAND



1. ナイフ
2. ピストル
3. 熱視線銃

FOJY「何を盗う？」

COMMAND



1. ナイフ
2. ピストル
3. 火炎銃



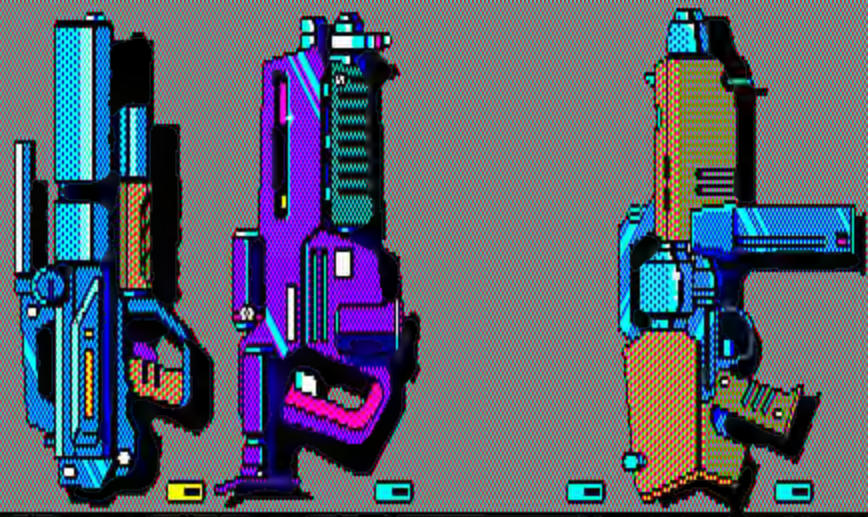
速雄「まづい、少し大きくなったぞ。熱はやつの食料なん
だ。」
FOJY「早く逃げないとやばいぜ」

COMMAND



GAME OVER!

PUSH SPACE KEY



速 雄 「よし銃をとったぞ」

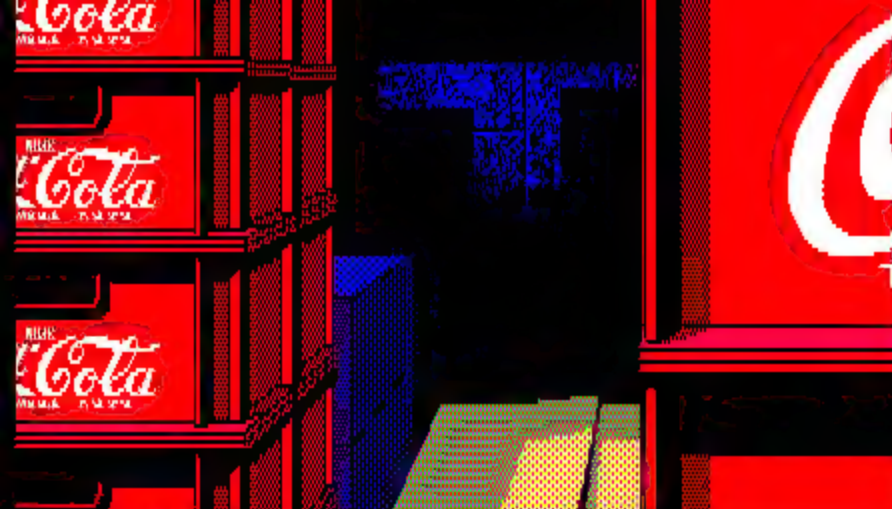
PUSH SPACE KEY



1. ナイフ
2. ピストル
3. 望遠鏡

速雄「おっ、やつの動きが違ったぞ」

FOJY「逃げるなら今のうちだ」 30分



速 雄 「やつはどこへ行った」
FOJY 「液体になって消えてしまったぞ」

PUSH SPACE KEY